

令和4年度

# 主要施策成果説明書

唐津市



# 目 次

I	ま え が き	1
II	決 算 の 概 要	1
III	一 般 会 計	4
1	議 会 費	7
2	総 務 費	8
3	民 生 費	27
4	衛 生 費	51
5	労 働 費	64
6	農 林 水 産 業 費	65
7	商 工 費	85
8	土 木 費	100
9	消 防 費	117
10	教 育 費	124
11	災 害 復 旧 費	140
12	公 債 費	141
IV	特 別 会 計	142
1	国 民 健 康 保 険	142
2	後 期 高 齢 者 医 療	145
3	介 護 保 険	147
4	観 光 施 設	149
5	有 線 テ レ ビ 事 業	150



# I ま え が き

この説明書は、地方自治法第233条第3項の規定により令和4年度の決算を議会の認定に付するに当たり、同条第5項の規定により令和4年度における主要な施策の成果を説明するものである。

## II 決 算 の 概 要

令和4年度の決算状況は、別表の「会計別決算の状況」に示すとおり、一般会計においては、歳入総額85,536,801千円、歳出総額82,879,534千円で、歳入歳出差引額2,657,266千円の黒字決算となった。また、特別会計においては、各会計とも黒字決算となった。

令和4年度は、『進化する唐津』の本格的な始動の年と位置づけ、本市が有する6つの『からつ力』をさらに伸ばし、市民が実感できる変化を起こしていくための事業を展開した。

まず、「生産力」の事業として、「唐津市DXイノベーションセンター」を開設し、市内事業者のデジタル技術による生産性の向上を後押ししたほか、著名団体とのコラボ事業やSNSの活用、首都圏の実店舗での常設販売等により、唐津製品の魅力を発信した。また、農業及び漁業の担い手に対する支援策を継続することで、次の世代への引継ぎを確実なものとした。さらに、ふるさと寄附金では、前年度に引き続き約50億円以上を受け入れ、市の産品を返礼することで市のPR及び地域経済の活性化を図った。

次に「観光力」の事業として、首都圏在住者へ向けて唐津の魅力を訴求する映像を制作し、様々な手法を用い、プロモーションを実施したほか、佐賀県の「はじまりの名護屋城」プロジェクトと連携し、名護屋城跡及び陣跡の価値と魅力を広く伝える事業を展開した。また、歴史民俗資料館の現地での保存・活用へ向け、保存修理に着手した。国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（SAGA2024）に向けては、引き続き施設整備を行うとともに、各種イベントでPRを行い、機運醸成を図った。

「教育力」の事業として、鏡山小学校の改築や第五中学校のエレベーター整備を行ったほか、鏡中学校や浜崎小学校の改修等に係る実施設計を進め、学習環境の整備充実を図った。また、令和5年度の稼働開始に向けて、西部学校給食センターの工事に着手した。

「安心力」の事業として、貧困の連鎖の防止に向け、ひとり親家庭の子どもを対象に、教育や体験活動を提供する「学習と体験の居場所」のモデル事業を実施したほか、新たに「子どものインフルエンザワクチン接種」について支援を行った。防災の分野においては、原子力災害時広域避難先施設について、避難計画の実効性向上のため、現況や設備等を整理した管理台帳を作成したほか、市民の安全な暮らしを守るため、地域防災の要である消防本部本署庁舎の感染症対策に係る実施設計を行った。

「発信力」の事業として、子育て、介護等の行政手続についてオンライン申請を可能としたほか、総合窓口受付支援システムを導入することで、窓口サービスの利便性向上を図った。そのほか、高速インターネット環境の実現及び有線テレビ事業の民設民営化へ向け、光ケーブル等の整備に対して補助金を交付した。

最後に「地域力」の事業として、本市への移住を促進するため、移住コンシェルジュによる移住相談の受付を行うとともに、移住促進に向けた情報発信や、移住フェア等への参加を行ったほか、「唐津暮らしスタート支援事業補助金」を創設し、本市への移住促進を図った。

新型コロナウイルス感染症対策では、国の事業のほか、緊急に対応が必要な感染防止策として、無料のPCR検査を実施するとともに、経済対策として、農業者、漁業者及び中小企業等への支援を行ったほか、域内の消費喚起及びデジタル化を推進するためプレミアム付商品券「からふるPay」を発行するなど市独自の事業を行った。また、コロナ過における物価高騰の影響を受けている家庭や事業者の負担軽減を図るため、水道料金の減免を行ったほか、子育て世帯を支援するため給付金を支給するなどの支援を行った。このほか、8月の大雨等により被災した農地・農業用施設、林業施設及び土木施設等の復旧事業を行い、早期復旧に努めた。

会 計 別 決 算 の 状 況

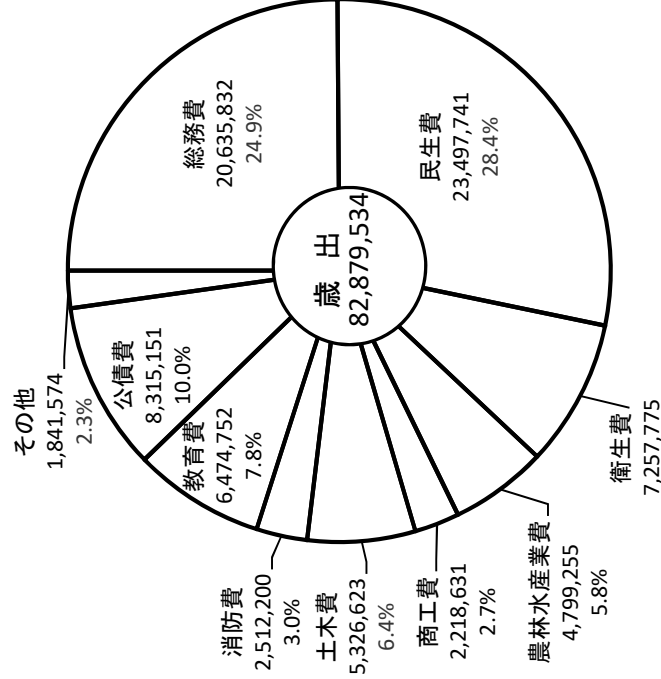
(単位 千円)

会 計 別 区 分	歳 入 総 額 A	歳 出 総 額 B	歳 差 (A - B) C	入 歳 出 額 (A - B) C	翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源			実 質 収 支 (C - G)
					継 続 費 通 過 繰 越 額 D	繰 越 明 許 費 繰 越 額 E	事 故 繰 越 額 F	
一 般 会 計	85,536,801	82,879,534	2,657,266	31,473	451,091	13,840	496,404	2,160,862
特 別 会 計	15,514,381	15,272,127	242,254					242,254
国 民 健 康 保 険	1,772,683	1,764,870	7,814					7,814
後 期 高 齢 者 医 療	13,724,094	13,276,460	447,633					447,633
介 護 保 険	44,844	41,758	3,086					3,086
観 光 施 設	590,538	480,290	110,248		81,268		81,268	28,980
有 線 テ レ ビ 事 業	31,646,540	30,835,504	811,036		81,268		81,268	729,768
計	117,183,341	113,715,039	3,468,302	31,473	532,359	13,840	577,672	2,890,630

(備考) 一般会計の実質収支額2,160,862千円のうち、基金繰入金1,100,000千円、剰余金1,060,862千円  
端数整理のため一致しない部分がある。

# 令和4年度歳入歳出決算額構成比図表(一般会計)

(単位 千円)



その他の内訳	
分担金及び負担金	432,498 0.5%
使用料及び手数料	1,254,606 1.5%
財産収入	152,574 0.2%
寄附金	5,411,013 6.3%
繰越金	1,325,787 1.5%
議会議事費	328,283 0.4%
労働費	50,857 0.1%
災害復旧費	1,462,434 1.8%
その他	2,328,775 2.8%

(備考)端数整理のため一致しない部分がある。

# Ⅲ 一 般 会 計

一般会計の款別決算額と予算額との比較は、次のとおりである。

款 別 決 算 額 比 較 表

(単位 千円、%)

歳		入				歳 出			
款	令和4年度 予算現額 (A)	令和4年度 決算額 (B)	対予算比 (B) (A)	決算 構成比	款	令和4年度 予算現額 (C)	令和4年度 決算額 (D)	対予算比 (D) (C)	決算 構成比
1 市 税	12,445,500	13,105,069	105.3	15.3	1 議 会 費	334,645	328,283	98.1	0.4
2 地 方 譲 与 税	558,914	564,013	100.9	0.7	2 総 務 費	23,122,332	20,635,832	89.2	24.9
3 利 子 割 交 付 金	12,588	5,092	40.5	0.0	3 民 生 費	24,961,433	23,497,741	94.1	28.4
4 配 当 割 交 付 金	32,637	41,112	126.0	0.0	4 衛 生 費	7,867,120	7,257,775	92.3	8.8
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	21,878	35,250	161.1	0.0	5 労 働 費	50,931	50,857	99.9	0.1
6 法 人 事 業 税 交 付 金	133,186	189,325	142.2	0.2	6 農 林 水 産 業 費	5,517,461	4,799,255	87.0	5.8
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,592,777	2,817,536	108.7	3.3	7 商 工 費	2,269,126	2,218,631	97.8	2.7
8 ゴ ル フ 場 場 利 用 税 交 付 金	33,000	38,746	117.4	0.0	8 土 木 費	5,813,598	5,326,623	91.6	6.4
9 環 境 性 能 割 交 付 金	41,410	38,378	92.7	0.0	9 消 防 費	2,660,158	2,512,200	94.4	3.0
10 地 方 特 例 交 付 金	104,453	106,268	101.7	0.1	10 教 育 費	6,987,239	6,474,752	92.7	7.8
11 地 方 交 付 税	19,504,295	19,504,300	100.0	22.8	11 災 害 復 旧 費	2,991,506	1,462,434	48.9	1.8
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	27,500	20,413	74.2	0.0	12 公 債 費	8,320,872	8,315,151	99.9	10.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	450,496	432,498	96.0	0.5	13 予 備 費	81,460	0	0.0	0.0
14 使 用 料 及 び 手 数 料	1,238,904	1,254,606	101.3	1.5					
15 国 庫 支 出 金	16,158,881	14,303,223	88.5	16.7					
16 県 支 出 金	8,025,383	7,211,075	89.9	8.4					
17 財 産 収 入	187,919	152,574	81.2	0.2					
18 寄 附 金	5,712,190	5,411,013	94.7	6.3					
19 繰 入 金	6,394,152	5,322,840	83.2	6.2					
20 繰 越 金	1,325,787	1,325,787	100.0	1.5					
21 諸 収 入	6,545,479	6,627,534	101.3	7.7					
22 市 債	9,430,553	7,029,153	74.5	8.2					
23 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	995	0.0	0.0					
歳 入 合 計	90,977,881	85,536,801	94.0	100.0	歳 出 合 計	90,977,881	82,879,534	91.1	100.0

(備考) 端数整理のため一致しない部分がある。



新型コロナウイルス感染症緊急対策事業一覧（一般会計のみ）

総額 3,387,085,904円

【市単独事業】 1,616,581,649円

1	感染拡大防止策	5事業	38,003,630円
2	雇用の維持と事業の継続に係る支援策	2事業	72,726,033円
3	経済活動の回復策	2事業	258,438,925円
4	強靱な経済構造の構築策	2事業	50,835,710円
5	コロナ禍における原油価格・物価高騰対策	12事業	1,196,577,351円

1 感染拡大防止策

番号	款	事業名	決算額（円）
1	民生費	保育環境改善等事業費【市単独分】	2,480,000
2	衛生費	感染症対策事業費	2,421,980 (8,190,298)
3	教育費	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	31,479,190
4	教育費	公民館運営費	885,000 (241,454,387)
5	教育費	近代図書館運営費	737,460 (56,172,705)
		計	38,003,630

( ) 内は当該事業費の決算総額

2 雇用の維持と事業の継続に係る支援策

番号	款	事業名	決算額（円）
1	総務費	指定管理者支援事業費	67,722,737
2	農林水産業費	漁業経営支援緊急対策事業補助金	5,003,296
		計	72,726,033

3 経済活動の回復策

番号	款	事業名	決算額（円）
1	商工費	プレミアム付商品券発行事業費	197,711,121
2	商工費	宿泊促進事業費	60,727,804
		計	258,438,925

#### 4 強靱な経済構造の構築策

番号	款	事業名	決算額 (円)
1	農林水産業費	施設園芸支援緊急対策事業補助金	42,039,000
2	商工費	中小企業等組合活動強化支援補助金	8,796,710
		計	50,835,710

#### 5 コロナ禍における原油価格・物価高騰対策

番号	款	事業名	決算額 (円)
1	民生費	障がい福祉施設等物価高騰対策緊急支援金	7,456,000
2	民生費	介護保険施設等物価高騰対策緊急支援金	39,063,000
3	民生費	子育て世帯支援給付金給付事業費	808,390,212
4	民生費	保育所等物価高騰対策緊急支援金	24,951,000
5	民生費	若葉保育所運営費	136,000 (21,969,088)
6	民生費	若竹保育所運営費	217,000 (28,520,311)
7	衛生費	水道事業会計繰出金 (価格高騰対策分)	161,960,744
8	衛生費	簡易水道組合等支援補助金	500,150
9	農林水産業費	肥料等価格高騰緊急対策事業補助金	10,527,600
10	農林水産業費	農業水利施設電気料高騰対策事業補助金	1,507,000
11	商工費	中小企業者等燃油・原材料等価格高騰対策助成金	99,869,641
12	教育費	学校給食費等支援補助金	41,999,004
		計	1,196,577,351

( ) 内は当該事業費の決算総額

#### 【国庫等事業】 1,770,504,255円

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業、令和4年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業、住民税非課税世帯等に対する支援給付金給付事業（電力・ガス・食料品等価格高騰分）、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業（繰越明許分）、保育環境改善等事業費、子どもの新たな居場所モデル事業費、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業、令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費（繰越明許分）、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、小学校感染症対策等事業費、中学校感染症対策等事業費

一般会計及び特別会計の令和4年度の主要な施策は、次のとおりである。

## 1 議会費

議会事務費では、地方自治法第138条第2項の規定に基づく、唐津市議会事務局の設置に伴う所要経費の執行をはじめ、本会議、委員会会議録作成のほか、本会議録をインターネットにより広く市民に公開した。また、インターネットを活用して本会議、決算及び予算等特別委員会のライブ中継等を行い、市民に対してより身近で開かれた議会の実現、議会の活性化に取り組んだ。

唐津市議会だより発行費では、開かれた議会、市民にわかりやすい議会を目指し、市議会活動を市民に周知、報告するため、議員で構成する編集委員会による唐津市議会だより定例号を4回、臨時号を1回発行した。

また、議会だよりの点字版を発行することでより多くの市民に議会情報を提供した。

款	議会費	項	議会費	目	議会費	担当所属	議会事務局	
事業名	議会事務費		予算現額 (円)	18,989,000	決算額 (円)	16,934,801	執行率 (%)	89.2
目的	地方自治法第138条第2項の規定に基づく唐津市議会事務局の設置及び議会運営等の所要業務の執行を行ったもの。							
事業内容及び実績							8,736,398円	
	定例会及び委員会等の会議録の作成						1,547,854円	
	インターネット議事録検索システムの賃貸借及びデータ更新						1,148,400円	
	インターネットでの議会映像のライブ配信						5,502,149円	
	その他事務費							
成果等	本会議、委員会会議録作成のほか、インターネットを活用した本会議、決算及び予算等特別委員会のライブ中継等、市民に対してより身近で開かれた議会の実現、議会の活性化を進めることができた。							

款	議会費	項	議会費	目	議会費	担当所属	議会事務局	
事業名	唐津市議会だより発行費		予算現額 (円)	3,726,000	決算額 (円)	3,363,081	執行率 (%)	90.3
目的	開かれた議会、市民にわかりやすい議会を目指し、市議会活動を市民に周知・報告するため、議員で構成する編集委員会により、唐津市議会だより定例号及び臨時号、点字版を発行したもの。							
事業内容及び実績	唐津市議会だより定例号の発行						計247,760部	3,127,956円
	唐津市議会だより点字版の発行						計44部	235,125円
成果等	唐津市議会だよりの全戸配布や公共施設への配布に加え、視覚障がい者に配慮した点字版の発行により、多くの市民に対して市議会活動の周知・報告を実施することができた。							

## 2 総務費

### (1) 総務管理費

一般管理費の人材育成費では、人的資源である職員の能力を引き出すために、人材育成基本方針に掲げる実施計画に基づき、職員の基本能力の養成や能力開発、職員に広く共通する行政課題の解決、職能別の職務遂行、専門性を持った人材の育成など、職員の能力及び資質の向上に資する実践的研修を実施した。

契約管理事務費では、建設工事等について電子入札を行い、競争性及び公正性の確保を図った。

新庁舎整備事業費（継続費3年度分）では、令和4年5月末に新庁舎建設工事が完了し、順次各フロアの移転を行い、令和4年8月15日をもって全面的な供用を開始した。また、旧庁舎の解体工事にも着手した。

新庁舎整備事業費では、新庁舎への移転業務の実施や必要什器の購入等を行った。

原子力災害時広域避難先施設管理台帳作成事業費では、原子力防災対策の一層の充実・強化を図るため、避難先施設全319施設の施設管理台帳を作成した。

離島ヘリポート整備費では、非常時における離島住民の避難と物資搬送の円滑化及び複線化を図るため、ヘリポートの整備を行った。

広報費では、市民に対し市政への関心と理解を深めてもらうために、市報からつを発行するとともに、視覚に障がいがある人のための点字市報を発行した。

ホームページ管理費では、市政に関する情報や行政手続きに関する情報をはじめ、新型コロナウイルス感染症に関する情報やイベント情報など市民生活に密着した情報を発信するため、ホームページの管理・運営を行い、掲載情報の最新化に努めるとともに、職員を対象としたシステム操作研修を実施した。

財政管理費では、統一的な基準により令和3年度財務書類を作成し、公表した。

会計管理費では、適正で迅速な会計業務を行うことに努め、行政運営の円滑化を図った。

財産管理費では、市有財産の適正な維持管理や処分及び庁用車の効率的かつ安全な運行を図った。

チャンネルからつ運営費では、分かりやすく迅速な行政情報の伝達に努め、市民生活に密着した行政情報や新型コロナウイルス感染症に関する情報、災害時の情報を提供するため、分かりやすい行政情報伝達に努め、ニュース、各課からのお知らせ、お知らせ文字放送、特集番組やデータ放送のほか、唐津市議会の中継放送と録画放送を行った。

情報化基盤光ケーブル推進事業補助金では、高速インターネット環境の実現と有線テレビ事業の民設民営化に向けてQ T n e t ・ピーぷる共同事業体が行う光ケーブル等施設整備に対し補助金を交付した。

新唐津市民会館（仮称）整備I期事業費（継続費2年度分及び通次繰越分）では、旧市民会館の解体工事、仮設道路の安全対策、上下水道及びガス管施設の移設工事などを行った。また、昨年度に引き続き、新市民会館の改築設計業務を行った。

新唐津市民会館（仮称）整備費では、新市民会館整備事業を推進するため、改築設計の精査等総合支援業務及び先進施設の視察研修を行った。

### (2) 徴税費

課税客体の適正な把握と公平な課税に努めた。収納率向上対策においては、令和5年度課税分から地方税共通納税システムの税目対象拡大に合わせ、納付書に新たにQRコードを印刷し、納税者の利便性向上のためにシステム改修を行った。

また、国税とのデータ連携システムやe L T A Xシステムを活用し、申告書や給与支払報告書等收受について電子データ化を推進することにより、課税事務の効率化を図った。

固定資産業務においては、令和6基準年度固定資産評価替え（土地）に向けて、市内全域の道路状況を確認し、路線価の要因情報を取得するとともに、地目設定を行った。

軽自動車税（種別割）においては、商品軽自動車について課税免除を実施するためシステム改修を行った。

### (3) 戸籍住民基本台帳費

新庁舎では、戸籍・住民票等の証明書に加えて税証明書も取り扱う証明書発行総合窓口を開設したほか、引越しの手続きについては、市民の記入負担を軽減することでサービス向上を実現するため、「書かない

窓口」を開始した。また、行政手続きのオンライン化が進められ、インターネット上のマイナポータルにおいて、転出届がオンラインで手続きできるようになった。

マイナンバーカードの取得促進については、商業施設や公民館等で出張申請受付を実施したほか、取得方法やメリット等について新聞折り込みチラシ等で周知した。

そのほか、新庁舎に設置した自動交付機やコンビニ交付による証明書のオンライン取得を促進したことで、窓口の混雑緩和につなげ、市民の利便性向上を図った。

#### (4) 選挙費

参議院議員通常選挙（令和4年7月10日）、佐賀県知事選挙（令和4年12月18日）を執行し、佐賀県議会議員選挙（令和5年4月9日）の執行準備を行った。また、各種選挙制度の周知及び明るい選挙推進運動の浸透を図るため、啓発活動に努めた。

#### (5) 企画費

からつ力向上推進費では、早稲田大学と連携して地域連携ワークショップを開催するなど、協力協定を結んでいる大学等高等教育機関と連携した取組みを行ったほか、高校、大学、民間企業等との連携による科学イベントを実施した。

また、政策課題の解決や、政策立案能力の向上を目的とした職員研修のほか、市民の意見を施策に反映させるための唐津創生会議などを実施したほか、持続可能な地方創生の実現を目指して、企画アイデアコンテストを開催した。

新エネルギー導入推進費では、再エネコーディネーターから専門的なアドバイスや指導を受けながら、再生可能エネルギーの導入推進を図る事業の立案や、国への補助金申請の作成を行ったほか、電気自動車急速充電器の運用や九州経済産業局への職員派遣を実施した。

地域エネルギー創出事業費では、経済産業省の補助金等を活用し、唐津スマートレジリエンス拠点構築事業において下水バイオガス発電設備や熱利用設備を導入するとともに、低炭素化と防災の両立を可能にする電力供給に関する調査検討業務を実施した。また、洋上風力発電事業の誘致実現に向け、市民向けセミナー等を実施したほか、事業の普及啓発を目的としたパンフレットの作成を行った。

移住促進プロジェクト費では、本市への移住を促進するため、移住コンシェルジュによる移住相談の受付を行うとともに、移住促進に向けた情報発信や、移住フェア等への参加を行った。

また、「移住促進加速化プロジェクト」では、移住希望者の住居選択の幅を広げるため、空き家の相談窓口設置や空き家対策セミナーを開催するとともに、Uターンを促すためのシビックプライド醸成の取組みとして、唐津東高校生が市内企業を訪問・調査し、企業の魅力を知ることによって就業先として唐津市内の企業を選択肢として考える機会を設けた。

出会い創出事業費では、結婚を希望する男女の出会い支援として、未婚の子を持つ親が、子の代理でお見合いをする「親御さま交流会」を開催した。

女・男（ひと・ひと）輝き事業費では、男女共同参画社会の実現を目指して、各種意識啓発セミナーや市民団体等の活動を紹介するパネル展の開催、市民団体が主催するフォーラム事業に対する補助を行った。また、女性社員を対象としたキャリアサポートセミナーを実施し、職場における男女共同参画と女性活躍の推進を図った。

友好姉妹都市交流費では、オンラインで開催された第13回済州国際青少年フォーラムに市内高校生が参加したほか、西歸浦市の中学生と市内の中学生及び高校生によるオンライン交流を行った。

ふるさと寄附金推進費では、寄附金の増加及び関連する業務の円滑化並びに地域経済の活性化を図るため新たなポータルサイト「au PAY ふるさと納税」及び「JALふるさと納税」の開設をはじめ、ホームページ上で寄附金活用事業の紹介を行ったほか、市内事業者から返礼品を調達したことにより地域経済の活性化にもつながった。

また、寄附者との継続的なつながりを構築するため、ポータルサイト主催のイベントに出展し、市のPRや返礼品の魅力発信及び関係人口の増加につなげることができた。

## (6) 地域振興費

市民によるまちづくりを推進するため「がんばる地域応援補助金」や「コミュニティ事業助成金」を通して、まちづくり団体や自治会等が行う地域づくり活動に補助を行った。

ふるさと集落活性化事業費では、集落支援員7名と地域おこし協力隊2名を配置し、地域の課題解決に向けた事業展開のためのサポートを行った。

地域づくり人材活用事業費では、過疎地域等においてマルチワーカーの派遣を行う特定地域づくり事業協同組合に対して補助を行った。

また、離島振興に関しては、七つの島（高島、神集島、向島、加唐島、松島、馬渡島、小川島）の活性化のため、各島で行う島づくり事業に対する補助を行うとともに、島外の児童生徒13名を受け入れた離島留学事業を支援した。

このほか、呼子小友地区賑わいづくり支援事業費では、潮位の影響により平日に実施されることの多かった小友祇園祭の海中巡行路の嵩上げを行い、安定的に祇園祭を開催できる環境の整備と担い手の確保に対する支援を行った。

## (7) 統計調査費

統計法に基づき、基幹統計である就業構造基本調査などを実施した。

款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	担当所属	行政改革課		
事業名	一般管理事務費（市民センター地域振興分）		予算現額 （円）	1,100,000	決算額 （円）	981,770	執行率 （%）	89.3	
目的	地域住民の生活や活動に密着した要望、課題等に対し、市民センターにおいて、緊急性と必要性から迅速に対応できるよう予算措置を行い、地域の振興を図ったもの。								
事業内容及び実績	各市民センターにおける庁舎の修繕工事等								
	（単位 円）								
	浜玉	巖木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	合計
施設修繕料			254,670 (5件)		297,000 (1件)		232,100 (1件)	198,000 (1件)	981,770 (8件)
成果等	地域住民の生活や活動に密着した要望や課題等に対して、市民センターにおいて迅速に対応することができた。								

款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	担当所属	新庁舎建設室	
事業名	新庁舎整備事業費（継続費3年度分）		予算現額 （円）	1,343,648,000	決算額 （円）	1,335,682,080	執行率 （%）	99.4
	同（通次繰越分）			603,328,854		508,836,000		84.3
目的	老朽化に加え耐震性が不足している市役所本庁舎を、来庁者にやさしく、利便性の高い庁舎に建て替えるもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和2年度から令和6年度まで（継続費設定）							
	総事業費（継続費設定額） 9,594,407千円							
	令和4年度実施事業（継続費3年度分及び継続費通次繰越分）							
	新庁舎建設建築工事			614,900,000円	防災無線等移設業務			54,251,560円
	新庁舎建設電気設備工事			277,860,000円	新庁舎電話設備工事			109,876,800円
	新庁舎建設通信設備工事			40,535,000円	新庁舎自主放送設備工事			137,500,000円
	新庁舎建設空調設備工事			92,950,000円	新庁舎1,2階カウンター設置業務			49,368,000円
	新庁舎建設給排水衛生設備工事			69,300,000円	新庁舎移動書架等購入			52,283,000円
	新庁舎建設工事監理業務			4,980,000円	旧庁舎解体工事			116,980,000円
新庁舎ネットワーク構築業務			116,930,000円	その他業務			46,963,720円	
新庁舎光ケーブル切替等業務			59,840,000円					
成果等	令和4年度は、5月末に新庁舎建設工事が完了するとともに、庁内ネットワークシステムの構築や防災無線設備の移設等を行った。令和4年7月19日には、新庁舎の一部供用を開始し、順次各フロアの移転を行い、8月15日をもって全面的な供用を開始した。また、旧庁舎の解体工事にも着手し、事業の進捗を図った。							

款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	担当所属	新庁舎建設室	
事業名	新庁舎整備事業費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	251,325,700 8,468,000	決算額 (円)	245,399,781 6,686,000	執行率 (%)	97.6 79.0
目的	新庁舎での業務開始に向けて、新庁舎への移転業務や什器の購入等を行ったもの。また、令和3年度において一部繰り越しを行った旧庁舎解体工事に伴う周辺家屋事前調査業務を実施したもの。							
事業内容及び実績	<p>現年度分</p> <p>新庁舎等移転業務 39,490,000円</p> <p>設備移設等業務 18,453,390円</p> <p>落成式等業務 2,289,298円</p> <p>什器及び消耗品購入 185,167,093円</p> <p>繰越明許分</p> <p>旧庁舎解体工事に伴う周辺家屋事前調査業務 6,686,000円</p>							
成果等	新庁舎への移転業務や必要什器の購入等を行い、新庁舎の全面的な供用開始に向けて、準備を整えることができた。また、西別館改修工事完了後に、西別館2階に簿冊保管用の軽量ラックを購入設置する予定だったが、工事の入札が不調となり、令和4年度内の購入設置が困難となったことから、5,132,000円を令和5年度に繰り越した。旧庁舎解体工事に伴う周辺家屋事前調査業務については、令和3年度に未了となっていた家屋の調査を行い、対象物件の調査が完了した。							

款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	担当所属	危機管理防災課	
事業名	原子力災害時広域避難先施設管理台帳作成事業費		予算現額 (円)	9,852,000	決算額 (円)	9,680,000	執行率 (%)	98.3
目的	唐津市原子力災害対応避難計画に定める広域避難先施設の状況及び設備等を調査し、施設管理台帳を作成したもの。							
事業内容及び実績	<p>原子力災害時広域避難先施設管理台帳作成業務 9,680,000円</p> <p>県内12市町 (319施設)</p> <p>佐賀市 (131施設)、鳥栖市 (35施設)、多久市 (16施設)、小城市 (20施設)</p> <p>神崎市 (24施設)、吉野ヶ里町 (12施設)、基山町 (9施設)</p> <p>上峰町 (11施設)、みやき町 (17施設)、大町町 (7施設)</p> <p>江北町 (10施設)、白石町 (27施設)</p>							
成果等	広域避難先施設の現地調査を行い、避難者の動線や発熱者等健康管理スペース、ペット避難スペース等の候補場所の選定、不足する設備、資機材の確認を行い、広域避難先施設レイアウト図等を整備し、原子力防災対策の一層の充実、強化を図った。また、広域避難先市町へ台帳を配付した。							



款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	担当所属	危機管理防災課	
事業名	離島ヘリポート整備費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	70,143,000	決算額 (円)	57,929,320	執行率 (%)	82.6
目的	原子力緊急事態に備え、離島住民の避難と物資搬送の円滑化及び複線化を図るため、7つの離島へのヘリポートの整備を行ったもの。							
事業内容及び実績	令和4年度繰越明許分 ヘリポート整備事業費（小川島、神集島、高島） 57,870,800円 高島ヘリポート新設に伴う機能回復防護柵設置業務 58,520円							
成果等	7つの離島でのヘリポート整備工事を進め、馬渡島、向島、松島、加唐島については令和3年度に完成し、運用を開始した。小川島、神集島、高島については令和3年度に工事を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により作業員の確保が難航したため、令和4年度へ繰り越しを行い、令和4年4月28日に整備が完了し、全ての離島ヘリポートの運用を開始した。 この常設ヘリポートの整備により、離島の防災体制のより一層の強化と充実が図られ、住民の安心安全に寄与することができた。							

款	総務費	項	総務管理費	目	情報管理費	担当所属	情報政策課	
事業名	情報化基盤光ケーブル推進事業補助金		予算現額 (円)	2,420,000,000	決算額 (円)	1,433,395,000	執行率 (%)	59.2
目的	高速インターネット環境の実現と有線テレビ事業の民設民営化へ向け、民間が行う光ケーブル等整備に補助し、情報通信基盤の強化、充実を図ったもの。							
事業内容及び実績	情報化基盤光ケーブル推進事業 整備内容 光ケーブル施設整備 整備地区 浜玉、相知、鎮西、呼子地区 事業主体 Q T n e t ・ ぴーぷる 共同事業体 補助率 10/10 補助額 センター施設整備 248,572,000円 線路設備整備 901,442,000円 光電変換装置整備 97,381,000円 分岐装置整備 63,886,000円 送受信装置整備 11,979,000円 用地取得費 35,281,000円 管理測定装置整備 8,335,000円 ヘッドエンド装置整備 27,580,000円 電源供給装置整備 34,979,000円 基礎ソフトウェア整備 3,960,000円							
成果等	浜玉、相知、鎮西及び呼子地区において光ケーブル施設の整備が開始されたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、年度内に完了できない箇所が発生したため、627,000,000円を令和5年度に繰り越した。 なお、浜玉及び相知地区においては、令和5年3月から引込線の光ケーブルへの切り替え工事が開始され、株式会社ぴーぷるによる新サービスの提供が順次始まっている。							

款	総務費	項	総務管理費	目	市民会館建設費	担当所属	新市民会館建設推進室																					
事業名	新唐津市民会館（仮称）整備Ⅰ期事業費（継続費２年度分）		予算現額（円）	436,870,000	決算額（円）	424,332,424	執行率（%）	97.1																				
	同（通次繰越分）			178,963,943				86,493,000	48.3																			
目的	市民会館及び曳山展示場の建て替えのため、旧施設の解体工事を行うとともに、新市民会館及び新曳山展示場の改築設計等を行うもの。																											
事業内容及び実績	<p>事業年度 令和3年度から令和5年度まで（継続費設定）            総事業費（継続費設定額） 946,529千円            令和4年度実施事業（継続費２年度分）</p> <table border="0"> <tr> <td>PCB廃棄物等処理業務</td> <td>1,122,000円</td> <td>仮設道路整備安全対策工事</td> <td>374,000円</td> </tr> <tr> <td>旧市民会館他解体工事</td> <td>405,710,800円</td> <td>仮歩道設置工事</td> <td>1,298,000円</td> </tr> <tr> <td>旧市民会館他解体工事監理業務</td> <td>2,882,000円</td> <td colspan="2">（継続費通次繰越分）</td> </tr> <tr> <td>上下水道施設移設費用負担金</td> <td>10,810,524円</td> <td>改築設計業務</td> <td>85,998,000円</td> </tr> <tr> <td>ガス管移設工事補償</td> <td>2,135,100円</td> <td>解体工事に伴う家屋調査業務</td> <td>495,000円</td> </tr> </table>								PCB廃棄物等処理業務	1,122,000円	仮設道路整備安全対策工事	374,000円	旧市民会館他解体工事	405,710,800円	仮歩道設置工事	1,298,000円	旧市民会館他解体工事監理業務	2,882,000円	（継続費通次繰越分）		上下水道施設移設費用負担金	10,810,524円	改築設計業務	85,998,000円	ガス管移設工事補償	2,135,100円	解体工事に伴う家屋調査業務	495,000円
PCB廃棄物等処理業務	1,122,000円	仮設道路整備安全対策工事	374,000円																									
旧市民会館他解体工事	405,710,800円	仮歩道設置工事	1,298,000円																									
旧市民会館他解体工事監理業務	2,882,000円	（継続費通次繰越分）																										
上下水道施設移設費用負担金	10,810,524円	改築設計業務	85,998,000円																									
ガス管移設工事補償	2,135,100円	解体工事に伴う家屋調査業務	495,000円																									
成果等	<p>旧市民会館の解体工事及びこれに伴う廃棄物処理、仮設道路の安全対策、仮歩道の整備、上下水道ガス管施設の移設工事、家屋調査を実施し、旧市民会館の解体工事を円滑に進めることができた。また、昨年度に引き続き、新唐津市民会館の整備に向け、改築設計業務を行った。継続費２年度分12,537,576円及び通次繰越分92,470,943円を令和5年度に繰り越した。</p>																											

款	総務費	項	総務管理費	目	市民会館建設費	担当所属	新市民会館建設推進室					
事業名	新唐津市民会館（仮称）整備費		予算現額（円）	2,383,000	決算額（円）	2,286,369	執行率（%）	95.9				
目的	新唐津市民会館（仮称）整備事業を円滑に進めるため、改築設計の精査等総合支援業務及び先進施設の視察研修を行ったもの。											
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>新唐津市民会館（仮称）改築設計精査等総合支援業務</td> <td>1,738,000円</td> </tr> <tr> <td>先進施設視察研修ほか</td> <td>548,369円</td> </tr> </table>								新唐津市民会館（仮称）改築設計精査等総合支援業務	1,738,000円	先進施設視察研修ほか	548,369円
新唐津市民会館（仮称）改築設計精査等総合支援業務	1,738,000円											
先進施設視察研修ほか	548,369円											
成果等	先進施設の視察研修の実施や改築設計の精査等総合支援業務委託により、新たな施設整備の設計業務を進めることができた。											

款	総務費	項	徴税费	目	賦課徴収費	担当所属	税務課	
事業名	賦課徴収事務費		予算現額 (円)	235,045,007	決算額 (円)	224,747,220	執行率 (%)	95.6
目的	市税の賦課及び徴収事務の効率化を図り、課税客体の適正な把握と公平な課税、さらに収納率の向上を目指したものを。							
事業内容及び実績	<p>市税の賦課及び徴収業務、確定申告電子データの国税連携</p> <p>国税とのデータ連携システムやeLTAXシステムを活用し、申告書や給与支払報告書等の收受について、電子データ化の推進を図った。</p> <p>申告書データ連携件数 27,599件、給与支払報告書受取件数 39,025件</p> <p>共通納税システムによる電子納税の推進</p> <p>共通納税システム 法人市民税 522件 個人市県民税（特別徴収） 3,526件</p> <p>地方税共通納税システム税目対象拡大対応に伴うシステム改修</p> <p>令和5年度課税分からの地方税共通納税システムの税目対象拡大に合わせて、納付書に新たにQRコードを印刷し、納税者の利便性向上のためにシステム改修を行った。</p> <p>令和6基準年度固定資産評価替え業務</p> <p>令和6基準年度固定資産評価替え（土地）に向けて、市内全域の道路状況を確認し、路線価の要因情報を取得するとともに、地目設定を行った。</p> <p>空中写真撮影及び写真地図作成</p> <p>唐津市と玄海町共同で空中写真撮影を実施し、写真地図を作成した。</p> <p>軽自動車税（種別割）のシステム改修</p> <p>商品軽自動車について課税免除を実施するためシステム改修を行った。</p>							
成果等	<p>国税とのデータ連携システムやeLTAXシステムの活用により、申告書や給与支払報告書等の円滑な受領を可能とし、課税事務の効率化に寄与した。また、電子納税で納税者の利便性向上に寄与した。固定資産業務においては、適正な路線価格要因情報の取得及び地目設定を行ったことにより、適正かつ均衡のとれた土地の価格の見直しを行うことができた。また、空中写真撮影により作成した写真地図は、令和6基準年度固定資産税の適正かつ公平な評価を実施するための基礎資料となった。</p> <p>軽自動車税（種別割）においては、システム改修を行い、令和5年4月から商品軽自動車の課税免除できるように備えた。</p> <p>また、納付書に新たにQRコードを印刷することで、支払方法の選択肢を増やし、利便性向上を図った。</p>							

# 市税の前年度との比較

(単位 千円、%)

区分 税目		令和3年度			令和4年度			収納率 の前年 との差	調定額 の対前 年度比 C/A	収入額 の対前 年度比 D/B	
		調定額 A	収入額 B	収納率 B/A	調定額 C	収入額 D	収納率 D/C				
市民税	個人市民税	現年	4,713,691	4,674,890	99.18%	4,787,866	4,740,552	99.01%	△ 0.17	101.57	101.40
		滞納	100,177	30,802	30.75%	97,339	28,180	28.95%	△ 1.80	97.17	91.49
		計	4,813,868	4,705,692	97.75%	4,885,205	4,768,732	97.62%	△ 0.13	101.48	101.34
	法人市民税	現年	726,939	725,335	99.78%	706,115	704,224	99.73%	△ 0.05	97.14	97.09
		滞納	8,890	2,774	31.20%	5,608	896	15.98%	△ 15.22	63.08	32.30
		計	735,829	728,109	98.95%	711,723	705,120	99.07%	0.12	96.72	96.84
		現年	5,440,630	5,400,225	99.26%	5,493,981	5,444,776	99.10%	△ 0.16	100.98	100.82
		滞納	109,067	33,576	30.78%	102,947	29,076	28.24%	△ 2.54	94.39	86.60
		計	5,549,697	5,433,801	97.91%	5,596,928	5,473,852	97.80%	△ 0.11	100.85	100.74
固定資産税	固定資産税	現年	5,757,208	5,713,301	99.24%	6,054,630	6,000,172	99.10%	△ 0.14	105.17	105.02
		滞納	198,893	63,418	31.89%	160,320	27,676	17.26%	△ 14.63	80.61	43.64
		計	5,956,101	5,776,719	96.99%	6,214,950	6,027,848	96.99%	0.00	104.35	104.35
	交付金	現年	100,799	100,799	100.00%	97,226	97,226	100.00%	0.00	96.46	96.46
		現年	5,858,007	5,814,100	99.25%	6,151,856	6,097,398	99.11%	△ 0.14	105.02	104.87
		滞納	198,893	63,418	31.89%	160,320	27,676	17.26%	△ 14.63	80.61	43.64
計		6,056,900	5,877,518	97.04%	6,312,176	6,125,074	97.04%	0.00	104.21	104.21	
軽自動車税	種別割	現年	447,013	439,406	98.30%	462,307	453,874	98.18%	△ 0.12	103.42	103.29
		滞納	21,777	5,578	25.61%	21,438	4,722	22.03%	△ 3.58	98.44	84.65
	環境性能割	現年	17,180	17,180	100.00%	21,934	21,934	100.00%	0.00	127.67	127.67
		計	485,970	462,164	95.10%	505,679	480,530	95.03%	△ 0.07	104.06	103.97
市たばこ税	現年	949,831	949,831	100.00%	1,003,699	1,003,699	100.00%	0.00	105.67	105.67	
入湯税	現年	16,792	16,792	100.00%	21,914	21,914	100.00%	0.00	130.50	130.50	
	滞納	0	0	-	0	0	-	-	-	-	
	計	16,792	16,792	100.00%	21,914	21,914	100.00%	0.00	130.50	130.50	
市税合計	現年	12,729,453	12,637,534	99.28%	13,155,691	13,043,595	99.15%	△ 0.13	103.35	103.21	
	滞納	329,737	102,572	31.11%	284,705	61,474	21.59%	△ 9.52	86.34	59.93	
	計	13,059,190	12,740,106	97.56%	13,440,396	13,105,069	97.51%	△ 0.05	102.92	102.86	

款	総務費	項	戸籍住民基本台帳費	目	戸籍住民基本台帳費出張所費	担当所属	市民課		
事業名	戸籍住民基本台帳事務費 (現年度分・繰越明許分) 出張所費		予算現額 (円)	140,068,720 4,290,000 1,458,000	決算額 (円)	131,711,738 4,290,000 1,287,794	執行率 (%)	94.0 100.0 88.3	
目的	戸籍及び住民基本台帳等の事務処理を適正かつ公正に行うとともに、窓口業務の円滑化、迅速化を図り、市民サービスの向上に努めたもの。								
事業内容及び実績	令和4年度 戸籍・住民基本台帳関係受付件数 (単位 件)								
		本庁	市民センター	出張所	郵便局	コンビニ	合計		
	戸籍に関する届出	5,286	1,218	12	-	-	6,516		
	住民異動届	10,432	2,944	27	-	-	13,403		
	証明	戸籍	41,576	10,528	960	123	1,831	55,018	
		住民票	43,539	12,371	1,229	746	7,564	65,449	
		印鑑登録証明書等	14,842	9,124	1,123	475	4,519	30,083	
		計	99,957	32,023	3,312	1,344	13,914	150,550	
	許可等申請	自動車臨時運航許可	458	336	-	-	-	794	
		印鑑登録	2,160	906	63	-	-	3,129	
		マイナンバーカード	26,331	9,346	-	-	-	35,677	
		電子証明書	29,770	10,860	-	-	-	40,630	
	計	58,719	21,448	63	-	-	80,230		
	合計	174,394	57,633	3,414	1,344	13,914	250,699		
	令和4年度 郵便局の局別受付件数 (単位 件)								
	唐津鏡	山本	佐志	岩屋	納所	星賀	馬渡島	合計	
戸籍	65	31	14	2	4	3	4	123	
住民票	388	189	98	27	16	4	24	746	
印鑑登録証明書	244	94	103	13	6	3	12	475	
合計	697	314	215	42	26	10	40	1,344	
令和4年度 マイナンバーカード申請数、交付数、交付率									
	申請数 (件)	交付数 (枚)	交付率						
令和4年度	44,144	35,677	71.22%						
令和3年度	16,876	20,241	40.59%						
前年度比	+27,268	+15,436	+30.63%						
成果等	<p>新庁舎では、戸籍・住民票等の証明書に加えて税証明書も取り扱う証明書発行総合窓口を開設したほか、引っ越しの手続きについては、市民の記入負担を軽減することでサービス向上を実現するため、「書かない窓口」を開始した。また、行政手続きのオンライン化が進められ、インターネット上のマイナポータルにおいて、転出届がオンラインで手続きできるようになった。</p> <p>マイナンバーカードの取得促進については、商業施設や公民館等で出張申請受付を実施したほか、取得方法やメリット等について新聞折り込みチラシ等で周知した。</p> <p>そのほか、新庁舎に設置した自動交付機やコンビニ交付による証明書のオンライン取得を促進したことで、窓口の混雑緩和につなげ、市民の利便性向上を図った。</p>								

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	市長公室 市政戦略課	
事業名	からつ力向上推進費		予算現額 (円)	5,491,360	決算額 (円)	4,322,462	執行率 (%)	78.7
目的	大学等高等教育機関と連携した取組みや、若手職員の資質向上を図る未来づくり研究会の活動等を通して、からつ力向上の推進を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>持続可能な地方創生の実現を目指して、企画アイデアコンテストを開催したほか、市民の意見を施策に反映させるための唐津創生会議などを実施した。また、早稲田大学と連携して地域連携ワークショップを開催するなど、協力協定を結んでいる大学等高等教育機関と連携した取組みを行ったほか、高校、大学、民間企業等との連携による科学イベントを実施した。</p> <p>企画アイデアコンテストの開催等経費 3,527,260円  唐津創生会議に関する経費 130,400円  未来づくり研究会研修等経費 57,560円  大学連携による地域連携ワークショップの開催ほか 607,242円</p>							
成果等	企画アイデアコンテストの開催により、地域の課題解決に市民が主体となって取り組む機運の醸成を図ることができた。また、唐津創生会議の実施や未来づくり研究会の活動により、政策課題解決に向けた提案をまとめ、関係部署へ情報共有を図った。高等教育機関と連携した取組みでは、地域連携ワークショップや科学イベントを開催し、各機関との連携強化や市内青少年の科学への関心の醸成を図った。							

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	新エネルギー 産業課	
事業名	新エネルギー導入推進費		予算現額 (円)	6,352,000	決算額 (円)	5,538,008	執行率 (%)	87.2
目的	「唐津市再生可能エネルギー総合計画」に基づき、再生可能エネルギーの積極的な導入を推進するとともに、地域産業の振興とクリーンエネルギーによる低炭素社会づくりを目指したもの。							
事業内容及び実績	<p>再エネコーディネーターから専門的なアドバイスや指導を受けながら、再生可能エネルギーの導入推進を図る事業の立案や、国への補助金申請の作成を行ったほか、電気自動車急速充電器の運用や九州経済産業局への職員派遣を実施した。</p> <p>再エネコーディネーター謝金等 1,300,200円  レンズ風車の維持管理 1,015,764円  電気自動車急速充電器の維持管理 1,884,261円  エネルギー政策に係る人材育成ほか 1,337,783円</p>							
成果等	再エネコーディネーターによる専門的なアドバイスを含めた協議や国への補助金申請に関する指導を受けながら、低炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの導入推進の事業に関する議論を進めた。また、電気自動車急速充電器の運用により電気自動車の普及啓発に寄与した。							

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	新エネルギー産業課	
事業名	地域エネルギー創出事業費		予算現額 (円)	196,300,000	決算額 (円)	195,679,000	執行率 (%)	99.7
目的	複合的な再生可能エネルギーを導入し、エネルギー利用の高度化を図るとともに、事業者や市民に向けたセミナーを開催し、洋上風力発電事業に対する理解促進を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>唐津スマートレジリエンス拠点構築事業等 185,680,000円</p> <p>浄水センター敷地内に下水バイオガス発電設備を追加導入するとともに、当該設備が発電する際に生み出す熱を、唐津市屋内プールにて活用するための熱利用設備を導入した。</p> <p>また、低炭素化と防災の両立を可能にする電力供給に関する調査検討業務を実施した。</p> <p>唐津市沖洋上風力発電事業に関する理解促進業務 9,999,000円</p> <p>唐津市沖洋上風力発電事業の誘致実現に向けて、市内の事業者、漁業者、市民への個別セミナー等を実施し、また、事業の普及啓発を目的としたパンフレットの作成を行った。</p>							
成果等	浄水センターへの下水バイオガス発電設備の導入と、唐津市屋内プールへの熱利用設備の導入により、唐津スマートレジリエンス拠点エリアの主要施設の再生可能エネルギーの利用拡大を図ることができた。また、洋上風力に関する事業では市民向けセミナー等を実施することにより、再生可能エネルギーに対する理解促進を図ることができた。							

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	DX推進室	
事業名	DX推進事業費		予算現額 (円)	24,857,000	決算額 (円)	20,883,500	執行率 (%)	84.0
目的	本市におけるDXを推進することで、業務の効率化を図るとともに、行政手続のオンライン化を進め、市民目線に立ったサービスを提供し、市民の利便性向上を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容</p> <p>オンライン申請管理システム導入業務 4,620,000円</p> <p>オンライン申請管理システムASP利用料 267,300円</p> <p>総合窓口受付支援システム利用料 2,314,400円</p> <p>DX推進支援業務 13,365,000円</p> <p>UDトーク利用料 316,800円</p>							
成果等	新庁舎での業務開始にあわせてオンライン申請環境を整備し、子育て、介護等、33件の手続きにおいて市役所に来庁せずとも手続きが可能となったほか、来庁者に対しては、手続きにおける移動、書類記入の負担を軽減するため総合窓口受付支援システムを導入し、サービス向上につなげた。また、DX推進支援業務においては、庁内システムの技術的提案を受けたほか、業務フロー作成を行うことで業務の見える化を進めた。							

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	移住定住促進課	
事業名	移住促進プロジェクト費		予算現額 (円)	28,110,000	決算額 (円)	26,218,350	執行率 (%)	93.3
目的	人口減少対策の一環として、移住希望者に対する情報提供や相談体制を整えるとともに、移住支援事業補助金を交付するなど、移住促進を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>移住情報の発信に係る経費 4,834,980 円  移住情報等発信事業（九州朝日放送株式会社）、移住フェアへの参加等</p> <p>移住コンシェルジュの設置（新規相談件数236件 実移住者47世帯85人） 4,986,600 円</p> <p>唐津市移住促進加速化プロジェクト 9,232,700 円  空き家相談窓口設置、コーディネーター配置、空き家対策セミナー開催、唐津東高校生を対象にしたシビックプライド醸成事業（市内企業訪問による郷土愛の醸成）</p> <p>唐津市地方創生移住支援事業補助金 3件 2,600,000 円  東京圏からの移住者が対象（補助額 単身600千円、世帯1,000千円、子育て加算300千円）</p> <p>唐津暮らしスタート支援事業補助金 3件 3,500,000 円  県外からの移住者が対象（補助額は上記補助金に同じ）</p> <p>佐賀県地方創生移住支援補助金返還（令和3年度分） 750,000 円</p> <p>地方創生推進交付金に係る効果検証委員会（報償費） 95,520 円</p> <p>事務費（消耗品費、コピー代） 218,550 円</p>							
成果等	移住フェア参加による移住希望者への唐津市の認知向上、九州朝日放送による定期的な移住に関する情報発信や、移住コンシェルジュによるきめ細やかな相談窓口対応などにより、移住相談件数や移住者数は過去の実績を大きく上回った。							

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	移住定住促進課	
事業名	出会い創出事業費		予算現額 (円)	1,162,000	決算額 (円)	1,061,250	執行率 (%)	91.3
目的	人口減少対策の一環として、結婚を希望する男女の出会いを支援したもの。							
事業内容及び実績	<p>さが出会いサポートセンター新規会員登録料助成金 140,000円  県運営のさが出会いサポートセンター新規会員登録料を助成 28人×5,000円（会員登録料）</p> <p>婚活総合支援事業 896,500円  未婚の子を持つ親の代理お見合い「親御さま交流会」の開催  親向け婚活応援セミナー 実施回数1回 参加者23人  親代理お見合い 実施回数1回 参加者12人 マッチング成立3組</p> <p>消耗品費 24,750円</p>							
成果等	「親御さま交流会」を通して、親同士のマッチングは3組成立したものの、子どもによるお見合い実績はなくカップル成立には至らなかったが、出会いの機会を増やす取組みができた。							



款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	男女共同参画課	
事業名	女・男（ひと・ひと）輝き事業費		予算現額 (円)	1,296,000	決算額 (円)	981,866	執行率 (%)	75.8
目的	男女共同参画社会の実現のため、啓発や支援を行い、理解促進と課題解決を図ったもの。 また、男女がともに働きやすい環境づくりの実現に向けて、女性活躍推進事業に取り組んだもの。							
事業内容及び実績	<p>意識啓発セミナー等の開催 実施回数10回 参加者延べ282人 621,052円  女性のための起業セミナー、女性のためのキャリアサポートセミナー、DV防止啓発セミナー等  DV防止啓発カード（2,000枚）、相談窓口啓発カード（14,000部）</p> <p>男女共同参画推進フォーラム事業補助金 実施回数2回 参加者延べ85人 200,000円  男女共同参画推進協議会の開催 実施回数2回 委員15人 108,140円  お出かけ講座支援隊事業 実施回数1回 参加者12人 13,000円  事務費等 39,674円</p>							
成果等	女性がやりがいを持って働ける環境づくりを進めるため、市内企業の女性社員を対象とした女性社員のキャリアサポートセミナーなどを実施し、職場における男女共同参画と女性活躍の推進を支援することができた。また、DV防止啓発カード・相談窓口啓発カード等による相談窓口の啓発強化や近代図書館などのパープルライトアップを実施し、女性に対する暴力防止の啓発強化に努めた。							

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	からっブランド・ふるさと寄附推進課	
事業名	ふるさと寄附金推進費		予算現額 (円)	2,993,338,948	決算額 (円)	2,681,941,514	執行率 (%)	89.6
目的	市の製品のPRと地域経済の活性化を図るとともに、ふるさと寄附金の取組みを推進したもの。							
事業内容及び実績	<p>寄附金の募集に要した費用</p> <p>返礼品の調達に要した費用 1,297,661,567円  返礼品の送付に要した費用 384,816,250円  広報に要した費用 63,419,457円  寄附金の決済に要した費用 56,225,937円  ポータルサイト運営に要した費用 503,456,588円</p> <p>その他</p> <p>寄附者情報管理に要した費用 215,945,549円  ワンストップ特例申請受付等に要した費用 160,416,166円</p> <p>令和4年度寄附件数 329,417件</p>							
成果等	ふるさと寄附金を5,398,612,589円受け入れ、ふるさと寄附金推進費2,681,941,514円を差し引いた2,716,671,075円を、基金利子170,977円と合わせてふるさと寄附金基金へ積み立てた。 また、市内事業者から返礼品を調達したことにより地域経済の活性化につながった。							

款	総務費	項	企画費	目	企画費	担当所属	行政改革課	
事業名	指定管理者支援事業費		予算現額 (円)	67,723,000	決算額 (円)	67,722,737	執行率 (%)	100.0
目的	コロナ禍において、感染予防対策に配慮しながら管理運営業務を継続した指定管理者に対し支援を行うことで、施設の円滑な管理運営を継続したもの。							
事業内容及び実績	(単位 円)							
	東城内駐車場	4,982,651	国民宿舎虹の松原ホテル	4,319,652				
	材木町駐車場	6,784,539	名護屋城茶苑「海月」	167,248				
	臨港駐車場	1,469,831	桃山天下市	4,924,005				
	浜玉町世代間交流センター「やすらぎ荘」	127,352	厳木温泉佐用姫の湯	7,253,908				
	肥前町福祉センター	869,976	厳木特産品等展示販売施設「風のふるさと館」	454,442				
	呼子交流促進施設	942,346	鳴神温泉なのゆ	19,916,050				
	唐津救急医療センター	4,609,405	ふれあい自然塾ひぜん	319,684				
	ロフティ七山	664,142	旧唐津銀行	90,027				
	呼子台場都市漁村交流施設	9,827,479	合計	67,722,737				
成果等	指定管理者に支援を行うことで、施設の円滑な管理運営が継続されるとともに、安定的な住民サービスの提供につながった。							

款	総務費	項	地域振興費	目	地域振興費	担当所属	交通政策課	
事業名	生活路線バス等運行対策事業費		予算現額 (円)	209,535,000	決算額 (円)	209,409,853	執行率 (%)	99.9
目的	住民の生活に必要な公共交通機関である路線バス及び乗合タクシーを確保し、生活環境の維持及び福祉の向上に資するため、生活路線バス等の運行経費の補助等を行ったもの。							
事業内容及び実績	生活路線バス等運行費補助金						203,660,000円	
	補助対象路線 50路線							
	延べ輸送人員 744,758人（令和3年10月～令和4年9月）							
	利用促進実証運行事業						1,702,066円	
乗合タクシーによる地域内での移動に係る実証運行事業を大良地区と湊地区で実施								
運行期間 令和4年10月～11月（週3回）、午前9時～午後4時								
延べ利用者数 大良地区82人、湊地区81人								
唐津地域公共交通活性化協議会負担金ほか						4,047,787円		
成果等	路線バス及び乗合タクシーを確保し、住民の生活安定に資することができた。 年々路線バス等の利用者数が減少していることが課題となっており、令和4年度の利用者は744,758人と、コロナ禍の影響もあり、前年度に比べ13,638人減少した。 また、利用促進実証運行事業により、大良、湊地区での利用実態やニーズ把握に努めた。							

款	総務費	項	地域振興費	目	地域振興費	担当所属	離島振興室																											
事業名	離島振興基金事業費		予算現額 (円)	24,763,000	決算額 (円)	22,740,380	執行率 (%)	91.8																										
目的	離島住民の参画と創意工夫による離島地域の自立的発展を促進するため、離島住民等が組織する、離島の振興、活性化及び活力維持を図る団体に対し、離島振興基金を活用した支援を行ったもの。																																	
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>島づくり事業補助金</td> <td>10,000,000円</td> </tr> <tr> <td>高島 有害鳥獣対策事業ほか7事業</td> <td>1,261,000円</td> </tr> <tr> <td>神集島 移住対策事業ほか6事業</td> <td>1,361,000円</td> </tr> <tr> <td>向島 島の宝発見事業ほか4事業</td> <td>529,000円</td> </tr> <tr> <td>加唐島 有害鳥獣対策事業ほか6事業</td> <td>1,946,000円</td> </tr> <tr> <td>松島 特産品開発事業ほか5事業</td> <td>1,188,000円</td> </tr> <tr> <td>馬渡島 環境美化事業ほか4事業</td> <td>1,702,000円</td> </tr> <tr> <td>小川島 磯道整備事業ほか5事業</td> <td>2,013,000円</td> </tr> <tr> <td>離島留学事業補助金</td> <td>12,740,380円</td> </tr> <tr> <td>広報活動、現地説明会の実施</td> <td>1,971,880円</td> </tr> <tr> <td>離島留学費用負担軽減（家族留学・孫留学）</td> <td>2,824,625円</td> </tr> <tr> <td>寮運営費（寮留学）</td> <td>7,106,269円</td> </tr> <tr> <td>留学受入家屋の改修</td> <td>837,606円</td> </tr> </table>								島づくり事業補助金	10,000,000円	高島 有害鳥獣対策事業ほか7事業	1,261,000円	神集島 移住対策事業ほか6事業	1,361,000円	向島 島の宝発見事業ほか4事業	529,000円	加唐島 有害鳥獣対策事業ほか6事業	1,946,000円	松島 特産品開発事業ほか5事業	1,188,000円	馬渡島 環境美化事業ほか4事業	1,702,000円	小川島 磯道整備事業ほか5事業	2,013,000円	離島留学事業補助金	12,740,380円	広報活動、現地説明会の実施	1,971,880円	離島留学費用負担軽減（家族留学・孫留学）	2,824,625円	寮運営費（寮留学）	7,106,269円	留学受入家屋の改修	837,606円
島づくり事業補助金	10,000,000円																																	
高島 有害鳥獣対策事業ほか7事業	1,261,000円																																	
神集島 移住対策事業ほか6事業	1,361,000円																																	
向島 島の宝発見事業ほか4事業	529,000円																																	
加唐島 有害鳥獣対策事業ほか6事業	1,946,000円																																	
松島 特産品開発事業ほか5事業	1,188,000円																																	
馬渡島 環境美化事業ほか4事業	1,702,000円																																	
小川島 磯道整備事業ほか5事業	2,013,000円																																	
離島留学事業補助金	12,740,380円																																	
広報活動、現地説明会の実施	1,971,880円																																	
離島留学費用負担軽減（家族留学・孫留学）	2,824,625円																																	
寮運営費（寮留学）	7,106,269円																																	
留学受入家屋の改修	837,606円																																	
成果等	島づくり事業への支援により全ての離島で島民がそれぞれの課題解決への取組みや島の特性を活かした取組みを連携して実施することで、各島の活性化が図られた。島外の児童生徒を離島留学生として、高島に5名、松島（加唐小）に1名、馬渡島に5名、小川島に2名の計13名を受け入れ、島民の活力向上につながった。																																	

款	総務費	項	地域振興費	目	地域振興費	担当所属	地域づくり課											
事業名	ふるさと集落活性化事業費		予算現額 (円)	29,265,000	決算額 (円)	27,411,667	執行率 (%)	93.7										
目的	地域住民の主体的な取組み等を支援する人材及び地域力の維持・強化を図るための人材を配置することで、集落の維持及び活性化を図ったもの。																	
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>集落支援員の雇用 7名（厳木、肥前、呼子地区各1名、まちづくり支援2名、離島支援2名）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>離島支援2名の雇用内訳 4月1日～8月31日（1名）、10月1日～令和5年3月31日（1名）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域おこし協力隊員の雇用 2名（七山地区）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>集落支援員及び地域おこし協力隊員報酬等</td> <td>24,957,261円</td> </tr> <tr> <td>集落支援員及び地域おこし協力隊員活動経費</td> <td>2,454,406円</td> </tr> </table>								集落支援員の雇用 7名（厳木、肥前、呼子地区各1名、まちづくり支援2名、離島支援2名）		離島支援2名の雇用内訳 4月1日～8月31日（1名）、10月1日～令和5年3月31日（1名）		地域おこし協力隊員の雇用 2名（七山地区）		集落支援員及び地域おこし協力隊員報酬等	24,957,261円	集落支援員及び地域おこし協力隊員活動経費	2,454,406円
集落支援員の雇用 7名（厳木、肥前、呼子地区各1名、まちづくり支援2名、離島支援2名）																		
離島支援2名の雇用内訳 4月1日～8月31日（1名）、10月1日～令和5年3月31日（1名）																		
地域おこし協力隊員の雇用 2名（七山地区）																		
集落支援員及び地域おこし協力隊員報酬等	24,957,261円																	
集落支援員及び地域おこし協力隊員活動経費	2,454,406円																	
成果等	地域まちづくり会議や地区協議会等の活動サポート、呼子朝市の活性化に向けた出店支援、離島留学事業や島づくり事業の活動サポート、地域おこし協力隊員による地域PR活動などにより、各地域の活性化につながった。 今後も地域の意見を聞き取りながら、継続的に地域づくり活動を支援していくことが必要である。																	

款	総務費	項	地域振興費	目	地域振興費	担当所属	地域づくり課																																																			
事業名	がんばる地域応援補助金		予算現額 (円)	17,567,000	決算額 (円)	15,171,000	執行率 (%)	86.4																																																		
目的	多様な市民活動・地域活動を支援することで、市民活動の育成及び地域力の向上を目指し、将来にわたり持続可能な地域の形成を図ったもの。																																																									
事業内容及び実績	<p>がんばる地域応援事業補助金</p> <p>地域の連帯感の醸成及び活性化を図るソフト事業 3,562,000円 実績 22団体（新規9件、継続13件）</p> <p>地域が所有又は管理する施設等の整備事業 740,000円 実績 3団体</p> <p>がんばる地域応援事業補助金（地域力促進枠）</p> <p>小さなチャレンジ事業（自治会、町内会等） 4,576,000円 実績 53団体</p> <p>地域まちづくり事業（地域まちづくり会議） 6,293,000円 実績 18団体</p> <p style="text-align: right;">（単位 千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>唐津</th> <th>浜玉</th> <th>厳木</th> <th>相知</th> <th>北波多</th> <th>肥前</th> <th>鎮西</th> <th>呼子</th> <th>七山</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ソフト事業</td> <td>2,293 (15団体)</td> <td>86 (1団体)</td> <td></td> <td>665 (3団体)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>518 (3団体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設等の整備事業</td> <td>518 (2団体)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>222 (1団体)</td> </tr> <tr> <td>小さなチャレンジ事業</td> <td>2,020 (26団体)</td> <td>163 (2団体)</td> <td></td> <td>796 (8団体)</td> <td>500 (5団体)</td> <td>636 (7団体)</td> <td>461 (5団体)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域まちづくり事業</td> <td>3,944 (11団体)</td> <td>283 (1団体)</td> <td>212 (1団体)</td> <td>279 (1団体)</td> <td>212 (1団体)</td> <td>383 (1団体)</td> <td>500 (1団体)</td> <td></td> <td>480 (1団体)</td> </tr> </tbody> </table>								区分	唐津	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	ソフト事業	2,293 (15団体)	86 (1団体)		665 (3団体)				518 (3団体)		施設等の整備事業	518 (2団体)								222 (1団体)	小さなチャレンジ事業	2,020 (26団体)	163 (2団体)		796 (8団体)	500 (5団体)	636 (7団体)	461 (5団体)			地域まちづくり事業	3,944 (11団体)	283 (1団体)	212 (1団体)	279 (1団体)	212 (1団体)	383 (1団体)	500 (1団体)		480 (1団体)
	区分	唐津	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山																																																
ソフト事業	2,293 (15団体)	86 (1団体)		665 (3団体)				518 (3団体)																																																		
施設等の整備事業	518 (2団体)								222 (1団体)																																																	
小さなチャレンジ事業	2,020 (26団体)	163 (2団体)		796 (8団体)	500 (5団体)	636 (7団体)	461 (5団体)																																																			
地域まちづくり事業	3,944 (11団体)	283 (1団体)	212 (1団体)	279 (1団体)	212 (1団体)	383 (1団体)	500 (1団体)		480 (1団体)																																																	
成果等	令和4年度においても、コロナ禍により、多くの地域活動が中止を余儀なくされたが、そのような中でも感染症対策を徹底した上で事業に取り組む団体を一定数支援することができた。																																																									

款	総務費	項	地域振興費	目	地域振興費	担当所属	地域づくり課	
事業名	古窯の里整備事業費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	7,315,000	決算額 (円)	6,455,900	執行率 (%)	88.3
目的	唐津焼発祥の地である岸岳古窯跡群、岸岳城跡、古窯の森公園を中心とした区域を「古窯の里」として保全・活用を図ったもの。							
事業内容及び実績	古窯の里人道橋整備工事 6,455,900円 コンクリート製人道橋 L=6.4m 手摺設置 L=10.9m							
成果等	古窯の森公園内に整備を行ってきた散策路と東側の飯洞甕窯跡エリアを人道橋でつなげることにより、古窯の森公園と周辺の飯洞甕下窯跡及び飯洞甕上窯跡の周遊がスムーズに行えるようになったことで、古窯の森公園周辺への来訪者の増加を図った。							

款	総務費	項	地域振興費	目	地域振興費	担当所属	地域づくり課	
事業名	地域づくり人材活用事業 補助金		予算現額 (円)	9,570,000	決算額 (円)	6,804,000	執行率 (%)	71.1
目的	マルチワーカーの採用及び派遣事業を実施する特定地域づくり事業協同組合を支援することにより 本地域への定住促進と地域産業の担い手不足への対応を行い、地域の人材確保を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業実施主体 人材バンク唐津協同組合 補助対象事業費 13,609,436円 補助金額 6,804,000円 雇用実績 事務局職員1名、派遣労働者4名 派遣先事業所数 9社							
成果等	補助金を交付し、組合の安定的運営の支援を行った。組合員数も増えており、派遣先の確保につながっている。過疎地域などにおける人材確保のため、多様な働き方を提供できる当該組合の安定的運営が必要である。							

款	総務費	項	地域振興費	目	地域振興費	担当所属	地域づくり課	
事業名	呼子小友地区賑わいづくり 支援事業費（繰越明許分）		予算現額 (円)	35,541,000	決算額 (円)	28,355,800	執行率 (%)	79.8
目的	海を渡る小友祇園山笠の海中巡行路の嵩上げを行い、「小友祇園祭」の休日開催を実現することにより、担い手の確保と交流人口の増加を図ったもの。							
事業内容及び実績	海中巡行路の整備（潜堤の嵩上げ） 28,355,800円 L=68.7m H=0.4m							
成果等	令和4年6月末竣工し、同年7月16日及び17日に嵩上げ後初めての小友祇園祭が開催された。 海中巡行路を嵩上げしたことで、山笠の海中巡行時における潮位の影響を小さくすることができ、これまで大潮の干潮時に限定されていた小友祇園祭の催行を週末に固定することが可能となったことで、今後のまつりの担い手確保につながった。							

### 3 民 生 費

#### (1) 社会福祉費

福祉施策では、福祉のまちづくりを推進することを目的に、地域福祉活動事業の円滑かつ適正化を図るため、唐津市社会福祉協議会や唐津市民生・児童委員連絡協議会に対し補助を実施したほか、災害り災者に対する見舞金の支給等を実施し、生活再建に向けた支援を行った。

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対し、困窮状態からの早期脱却を促し、経済的・社会的自立につながることを目的に、唐津市生活自立支援センターにおいて自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給や家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施した。

唐津市福祉・就労支援コーナーにおいて、市とハローワークによる生活保護受給者及び母子・父子家庭等に対する一体的な就労支援を実施した。

新型コロナウイルス感染症の長期化や電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に対し給付金を支給し、生活支援を行った。

また、唐津市生活自立支援センターと連携し、生活困窮者の支援を行った団体に対し、その活動経費の助成を行ったほか、総合支援資金等が貸付限度に達している等の事情で、特例貸付を利用できない生活困窮世帯を対象に支援金を支給し、自立支援につなげた。

社会福祉施設の安全な施設運営のため、必要な補修工事を行ったほか、ひれふりランド高齢者交流センター（ひれふりホール）の廃止に伴う解体工事のための周辺家屋等の事前調査及び実施設計等を行った。

障がい者福祉施策では、障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付、自立支援医療などの自立支援給付事業、市町村事業である地域生活支援事業などの諸事業及び就労支援事業を実施し、障がい者の自立と社会参加を促進したほか、唐津市成年後見サポートセンターを開設し、情報提供及び広報活動を充実させ、成年後見制度の周知と利用促進を図った。また、物価高騰の影響を受けた市内の障がい福祉サービス事業所等への対策として、支援金を交付することで、障がい福祉サービスの安定的な提供とサービスの質の維持に努めた。

障がい者支援センターでは、障がい者の機能訓練及び社会参加促進等のための諸事業を実施した。

高齢者福祉としては、社会の高齢化が進む中、高齢者が健康で生きがいを持ち、地域で安全・安心に暮らせる優しさと温もりのあるまちづくりを目指して施策を推進した。

高齢者の生きがいと健康づくり施策では、地区敬老会行事奨励事業、敬老祝金支給事業、老人クラブ団体運営事業、シルバー人材センターへの助成事業及び市民活動支援センター事業を実施した。

高齢者の生活支援施策では、在宅の高齢者の安全・安心を図るため、介護サービスと連携した居宅サービスの充実に努め、高齢者日常生活支援事業、はり、きゅう等施術費助成事業、一人暮らし高齢者に対する緊急通報装置の設置事業等を実施した。

また、高齢者の交通事故防止を図るため、運転免許証を自主返納した高齢者に対する運転免許証自主返納者支援事業を実施した。

物価高騰により影響を受けた介護保険施設等への対策として、支援金を交付することで、介護サービスの安定的な提供とサービスの質の維持に努めた。

高齢者ふれあい会館等の各高齢者福祉施設を適切に管理し運営することで、利用者の利便性と安全性を確保するとともに、老朽化に伴う施設の修繕等を行った介護事業所に対し、その費用の一部を補助した。

人権・同和対策として、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解消を図るために、同和問題講演会及び人権フォーラムの開催や人権の花運動を実施し、市民に対して人権啓発の推進に努めた。

人権ふれあいセンターにおいては、地域住民の社会的、経済的、文化的改善向上を図り、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の近隣住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のため福祉・文化・教育等の事業活動を行った。

市民相談事業では、多様化する市民の諸相談について、弁護士による無料法律相談を行い、市民生活の安定に努めた。

消費者行政施策としては、市民の消費生活の安定、向上を図るため、消費生活センターにおいて、消費

生活専門相談員による消費者トラブルへの助言、苦情処理のあっせん、情報の提供等を行ったほか、市のホームページ、市報、行政放送などを活用し、市民を対象に消費生活に関する啓発を行った。

## (2) 児童福祉費

児童が心身ともに健やかに育成されるように諸施策の推進を図った。

子育て支援を包括的に行う拠点として、唐津市子育て支援センター内で、子育てに関する情報の提供や相談業務、子育て緊急サポートセンター事業、病後児保育事業、地域子育て支援拠点事業及び子ども子育て交流フロアキッズルームの運用を引き続き行ったほか、新生児を対象に「からつつ子応援ギフト」を配付し、配付時には各種支援事業の周知を図ることにより、物心両面からの応援事業を実施した。

唐津市保健センターにおいては、妊娠・出産包括支援事業として母子保健コーディネーターを配置し、支援の必要な妊産婦の支援計画を作成し、関係機関と連携を取り適切な支援を行った。

また、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援と、出産育児関連用品の購入費用などの負担軽減を図る経済的支援を一体的に行った。

児童虐待や不登校などの家庭児童相談及び要保護児童等の早期発見、適切な保護及び支援に努めたほか、教育や体験活動の機会均等を図るべく、子どもの「学習と体験の居場所」のモデル事業を実施し、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりに取り組んだ。

保育施策として、保護者の就労形態の多様化や核家族化の進展に伴い変化する保育ニーズに対応するため、延長保育事業、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業等の特別保育事業を実施したほか、市独自施策として多子世帯の保育料軽減を図った。

離島における保育事業の円滑化と適正化を図るため、運営に係る補助を行い離島の保育事業を維持した。

子育てのための施設等利用給付事業においても、3歳児から5歳児までの一時預かり等の各種サービスの利用料を無償化することにより、保護者の経済的負担軽減を図った。

加えて、待機児童を解消するため、就職（復職）準備金等を支給した保育所等に対して補助することにより保育士等の人材確保に努めた。

子どもを安心して育てることができる環境を整備するため、環境改善につながる大規模修繕及び防犯対策強化のための外構整備や防犯カメラ等の設置を行った保育所等に対し、整備費用の一部を補助した。

放課後児童クラブでは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全育成を図るとともに、保護者への子育て支援を行った。

久里小学校グラウンド内に久里放課後児童クラブ専用施設の整備を行ったほか、長松地区において、令和5年4月に民間の放課後児童クラブが開所するにあたり、開所準備費用の補助を実施した。

子どもを持つ世帯の経済的負担を軽減するため、中学生までの児童を対象とする子どもの医療費助成を現物給付により行ったほか、ひとり親家庭等医療費助成では医療費の自己負担分に対する助成を行った。

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの成長を社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童生徒を対象に児童手当等を支給し、子育て家庭に対する生活安心の確保を図った。

また、ひとり親家庭等の生活安定と自立促進を図るため、高校修了までの児童生徒を養育するひとり親家庭等を対象に児童扶養手当を支給した。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するため、各種の臨時特別の給付金を支給し、子育て世帯の生活支援を行った。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、保育施設等が購入するマスク、消毒液等の経費に対し補助を行うことにより、保育施設での感染拡大防止対策を実施することができた。

物価高騰の影響を受ける保育所等に対して、施設運営の維持を図り、利用者が安心してサービスを受けることができる環境を確保するため、支援金等を支給した。

## (3) 生活保護費

生活に困っているすべての人に対し、健康で文化的な生活水準を維持し最低限度の生活を保障するため、生活保護事業を実施した。生活保護の適正実施を図り、保護世帯の自立助長に努めた。



款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	担当所属	生活保護課	
事業名	生活困窮者自立支援事業費		予算現額 (円)	39,286,000	決算額 (円)	37,173,994	執行率 (%)	94.6
目的	生活保護に至る前の段階にある生活困窮者について、包括的かつ継続的な相談支援等を実施し、困窮状態からの早期脱却を促し、経済的・社会的自立につなげたもの。また、生活困窮者の自立支援に関する必要な機能強化を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>自立相談支援事業 相談者に応じたプランを作成し、関係機関と連絡調整し支援を実施。</p> <p>家計改善支援事業 家計の問題点を把握し、滞納整理などに対し必要な助言等を実施。</p> <p>住居確保給付金事業 離職等により、住宅を失った又は失うおそれのある者に対し、家賃相当の給付金を支給し、安定した住居の確保と就労自立を図った。</p> <p>新規相談者数 361人 延べ相談件数 15,238件</p> <p>プラン策定件数 93件 就職決定者数 115人</p> <p>住居確保給付金支給者数 18人</p> <p>生活困窮者自立支援の機能強化事業 コロナ禍における支援ニーズの増大に対応した生活困窮者支援団体の活動に対し、助成を行った。</p> <p>支援団体数 10団体</p>							
成果等	生活困窮者に対し、ハローワークと連携し就労支援を実施したことで、就職決定者数が増加し自立支援につながった。住居確保給付金事業では、新規決定から再支給までの長期に渡って支援を行ったことで住居と就労機会の確保につながった。生活困窮者自立支援の機能強化事業では、支援団体と連携することにより、生活困窮者の問題解決の糸口となった。							

款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	担当所属	生活保護課	
事業名	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費 同 事務費		予算現額 (円)	38,206,081 3,383,919	決算額 (円)	22,500,000 3,383,805	執行率 (%)	58.9 100.0
目的	新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、総合支援資金等が貸付限度額に達している等の事情で、特例貸付を利用できない生活困窮世帯を対象に支援金を支給し、自立支援につなげたもの。							
事業内容及び実績	<p>支給額（月額） 単身世帯 6万円 2人世帯 8万円 3人以上世帯 10万円</p> <p>支給決定数 単身世帯 33世帯 2人世帯 23世帯 3人以上世帯 21世帯</p> <hr/> <p>合計 77世帯</p> <p>支給期間 初回支給3か月、再支給3か月</p> <p>申請期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで</p>							
成果等	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対し、就労による自立を図るため、支援金を支給したことで26人の常用就職につながった。							

款	民生費	項	社会福祉費		社会福祉総務費		担当所属	福祉総務課	
			目	目	目	目		目	目
事業名	令和4年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業費 同 事務費		予算現額 (円)	240,000,000 6,963,000	決算額 (円)	159,700,000 4,223,457	執行率 (%)	66.5 60.7	
目的	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が速やかに生活、暮らしの支援を受けられるよう、令和4年度住民税非課税世帯に対し、給付金を支給したものの。								
事業内容及び実績	令和4年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業費				令和4年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事務費				
	支給額	1世帯当たり10万円			会計年度任用職員関連経費	1,633,812円			
	支給世帯数	1,597世帯			消耗品費	79,924円			
	対象世帯				手数料	176,220円			
	令和4年度に新たに住民税非課税となった世帯（令和3年度に「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の対象となった世帯は、本事業の対象外。）				委託料	1,511,400円			
					使用料及び賃借料	822,101円			
成果等	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で令和4年度に新たに住民税非課税となった世帯に対し、給付金の支給を行うことにより、生活支援を行うことができた。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年1月以降急激に収入が減少した世帯に対しては、別事業「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業（繰越明許分）」で給付を行い、生活支援を行った。								

款	民生費	項	社会福祉費		社会福祉総務費		担当所属	福祉総務課	
			目	目	目	目		目	目
事業名	住民税非課税世帯等に対する支援給付金給付事業費（電力・ガス・食料品等価格高騰分） 同 事務費		予算現額 (円)	710,000,000 23,405,000	決算額 (円)	658,500,000 16,512,869	執行率 (%)	92.7 70.6	
目的	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（令和4年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯）に対し、給付金を支給したものの。								
事業内容及び実績	住民税非課税世帯等に対する支援給付金給付事業費（電力・ガス・食料品等価格高騰分）				住民税非課税世帯等に対する支援給付金給付事務費（電力・ガス・食料品等価格高騰分）				
	支給額	1世帯当たり5万円			会計年度任用職員関連経費	833,702円			
	支給世帯数	13,170世帯			職員手当等	35,112円			
	内訳 住民税非課税世帯	13,021世帯			消耗品費	1,155,886円			
	家計急変世帯	149世帯			郵便料	3,873,397円			
	対象世帯				電信電話料	13,971円			
	令和4年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯				手数料	1,450,735円			
					委託料	8,638,000円			
					使用料及び賃借料	512,066円			
成果等	電力・ガス・食料品等の価格が高騰する中、特に影響が大きいと考えられる低所得世帯に対し、給付金の支給を行うことにより、生活支援を行うことができた。								

款	民生費	項	社会福祉費		社会福祉総務費		担当所属	福祉総務課	
			目	目	目	目		目	目
事業名	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費 同 事務費（繰越明許分）	予算現額 (円)	425,400,000 6,609,000	決算額 (円)	101,000,000 3,007,002	執行率 (%)	23.7 45.5		
目的	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が速やかに生活、暮らしの支援を受けられるよう、令和3年度住民税非課税世帯等に対し、給付金を支給したものの。								
事業内容及び実績	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 給付事業費（繰越明許分）		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 給付事務費（繰越明許分）						
	支給額	1世帯当たり10万円	会計年度任用職員関連経費		621,154円				
	支給世帯数	1,010世帯	職員手当等		613,201円				
	内訳	住民税非課税世帯 927世帯	消耗品費		132,273円				
		家計急変世帯 83世帯	印刷製本費		163,015円				
	対象世帯		郵便料		969,248円				
	令和3年度住民税非課税世帯及び 家計急変世帯		電信電話料		5,246円				
			手数料		113,465円				
			使用料及び賃借料		389,400円				
成果等	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で住民税非課税世帯等に対し、給付金の支給を行うことにより、生活支援を行うことができた。 なお、本事業は令和3年度からの繰越事業であり、令和3年度及び令和4年度の事業全体における給付金支給世帯数は、13,255世帯となった。								

款	民生費	項	社会福祉費		障害者福祉費		担当所属	障がい者支援課	
			目	目	目	目		目	目
事業名	重度心身障害者医療費 助成費	予算現額 (円)	210,093,000	決算額 (円)	190,283,046	執行率 (%)	90.6		
目的	障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者に対して医療費の一部を助成したものの。								
事業内容及び実績	事業内容 医療を受けた月の翌月から起算して、1年以内の医療保険適用分の医療費の助成申請を受け、自己負担（月額500円）や高額療養費等を控除した助成費を交付した。								
	対象者数	身体障害者手帳1級か2級の者			2,100人				
		知能指数が35以下の者			374人				
		精神障害者保健福祉手帳1級の者			47人				
		身体障害者手帳3級かつ知能指数が50以下の者			4人				
		合 計			2,525人				
成果等	障がい者の経済的負担を軽減し、安心して医療を受けられる体制を整えることにより、障がい者の保健及び福祉の向上に寄与することができた。								

款	民生費	項	社会福祉費	目	障害者福祉費	担当所属	障がい者支援課																									
事業名	心身障害者日常生活用具給付費		予算現額 (円)	32,568,650	決算額 (円)	32,568,650	執行率 (%)	100.0																								
目的	在宅の障がい者や障がい児、難病患者等の福祉の増進を図るため、障がい者等に対して日常生活用具を給付したものの。																															
事業内容及び実績	<p>事業内容 障がい者等が日常生活を送るうえで必要な用具を障がいの種別や程度に応じて給付した。 (世帯の課税状況により自己負担あり)</p> <table border="0"> <tr> <td>対象件数</td> <td>排泄管理支援用具（ストマ用装具等）</td> <td>2,733件</td> <td>28,256,664円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自立生活支援用具（入浴補助用具等）</td> <td>18件</td> <td>882,716円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情報意思疎通支援用具（活字文書読上装置等）</td> <td>29件</td> <td>2,383,850円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在宅療養等支援用具（吸引器等）</td> <td>12件</td> <td>390,660円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>介護訓練支援用具（特殊寝台等）、住宅改修費</td> <td>6件</td> <td>654,760円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>2,798件</td> <td>32,568,650円</td> </tr> </table>								対象件数	排泄管理支援用具（ストマ用装具等）	2,733件	28,256,664円		自立生活支援用具（入浴補助用具等）	18件	882,716円		情報意思疎通支援用具（活字文書読上装置等）	29件	2,383,850円		在宅療養等支援用具（吸引器等）	12件	390,660円		介護訓練支援用具（特殊寝台等）、住宅改修費	6件	654,760円		合 計	2,798件	32,568,650円
対象件数	排泄管理支援用具（ストマ用装具等）	2,733件	28,256,664円																													
	自立生活支援用具（入浴補助用具等）	18件	882,716円																													
	情報意思疎通支援用具（活字文書読上装置等）	29件	2,383,850円																													
	在宅療養等支援用具（吸引器等）	12件	390,660円																													
	介護訓練支援用具（特殊寝台等）、住宅改修費	6件	654,760円																													
	合 計	2,798件	32,568,650円																													
成果等	在宅の心身障がい者（児）による日常生活用具の購入が容易になったことで、日常生活が円滑に行われるようになり、障がいのある方の日常生活の便宜を図り、福祉の増進に資することができた。																															

款	民生費	項	社会福祉費	目	障害者福祉費	担当所属	障がい者支援課	
事業名	障害者成年後見制度利用支援事業費		予算現額 (円)	1,691,281	決算額 (円)	1,691,281	執行率 (%)	100.0
目的	成年後見制度の利用が有効と認められる知的障がい者又は精神障がい者に対し、成年後見制度の利用を支援することにより、障がい者の権利擁護を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>成年後見人等報酬の助成（全部又は一部） 576,000円（4件）</p> <p>唐津市成年後見サポートセンターの運営（令和4年10月開設） 1,115,281円</p> <p>委託先 唐津市社会福祉協議会</p> <p>後見開始等の申立</p> <p>なし</p>							
成果等	令和4年10月から唐津市成年後見サポートセンターを開設し、情報提供及び広報活動を充実させ、成年後見制度の周知と利用促進を図った。しかし、依然として成年後見制度に対する認知度が低く、さらなる周知と利用促進を目指す。							

款	民生費	項	社会福祉費	目	障害者福祉費	担当所属	障がい者支援課	
事業名	手話言語等環境整備事業費		予算現額 (円)	7,331,000	決算額 (円)	7,058,187	執行率 (%)	96.3
目的	聴覚障がい者（児）の社会生活等におけるコミュニケーションが円滑に行えるよう支援を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>手話通訳設置事業 5,700,332円 聴覚障がい者宅訪問30人、窓口等対応538件</p> <p>手話普及、啓発活動事業 129,960円 学校訪問 14校（20クラス） 職員研修2回 ※ろう講師と手話通訳者を派遣し講義を行ったもの。 要約筆記 4校（6クラス）</p> <p>手話通訳者派遣事業 85,300円 18回</p> <p>意思疎通支援者派遣事業 306,000円 手話15人（87回）、要約筆記2人（6回）</p> <p>奉仕員養成事業 836,595円 手話教室（47回） 22名 要約筆記教室（23回） 7名</p>							
成果等	令和元年12月の唐津市手話言語の普及及び聴覚障害児・者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例制定以降、企業及び学校を対象に手話講座を開催することで、手話の普及、啓発活動へつながった。また、聴覚障がい者（児）の自宅を訪問し、生活状況の聴き取り及び情報提供を行うことで、コミュニケーション支援へとつながった。							

款	民生費	項	社会福祉費		目	障害者福祉費		担当所属	障がい者支援課																																																																																															
			予算現額(円)	3,395,422,000		決算額(円)	3,382,312,905		執行率(%)	99.6																																																																																														
事業名	障害福祉サービス費		予算現額(円)	3,395,422,000	決算額(円)	3,382,312,905	執行率(%)	99.6																																																																																																
目的	障がいがあるために社会への適応が困難な者に対し、障害者総合支援法等に基づき適切な支援を行い、障がい者（児）の更生、訓練等及び社会復帰を支援することにより障がい者（児）の福祉の向上を図ったもの。																																																																																																							
事業内容及び実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>人員</th> <th>金額(円)</th> <th>事業名</th> <th>人員</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護</td> <td>127</td> <td>83,952,106</td> <td>就労継続支援（A型）</td> <td>110</td> <td>191,672,244</td> </tr> <tr> <td>重度訪問介護</td> <td>2</td> <td>38,484,150</td> <td>就労継続支援（B型）</td> <td>432</td> <td>683,924,046</td> </tr> <tr> <td>行動援護</td> <td>1</td> <td>420,530</td> <td>就労定着支援</td> <td>2</td> <td>548,623</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td>14</td> <td>4,166,388</td> <td>地域移行支援</td> <td>0</td> <td>40,210</td> </tr> <tr> <td>生活介護</td> <td>338</td> <td>798,190,899</td> <td>高額障害福祉サービス費</td> <td>9</td> <td>783,472</td> </tr> <tr> <td>療養介護</td> <td>47</td> <td>164,064,790</td> <td>障害児相談支援</td> <td>86</td> <td>25,584,630</td> </tr> <tr> <td>短期入所</td> <td>31</td> <td>46,659,345</td> <td>児童発達支援</td> <td>147</td> <td>192,438,456</td> </tr> <tr> <td>施設入所支援</td> <td>210</td> <td>326,046,209</td> <td>放課後等デイサービス</td> <td>294</td> <td>366,420,752</td> </tr> <tr> <td>計画相談支援</td> <td>223</td> <td>46,328,671</td> <td>保育所等訪問支援</td> <td>4</td> <td>1,160,169</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助</td> <td>207</td> <td>355,229,066</td> <td>療養介護医療費</td> <td>43</td> <td>34,600,362</td> </tr> <tr> <td>宿泊型自立訓練</td> <td>0</td> <td>0</td> <td rowspan="2">やむを得ない措置費（放課後等デイサービス）</td> <td rowspan="2">0</td> <td rowspan="2">0</td> </tr> <tr> <td>自立生活援助</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>自立訓練（機能訓練）</td> <td>1</td> <td>618,471</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>自立訓練（生活訓練）</td> <td>1</td> <td>1,481,350</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>10</td> <td>19,497,966</td> <td>サービス費計</td> <td>2,339</td> <td>3,382,312,905</td> </tr> </tbody> </table>											事業名	人員	金額(円)	事業名	人員	金額(円)	居宅介護	127	83,952,106	就労継続支援（A型）	110	191,672,244	重度訪問介護	2	38,484,150	就労継続支援（B型）	432	683,924,046	行動援護	1	420,530	就労定着支援	2	548,623	同行援護	14	4,166,388	地域移行支援	0	40,210	生活介護	338	798,190,899	高額障害福祉サービス費	9	783,472	療養介護	47	164,064,790	障害児相談支援	86	25,584,630	短期入所	31	46,659,345	児童発達支援	147	192,438,456	施設入所支援	210	326,046,209	放課後等デイサービス	294	366,420,752	計画相談支援	223	46,328,671	保育所等訪問支援	4	1,160,169	共同生活援助	207	355,229,066	療養介護医療費	43	34,600,362	宿泊型自立訓練	0	0	やむを得ない措置費（放課後等デイサービス）	0	0	自立生活援助	0	0	自立訓練（機能訓練）	1	618,471				自立訓練（生活訓練）	1	1,481,350				就労移行支援	10	19,497,966	サービス費計	2,339	3,382,312,905
	事業名	人員	金額(円)	事業名	人員	金額(円)																																																																																																		
	居宅介護	127	83,952,106	就労継続支援（A型）	110	191,672,244																																																																																																		
	重度訪問介護	2	38,484,150	就労継続支援（B型）	432	683,924,046																																																																																																		
	行動援護	1	420,530	就労定着支援	2	548,623																																																																																																		
	同行援護	14	4,166,388	地域移行支援	0	40,210																																																																																																		
	生活介護	338	798,190,899	高額障害福祉サービス費	9	783,472																																																																																																		
	療養介護	47	164,064,790	障害児相談支援	86	25,584,630																																																																																																		
	短期入所	31	46,659,345	児童発達支援	147	192,438,456																																																																																																		
	施設入所支援	210	326,046,209	放課後等デイサービス	294	366,420,752																																																																																																		
	計画相談支援	223	46,328,671	保育所等訪問支援	4	1,160,169																																																																																																		
	共同生活援助	207	355,229,066	療養介護医療費	43	34,600,362																																																																																																		
	宿泊型自立訓練	0	0	やむを得ない措置費（放課後等デイサービス）	0	0																																																																																																		
	自立生活援助	0	0																																																																																																					
	自立訓練（機能訓練）	1	618,471																																																																																																					
	自立訓練（生活訓練）	1	1,481,350																																																																																																					
就労移行支援	10	19,497,966	サービス費計	2,339	3,382,312,905																																																																																																			
成果等	<p>障がい者（児）の支援、更生や訓練等の障害福祉サービス費等を給付し、障がいの維持、軽減を図ることにより、自立した生活や社会参加の促進につながった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等により十分な就労支援の実施や就職活動の継続が困難な状況であったが、障がいのある人が就労支援事業所等から一般就労へ移行した数は、第2次唐津市総合計画後期基本計画に掲げる目標値13人を若干であるが上回り、14人であった。</p>																																																																																																							

款	民生費	項	社会福祉費	目	障害者福祉費	担当所属	障がい者支援課	
事業名	障害者就労支援事業費		予算現額 (円)	1,597,937	決算額 (円)	851,270	執行率 (%)	53.3
目的	障がい者を期限付きで会計年度任用職員（事務補助）として雇用することにより、障がい者本人が就労に対する自信を持てるように経験を積み、将来の一般就労につながるよう実施したものの。							
事業内容及び実績	<p>障がい者2名を会計年度任用職員（事務補助）として雇用</p> <p>勤務部署 障がい者支援課 2名</p> <p>雇用期間</p> <p>令和4年 4月1日から令和4年7月31日まで 1名（7.5時間×5日/週）</p> <p>令和4年11月1日から令和5年3月31日まで 1名（6.0時間×4日/週）</p>							
成果等	<p>就労経験や事務職経験が全くない障がい者に対して、一般就労に関する一定の知識と経験を付与することができ、就労に向けたステップアップの機会を提供することができた。</p> <p>今後もハローワークとの連携を図りながら事業を推進したい。</p> <p>執行率が低かった理由としては、8月から10月まで雇用が無かったこと、また、11月から雇用した会計年度任用職員について、本人の体調面に配慮した時短勤務の適用及び、2月から3月中旬まで病気による欠勤が生じたことが挙げられる。</p>							

款	民生費	項	社会福祉費	目	障害者福祉費	担当所属	障がい者支援課									
事業名	障がい福祉施設等物価高騰対策緊急支援金		予算現額 (円)	7,456,000	決算額 (円)	7,456,000	執行率 (%)	100.0								
目的	物価高騰の影響を受けている障がい福祉サービス事業所等の負担軽減を図るため、支援金を交付したものの。															
事業内容及び実績	<p>事業内容 障がい福祉サービス内容及び施設規模に応じ、市内の障がい福祉サービス事業所等に支援金を交付した。</p> <p>申請事業所数</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">入所支援事業所</td> <td style="width: 20%;">24事業所</td> </tr> <tr> <td>通所支援事業所</td> <td>31事業所</td> </tr> <tr> <td>訪問支援事業所</td> <td>33事業所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>88事業所</td> </tr> </table>								入所支援事業所	24事業所	通所支援事業所	31事業所	訪問支援事業所	33事業所	合計	88事業所
入所支援事業所	24事業所															
通所支援事業所	31事業所															
訪問支援事業所	33事業所															
合計	88事業所															
成果等	物価高騰の影響を受けている障がい福祉サービス事業所等に支援金を交付したことにより、経費削減に伴うサービスの質の低下を未然に防ぐことができた。															

款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	担当所属	高齢者支援課																
事業名	敬老祝金支給事業費		予算現額 (円)	20,072,000	決算額 (円)	20,049,000	執行率 (%)	99.9															
目的	高齢者に対しその長寿を祝福する祝金を支給することで、敬老の意を表するとともに福祉の増進を図ったもの。																						
事業内容及び実績	<p>対象者 市内に住所を有し、令和4年9月1日時点で88歳若しくは100歳以上の者又は最高齢者</p> <p>支給額</p> <table border="1"> <tr> <td>88歳</td> <td>20,000円</td> <td>850人</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>50,000円</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>101歳（令和4年度特例）</td> <td>30,000円</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>102歳以上（最高齢除く）</td> <td>10,000円</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>最高齢</td> <td>30,000円</td> <td>1人</td> </tr> </table>								88歳	20,000円	850人	100歳	50,000円	30人	101歳（令和4年度特例）	30,000円	33人	102歳以上（最高齢除く）	10,000円	43人	最高齢	30,000円	1人
88歳	20,000円	850人																					
100歳	50,000円	30人																					
101歳（令和4年度特例）	30,000円	33人																					
102歳以上（最高齢除く）	10,000円	43人																					
最高齢	30,000円	1人																					
成果等	高齢者の人生の節目に祝意と感謝を表し、市民への敬老精神の普及に寄与した。																						

款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	担当所属	高齢者支援課																						
事業名	運転免許証自主返納者支援事業費		予算現額 (円)	7,903,000	決算額 (円)	6,867,480	執行率 (%)	86.9																					
目的	高齢者の交通事故を防止するため、運転免許証を自主返納した方に対し、タクシー運賃が3割引となるタクシー利用券等を交付し返納後の日常生活を支援することで、運転免許証の自主的な返納を促したもの。																												
事業内容及び実績	<p>タクシー運賃が3割引になるタクシー利用券を交付  （1月当たり4枚、年間最大48枚まで3年間交付。助成する上限額は、1回の乗車当たり1,500円。）  運転経歴証明書交付手数料（1,100円）を1回に限り助成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請者数</td> <td>1,295 人</td> <td>1,310 人</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>778 人</td> <td>784 人</td> </tr> <tr> <td>交付枚数</td> <td>49,424 枚</td> <td>48,616 枚</td> </tr> <tr> <td>利用枚数</td> <td>12,863 枚</td> <td>12,051 枚</td> </tr> <tr> <td>タクシー利用券利用率</td> <td>約26 %</td> <td>約25 %</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>5,946,600 円</td> <td>5,587,780 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>返納者数 令和元年度 656人、令和2年度 572人、令和3年度 589人、令和4年度 514人</p>									令和3年度	令和4年度	申請者数	1,295 人	1,310 人	利用者数	778 人	784 人	交付枚数	49,424 枚	48,616 枚	利用枚数	12,863 枚	12,051 枚	タクシー利用券利用率	約26 %	約25 %	補助金額	5,946,600 円	5,587,780 円
	令和3年度	令和4年度																											
申請者数	1,295 人	1,310 人																											
利用者数	778 人	784 人																											
交付枚数	49,424 枚	48,616 枚																											
利用枚数	12,863 枚	12,051 枚																											
タクシー利用券利用率	約26 %	約25 %																											
補助金額	5,946,600 円	5,587,780 円																											
成果等	高齢者が運転免許証を返納しやすい環境を作り、高齢者の交通事故の防止につながった。																												



款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	担当所属	高齢者支援課	
事業名	介護保険施設等物価高騰対策緊急支援金		予算現額 (円)	39,063,000	決算額 (円)	39,063,000	執行率 (%)	100.0
目的	物価高騰の影響を受けながらも、介護サービス等の安定的な提供を継続されている介護保険施設等に支援金を交付したものの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容 介護保険施設等の種類及び定員規模に応じ、市内の介護保険施設等に支援金を交付した。</p> <p>申請施設数 入所系・入居系施設 68施設 通所系事業所 107事業所 訪問系事業所 126事業所</p> <hr/> <p>合計 301事業所</p>							
成果等	物価高騰の影響を受けている介護保険施設等に支援金を交付したことにより、経費削減に伴う介護サービスの質の低下等を未然に防ぐことができた。							

款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉施設費	担当所属	高齢者支援課	
事業名	高齢者施設等防災改修事業補助金 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	38,779,000 7,730,000	決算額 (円)	129,000 7,730,000	執行率 (%)	0.3 100.0
目的	介護施設の老朽化による修繕や緊急災害時の安全管理に必要な改修等に対し補助を行い、介護サービス利用者の安全確保を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容（現年度分）</p> <p>対象施設 ケアホームみどりやま（小規模有料老人ホーム）</p> <p>対象事業 ブロック塀の改修</p> <p>事業費 173,250円 補助金 129,000円</p> <p>事業内容（繰越明許分）</p> <p>対象施設 グループホームきたはた1号館（認知症高齢者グループホーム）</p> <p>対象事業 冷暖房設備等の改修、外壁等の塗り替え</p> <p>事業費 8,511,067円 補助金 7,730,000円</p>							
成果等	老朽化した介護施設の改修を行うことで、利用者の安全を確保することができた。 全国的に地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金に対する事前協議数が増加しており、採択を得ることが困難になっている。（15施設中2施設採択）							

款	民生費	項	社会福祉費	目	総合福祉施設費	担当所属	福祉総務課	
事業名	ひれふりランド高齢者交流センター解体事業費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	102,415,000 1,606,000	決算額 (円)	2,428,205 1,606,000	執行率 (%)	2.4 100.0
目的	ひれふりランド高齢者交流センター（ひれふりホール）の廃止に伴い、解体工事を行うための周辺家屋等の事前調査及び実施設計などを行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容（現年度分）</p> <p>周辺家屋等事前調査業務 2,124,100円</p> <p>産業廃棄物処理業務 304,105円</p> <p>事業内容（繰越明許分）</p> <p>解体工事实施設計業務 1,606,000円</p>							
成果等	<p>ひれふりランド高齢者交流センターを解体するための周辺家屋等の事前調査や実施設計などを完了することができた。</p> <p>なお、解体工事の工期が令和5年2月8日から令和5年9月29日までであり、令和4年度中に事業が完了しないため、90,482,000円を令和5年度に繰り越した。</p>							

款	民生費	項	社会福祉費	目	市民相談費	担当所属	市民課	
事業名	市民相談事業費		予算現額 (円)	14,998,000	決算額 (円)	14,504,830	執行率 (%)	96.7
目的	高度化、多様化する市民の各種相談に対し、弁護士による専門的相談体制を整備し対応したもの。また、消費者の権利の尊重及び自立支援、消費生活の安定向上のために消費生活センターを設置し、消費生活専門相談員による相談体制を整備することで、市民生活の安全安心につなげたもの。							
事業内容及び実績	<p>無料法律相談（年間66回実施） 弁護士報償費 1,777,700円</p> <p>NPO法人消費生活相談員の会さが 委託料 7,597,886円</p> <p>（年間消費生活相談員配置 延べ521人）</p> <p>その他事業費 5,129,244円</p> <p>相談件数 無料法律相談 474件</p> <p>一般相談 535件</p> <p>消費生活相談 914件</p>							
成果等	<p>弁護士による的確、専門的な法律相談により、市民の多様な相談内容に応えることができた。</p> <p>また、消費生活専門相談員による市民への消費生活情報の提供、さらには相談、あっせんにより、消費者問題の解決、消費者教育、啓発が図られた。</p>							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課																					
事業名	子ども・子育て支援事業費		予算現額 (円)	30,220,000	決算額 (円)	30,220,000	執行率 (%)	100.0																				
目的	安心して子育てができる環境を整えるため、子育てに関する支援事業を包括的に実施したものの。																											
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>子育て利用者支援事業</td> <td>7,310,000円</td> <td>(相談件数</td> <td>713件)</td> </tr> <tr> <td>子育て緊急サポートセンター事業</td> <td>7,851,000円</td> <td>(支援人数</td> <td>896人)</td> </tr> <tr> <td>病後児保育事業</td> <td>7,041,000円</td> <td>(利用者数</td> <td>64人)</td> </tr> <tr> <td>地域子育て支援拠点事業</td> <td>7,445,000円</td> <td>(利用者数</td> <td>4,675人)</td> </tr> <tr> <td>子育てサポート事業</td> <td>573,000円</td> <td>(利用者数</td> <td>896人)</td> </tr> </table>								子育て利用者支援事業	7,310,000円	(相談件数	713件)	子育て緊急サポートセンター事業	7,851,000円	(支援人数	896人)	病後児保育事業	7,041,000円	(利用者数	64人)	地域子育て支援拠点事業	7,445,000円	(利用者数	4,675人)	子育てサポート事業	573,000円	(利用者数	896人)
子育て利用者支援事業	7,310,000円	(相談件数	713件)																									
子育て緊急サポートセンター事業	7,851,000円	(支援人数	896人)																									
病後児保育事業	7,041,000円	(利用者数	64人)																									
地域子育て支援拠点事業	7,445,000円	(利用者数	4,675人)																									
子育てサポート事業	573,000円	(利用者数	896人)																									
成果等	子育て利用者支援事業、子育て緊急サポートセンター事業、病後児保育事業等を実施し、子育て中の保護者が抱える不安を取り除き、安心して子育てができる環境づくりに寄与することができた。																											

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課																
事業名	保育所等整備事業補助金		予算現額 (円)	21,091,000	決算額 (円)	21,091,000	執行率 (%)	100.0															
目的	子どもを安心して育てることができる環境を整備するため、認定こども園の整備に対し補助を行ったもの。																						
事業内容及び実績	<p>施設名 昭和幼稚園・なかよし保育園 整備区分 大規模修繕</p> <p style="text-align: right;">(単位 円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th rowspan="2">市補助金</th> <th colspan="3">補助金の内訳</th> <th rowspan="2">事業主</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">28,600,000</td> <td style="text-align: center;">21,091,000</td> <td style="text-align: center;">3,093,000</td> <td style="text-align: center;">10,967,000</td> <td style="text-align: center;">7,031,000</td> <td style="text-align: center;">7,509,000</td> </tr> </tbody> </table>								総事業費	市補助金	補助金の内訳			事業主	国	県	市	28,600,000	21,091,000	3,093,000	10,967,000	7,031,000	7,509,000
総事業費	市補助金	補助金の内訳			事業主																		
		国	県	市																			
28,600,000	21,091,000	3,093,000	10,967,000	7,031,000	7,509,000																		
成果等	老朽化等に伴う大規模修繕に係る整備費用の一部を補助することで、子どもを安心して育てることができる環境整備及び施設の長寿命化に寄与することができた。																						

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	子どもの医療費助成費		予算現額 (円)	356,484,668	決算額 (円)	354,001,074	執行率 (%)	99.3
目的	0歳から中学3年生までの子どもに係る医療費において、医療機関に受診しやすい環境をつくることにより、疾病の早期発見、早期治療を促進し、疾病の重篤化を防いだもの。							
事業内容及び実績	<p>対象者 0歳から中学3年生までの子ども</p> <p>助成の範囲 入院1診療明細あたり上限1,000円を控除した額 0歳から就学前まで薬局費は全額助成 入院外1診療明細あたり上限500円×2回受診までの負担額を控除した額</p> <p>現物給付 194,338件 332,320,067円 (入院 1,037件 42,831,307円、通院 193,301件 289,488,760円)</p> <p>償還払い 1,659件 8,825,584円 (入院 70件 3,085,103円、通院 1,533件 4,435,271円、 未熟児 56件 1,305,210円、児童の心臓病医療費助成 0件 0円)</p> <p>審査支払手数料 12,855,423円</p>							
成果等	子どもに係る医療費の一部を助成することにより、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることができた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	放課後児童健全育成事業等対策費		予算現額(円)	530,334,300	決算額(円)	527,407,939	執行率(%)	99.4
目的	<p>保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全育成を図るとともに、保護者への子育て支援を行ったもの。</p> <p>令和5年度から長松地区に民設民営の放課後児童クラブが設置されることに伴い、設置に必要な環境整備費や備品購入費に対し補助を行ったもの。</p>							
事業内容及び実績	○公設民営		524,275,939円					
	事業委託先	社会福祉法人唐津市社会福祉協議会						
	実施校区	29校区(52クラブ)						
	開所日	月曜日から土曜日まで(国民の祝日、お盆、年末年始を除く)						
	開所時間	学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで						
		学校の授業がない日 午前7時30分から午後7時まで						
	入所要件	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童						
	保護者負担金							
			保護者負担金		8月以外(月額)		8月(月額)	
			R3年度以前		3,000円		3,000円	
		R4年度		4,000円		5,000円		
		令和4年度放課後児童クラブ登録児童数 1,858人(年間平均)						
○民設民営		3,132,000円						
		放課後子ども環境整備事業(放課後児童クラブ設置促進事業)						
補助対象者		一般社団法人 キラキラヒカル						
対象経費		施設改修費、備品購入費				(単位 円)		
		総事業費		市補助金		補助金の内訳		事業主
						国		県
						市		
		3,240,082		3,132,000		1,044,000		1,044,000
						1,044,000		108,082
成果等	<p>児童の健全育成を図り、保護者への子育て支援を行うことができた。</p> <p>保護者負担金の改定を行い、支援員等の処遇改善に寄与することができた。</p>							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課																		
事業名	離島保育所運営事業補助金		予算現額(円)	23,768,000	決算額(円)	19,306,011	執行率(%)	81.2																	
目的	離島における保育事業の円滑化及び適正化を図るため、運営費の一部を補助したものの。																								
事業内容及び実績	対象施設		聖母保育園（馬渡島）	聖母保育園運営事業	7,768,812円																				
			小川島保育園（小川島）	小川島保育園運営事業	11,537,199円																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>4歳児以上</th> <th>3歳児</th> <th>1～2歳児</th> <th>0歳児</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聖母保育園</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>小川島保育園</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>						施設名	4歳児以上	3歳児	1～2歳児	0歳児	計	聖母保育園	1人	2人	0人	0人	3人	小川島保育園	1人	0人	0人	0人
施設名	4歳児以上	3歳児	1～2歳児	0歳児	計																				
聖母保育園	1人	2人	0人	0人	3人																				
小川島保育園	1人	0人	0人	0人	1人																				
成果等	地域型保育給付費以外に市から運営に係る補助を行うことにより、離島の保育事業を維持することができた。																								

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	妊娠・出産包括支援事業費		予算現額(円)	11,280,000	決算額(円)	11,168,302	執行率(%)	99.0
目的	妊娠期から幼児期において切れ目ない子育て支援を行い、安心して産み育てることのできる環境づくりの構築を図ったもの。							
事業内容及び実績			唐津市保健センターに母子保健コーディネーター（保健師、助産師）を配置し、妊娠届け出時に、全妊婦の面談を行い問題点を把握し、支援台帳、支援計画の作成を行い適切な支援機関につなげ、さらに支援計画の評価、見直しを行った。					
			妊娠届け出時面談		715人			
			その内、支援計画策定数		75人			
			病院からの情報提供		98人			
			その内、支援計画策定数		21人			
			妊産婦乳幼児等健康相談		延べ訪問人数	8,524人		
		訪問指導		延べ訪問人数	2,094人			
成果等	母子健康手帳発行時に、全妊婦の面談を行うことにより、妊婦の抱える問題を把握でき、早期の介入ができています。妊婦の抱える問題が複雑化し、支援の困難な事例が増加しているため、関係機関との連携を密に行い、切れ目のない支援を行った。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	保育所等防犯対策強化整備事業補助金		予算現額 (円)	1,785,000	決算額 (円)	1,785,000	執行率 (%)	100.0
目的	保育所等の利用者等の安全確保を図るため、施設の防犯対策の整備に対し補助を行ったもの。							
事業内容及び実績	防犯カメラ等の整備                      くりのみ保育園、大島保育園 フェンス等の新設及び取替              リョーユー幼稚園 工事費 下限額300千円、上限額1,800千円（フェンス等の外構整備は上限額なし） <p style="text-align: right;">(単位 円)</p>							
	施設名		総事業費	市補助金	補助金の内訳		事業主	
					国	市		
	くりのみ保育園		770,000	577,000	385,000	192,000	193,000	
	大島保育園		764,500	573,000	382,000	191,000	191,500	
リョーユー幼稚園		847,000	635,000	423,000	212,000	212,000		
成果等	フェンス等の外構整備や防犯カメラ等の設置に係る費用の一部を補助することで、保育所の利用者等の安全性向上につなげた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	保育士応援事業費		予算現額 (円)	24,544,684	決算額 (円)	20,405,000	執行率 (%)	83.1
目的	保育士不足が原因の待機児童解消を図るため、業務負担及び費用負担の軽減並びに復職の不安解消などにより保育士等を支援し、保育人材のさらなる確保を目指したもの。							
事業内容及び実績	保育士宿舍借上げ支援		405,000円 (1人)					
	保育支援者雇用支援		5,496,000円 (10人)					
	保育補助者雇用支援		11,304,000円 (8人)					
	保育士就職準備金給付支援		3,200,000円 (17人)					
	潜在保育士現場復帰支援		0円 (0人)					
成果等	待機児童の解消に寄与した。(令和4年度待機児童数(国定義) 0人) 保育士の負担軽減、新規保育人材の確保を図ることができた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	保育環境改善等事業費		予算現額 (円)	24,342,000	決算額 (円)	23,718,582	執行率 (%)	97.4
目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から施設等が購入するマスク、消毒液等の経費に対し補助を行ったもの。また、公立保育所等において使用するマスク等の購入を行ったもの。							
事業内容及び実績	私立保育所等（49施設） 23,162,000円（補助金） 公立保育所（3施設） 256,582円（消耗品費） 子育て支援情報センター 300,000円（委託料）							
成果等	事業の実施により、保育施設での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することができた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	からつの赤ちゃん応援事業費		予算現額 (円)	5,971,000	決算額 (円)	5,970,854	執行率 (%)	100.0
目的	これからの未来を担う子どもたちの誕生のお祝いと健やかな成長を応援するため、「からつつ子応援ギフト」を贈り、本市の子育て支援事業に関する周知を図ったもの。							
事業内容及び実績	対象者 令和4年4月1日以降に生まれ、出生届または転入届により本市の住民基本台帳に登録された乳児及び保護者 実施内容 唐津市子育て支援センターまたは2か月児相談会場での「からつつ子応援ギフト」の配付及び配付時における保護者との面談 配付数 763個 事業費内訳 委託料 5,610,854円 こどもノート購入費 330,000円 誕生お祝いカード作成費 30,000円							
成果等	「からつつ子応援ギフト」の配付を契機に、保護者へ子育て支援事業について情報提供を行い、適切な支援につなぐとともに、支援事業を気軽に活用できるよう「相談しやすい、利用しやすい」環境づくりに寄与することができた。							



款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	子どもの新たな居場所モデル事業費		予算現額 (円)	12,000,000	決算額 (円)	11,998,800	執行率 (%)	100.0
目的	<p>貧困の連鎖の防止に向け、ひとり親家庭の子どもを対象に教育や体験活動を提供する「学習と体験の居場所」のモデル事業を実施したものの。</p>							
事業内容及び実績	<p>対象者 ひとり親世帯の小学生            実施内容 生活習慣の習得や学習支援、体験学習の実施、生活・学習両面における相談支援など            実施場所 NPO法人 博心館            実施回数 年間289日（週6日程度）            利用者数 延べ4,289人（登録児童数29人）</p>							
成果等	<p>学習支援だけにとどまらず、体験活動や相談支援等の場を提供し、家庭環境に左右されることなく子どもたちが健やかに成長できる環境づくりに寄与することができた。</p>							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課																								
事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 同 事務費		予算現額 (円)	209,283,667 6,493,000	決算額 (円)	194,000,000 5,224,328	執行率 (%)	92.7 80.5																							
目的	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯に対し、負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給したものの。</p>																														
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費</td> <td>子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>報酬</td> <td>690,768円</td> </tr> <tr> <td>児童1人につき5万円 (児童扶養手当受給世帯等、 住民税非課税の子育て世帯等)</td> <td>職員手当等</td> <td>1,656,748円</td> </tr> <tr> <td>申請期間</td> <td>共済費</td> <td>46,584円</td> </tr> <tr> <td>令和4年6月23日から令和5年2月28日まで</td> <td>旅費</td> <td>12,600円</td> </tr> <tr> <td>支給決定件数 3,880件</td> <td>需用費</td> <td>236,285円</td> </tr> <tr> <td>支給決定額 194,000,000円</td> <td>役務費</td> <td>436,343円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託料</td> <td>2,145,000円</td> </tr> </table>								子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費	支給額	報酬	690,768円	児童1人につき5万円 (児童扶養手当受給世帯等、 住民税非課税の子育て世帯等)	職員手当等	1,656,748円	申請期間	共済費	46,584円	令和4年6月23日から令和5年2月28日まで	旅費	12,600円	支給決定件数 3,880件	需用費	236,285円	支給決定額 194,000,000円	役務費	436,343円		委託料	2,145,000円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費																														
支給額	報酬	690,768円																													
児童1人につき5万円 (児童扶養手当受給世帯等、 住民税非課税の子育て世帯等)	職員手当等	1,656,748円																													
申請期間	共済費	46,584円																													
令和4年6月23日から令和5年2月28日まで	旅費	12,600円																													
支給決定件数 3,880件	需用費	236,285円																													
支給決定額 194,000,000円	役務費	436,343円																													
	委託料	2,145,000円																													
成果等	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた低所得の子育て世帯の生活を支援することができた。</p>																														

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	子育て世帯支援給付金給付事業費		予算現額 (円)	808,457,333	決算額 (円)	808,390,212	執行率 (%)	100.0
目的	新型コロナウイルス感染症の長期化及び物価・原油価格高騰の影響を受けた子育て世帯を支援するため、中学3年生以下の児童を養育する子育て世帯に対し、唐津市独自の給付金を支給したものの。							
事業内容及び実績	子育て世帯支援給付金給付事業費				事務費内訳			
	支給額				報酬	980,640円		
	中学3年生以下の児童1人あたり5万円				職員手当等	276,805円		
	申請期間				共済費	110,132円		
	令和5年1月23日から令和5年3月31日まで				旅費	22,700円		
	支給決定件数				需用費	179,529円		
	16,074件				役務費	1,556,206円		
	支給決定額				委託料	1,564,200円		
	803,700,000円							
成果等	新型コロナウイルス感染症の長期化及び物価・原油価格高騰の影響を受けた、子育て世帯の生活を支援することができた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	こども家庭課	
事業名	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費(繰越明許分)		予算現額 (円)	22,100,000	決算額 (円)	22,100,000	執行率 (%)	100.0
目的	新型コロナウイルス感染症の長期化の影響を受けた子育て世帯を支援するため、18歳以下の児童を養育する世帯に臨時給付金を支給したものの。令和4年3月出生児童等を繰越分として対応したものの。							
事業内容及び実績	事業内容(繰越明許分)							
	支給額							
	18歳以下の児童1人あたり10万円							
	支給対象							
	令和4年3月に出生した児童等について、繰越分として令和4年4月に支給							
	支給決定件数							
	115件							
	支給決定額							
	11,500,000円							
	国庫返還額							
	10,600,000円							
成果等	新型コロナウイルス感染症の長期化の影響を受けた子育て世帯に対し生活支援を行い、出生月に関わらず、期間中全ての児童について給付をすることができた。 なお、本事業は令和3年度からの繰越事業であり、令和3年度及び令和4年度の事業全体における給付金支給件数は、19,621件となった。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	出産・子育て応援事業費		予算現額 (円)	102,199,000	決算額 (円)	93,418,724	執行率 (%)	91.4
目的	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業開始日 令和5年2月1日</p> <p>事業内容 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援と、出産育児関連用品の購入費用などの負担軽減を図る経済的支援（合計10万円）を一体的に行った。 (遡及対象 令和4年4月～令和5年1月)</p> <p>出産応援給付金 1,032人 子育て応援給付金 661人 ※令和5年2月～3月生は2か月児相談後に対象 (妊娠届出 令和5年2月～3月届出) 出産応援給付金 104人</p>							
成果等	遡及支給の対象者である育児中の母親に対しては、アンケートを郵送し、問題の把握を行い、必要な場合は面談や電話による相談を行った。既に継続支援を行っている対象者も含め、育児をしていく中での問題を把握し、支援につなぐことができた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	担当所属	こども家庭課	
事業名	児童手当		予算現額 (円)	1,970,985,640	決算額 (円)	1,932,620,000	執行率 (%)	98.1
目的	中学校修了前までの児童を養育する家庭等に児童手当を支給することにより、子育てに係る経費の負担を軽減し、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として実施したもの。							
事業内容及び実績	<p>支給月額 3歳未満 15,000円 3歳以上小学校卒業前 10,000円（第3子以降は15,000円） 中学生 10,000円 特例給付（所得制限額以上） 5,000円 ※所得上限限度額以上は支給なし（R4.10月以降）</p> <p>支払月 6月、10月、2月</p> <p>支給実績 一般給付 1,913,935,000円 受給者数 延べ167,348人（施設入所者708人） 特例給付 18,685,000円 受給者数 延べ 3,745人</p>							
成果等	児童手当を支給することにより子育て世帯への経済的負担の軽減及び家計の安定につながり、児童の健やかな成長に寄与した。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	担当所属	こども家庭課	
事業名	教育・保育施設給付費		予算現額 (円)	5,209,923,000	決算額 (円)	5,065,990,961	執行率 (%)	97.2
目的	市内に居住する児童が保育所等を利用した際に、保育所等に対して国が定める公定価格に基づき給付したものの。							
事業内容及び実績	施設数、児童数及び給付額				※児童数は年間延べ人数			
	施設の類型	施設数		児童数	給付額			
	保育所	47 施設		32,279 人	3,200,590,790 円			
	認定こども園	18 施設		19,765 人	1,604,779,291 円			
	幼稚園	1 施設		1,700 人	93,906,820 円			
	地域型保育事業	6 施設		471 人	84,787,540 円			
	合計		72 施設	54,215 人	4,984,064,441 円			
	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金						81,926,520 円	
	保育士・幼稚園教諭等の処遇改善を図るため、賃金を3%（9,000円）程度改善した保育所等に対し補助したものの。							
成果等	保育所等の運営費用（人件費、管理費及び事業費等）として給付したことにより、児童福祉の向上を図ることができた。 また、市独自の保育料軽減策（国基準より低い料金設定、多子世帯の軽減範囲の拡充）を実施し、子育て世帯の負担を軽減できた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	担当所属	こども家庭課	
事業名	子育てのための施設等利用給付事業費		予算現額 (円)	9,565,000	決算額 (円)	7,368,960	執行率 (%)	77.0
目的	令和元年10月から開始された「幼児教育・保育無償化」に伴い、申請に基づき、保育の必要性があると認定を受けた子どもに対し、幼稚園の預かり保育などのサービスを利用した際にかかる利用料を無料（限度額あり）にすることで、保護者の経済的負担軽減を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容 保育の必要性が認められる世帯の就学前児童が次の保育サービスを利用した際の料金を給付した。							
	給付認定子ども 193人（令和5年3月31日）							
	給付額内訳							
	認可外保育施設	1,151,700円		病児保育事業	16,500円			
預かり保育事業	6,079,660円		子育て援助活動支援事業	59,500円				
一時預かり事業	61,600円							
成果等	各種保育サービス利用料の無償化により、子どもの健やかな成長を支援し、保護者の経済的負担の軽減に寄与することができた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	担当所属	こども家庭課													
事業名	特別保育事業費		予算現額 (円)	211,256,000	決算額 (円)	202,885,655	執行率 (%)	96.0												
目的	少子化、核家族化の進行に対応し、就労と育児の両立支援を総合的に推進するため、地域の多様なニーズを踏まえ、特別保育事業を実施し、児童福祉の増進を図ったもの。																			
事業内容及び実績	<p>実施施設数及び実績額</p> <table border="0"> <tr> <td>延長保育事業（唐房保育園他29施設）</td> <td>19,904,460円</td> </tr> <tr> <td>一時預かり事業（町田保育園他11施設）</td> <td>27,611,956円</td> </tr> <tr> <td>地域子育て支援拠点事業（町田保育園他16施設）</td> <td>97,467,407円</td> </tr> <tr> <td>病児保育事業（北波多第二保育園他2施設）</td> <td>13,656,820円</td> </tr> <tr> <td>特別支援保育事業（和多田保育園他21施設）</td> <td>40,497,196円</td> </tr> <tr> <td>医療的ケア児保育支援事業（大島保育園）</td> <td>3,747,816円</td> </tr> </table>								延長保育事業（唐房保育園他29施設）	19,904,460円	一時預かり事業（町田保育園他11施設）	27,611,956円	地域子育て支援拠点事業（町田保育園他16施設）	97,467,407円	病児保育事業（北波多第二保育園他2施設）	13,656,820円	特別支援保育事業（和多田保育園他21施設）	40,497,196円	医療的ケア児保育支援事業（大島保育園）	3,747,816円
延長保育事業（唐房保育園他29施設）	19,904,460円																			
一時預かり事業（町田保育園他11施設）	27,611,956円																			
地域子育て支援拠点事業（町田保育園他16施設）	97,467,407円																			
病児保育事業（北波多第二保育園他2施設）	13,656,820円																			
特別支援保育事業（和多田保育園他21施設）	40,497,196円																			
医療的ケア児保育支援事業（大島保育園）	3,747,816円																			
成果等	延長保育、一時預かり、病児保育等を実施する施設を支援し、多様な保育ニーズに対応することができ、児童福祉を増進することができた。																			

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費	担当所属	こども家庭課	
事業名	保育所等物価高騰対策緊急支援金		予算現額 (円)	26,208,000	決算額 (円)	24,951,000	執行率 (%)	95.2
目的	物価高騰の影響を受ける保育所等に対して支援金等を支給し、施設運営の維持を図り、利用者が安心してサービスを受けることができる環境を確保したもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容</p> <p>施設の規模（利用者数）に応じ、市内の保育所等に補助金等を交付した。</p> <p>保育所等給食費支援事業補助金（給食原材料費に対する補助金） 11,391,000円（28施設）</p> <p>保育所等物価高騰対策緊急支援金（光熱水費等に対する支援金） 13,560,000円（47施設）</p>							
成果等	物価高騰による保育所等の負担を軽減することができた。 保護者の負担を増やすことなく、給食の量や質を維持することができた。							

款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費	担当所属	こども家庭課															
事業名	久里放課後児童クラブ 施設整備費		予算現額 (円)	193,570,675	決算額 (円)	190,245,663	執行率 (%)	98.3														
目的	校舎内に余裕教室がなく、周辺に利用できる公的施設もないため、久里小学校グラウンド内に久里放課後児童クラブ専用施設を整備したものの。																					
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>建築工事</td> <td>146,762,000円</td> </tr> <tr> <td>電気設備工事</td> <td>15,180,000円</td> </tr> <tr> <td>機械設備工事</td> <td>26,400,000円</td> </tr> <tr> <td>その他工事</td> <td>596,200円</td> </tr> <tr> <td>委託料（消火器設置業務ほか）</td> <td>193,600円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費（整理棚、ロッカーほか）</td> <td>519,300円</td> </tr> <tr> <td>その他事務費</td> <td>594,563円</td> </tr> </table>								建築工事	146,762,000円	電気設備工事	15,180,000円	機械設備工事	26,400,000円	その他工事	596,200円	委託料（消火器設置業務ほか）	193,600円	備品購入費（整理棚、ロッカーほか）	519,300円	その他事務費	594,563円
建築工事	146,762,000円																					
電気設備工事	15,180,000円																					
機械設備工事	26,400,000円																					
その他工事	596,200円																					
委託料（消火器設置業務ほか）	193,600円																					
備品購入費（整理棚、ロッカーほか）	519,300円																					
その他事務費	594,563円																					
成果等	久里放課後児童クラブ専用施設の整備を行い、令和5年4月1日に供用を開始した。																					

款	民生費	項	生活保護費	目	扶助費	担当所属	生活保護課																																																					
事業名	扶助費		予算現額 (円)	2,538,331,000	決算額 (円)	2,238,776,991	執行率 (%)	88.2																																																				
目的	生活保護法に基づき、生活に困っているすべての人に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を図ったもの。																																																											
事業内容及び実績	<p style="text-align: center;">扶助費の支出状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区 分</th> <th style="width: 25%;">世 帯</th> <th style="width: 25%;">人 員</th> <th style="width: 25%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活扶助費</td> <td>12,789 世帯</td> <td>14,658 人</td> <td>535,552,136 円</td> </tr> <tr> <td>住宅扶助費</td> <td>10,601 世帯</td> <td>11,977 人</td> <td>279,701,905 円</td> </tr> <tr> <td>教育扶助費</td> <td>217 世帯</td> <td>318 人</td> <td>2,894,989 円</td> </tr> <tr> <td>介護扶助費</td> <td>3,706 世帯</td> <td>3,791 人</td> <td>74,260,510 円</td> </tr> <tr> <td>医療扶助費</td> <td>13,152 世帯</td> <td>14,695 人</td> <td>1,298,043,736 円</td> </tr> <tr> <td>出産扶助費</td> <td>0 世帯</td> <td>0 人</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>生業扶助費</td> <td>147 世帯</td> <td>151 人</td> <td>2,406,523 円</td> </tr> <tr> <td>葬祭扶助費</td> <td>15 世帯</td> <td>15 人</td> <td>2,267,023 円</td> </tr> <tr> <td>施設事務費</td> <td>259 世帯</td> <td>259 人</td> <td>43,174,681 円</td> </tr> <tr> <td>就労自立給付金</td> <td>3 世帯</td> <td>3 人</td> <td>175,488 円</td> </tr> <tr> <td>進学準備給付金</td> <td>1 世帯</td> <td>1 人</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>40,890 世帯</td> <td>45,868 人</td> <td>2,238,776,991 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（世帯、人員は年間延べ数）</p>								区 分	世 帯	人 員	金 額	生活扶助費	12,789 世帯	14,658 人	535,552,136 円	住宅扶助費	10,601 世帯	11,977 人	279,701,905 円	教育扶助費	217 世帯	318 人	2,894,989 円	介護扶助費	3,706 世帯	3,791 人	74,260,510 円	医療扶助費	13,152 世帯	14,695 人	1,298,043,736 円	出産扶助費	0 世帯	0 人	0 円	生業扶助費	147 世帯	151 人	2,406,523 円	葬祭扶助費	15 世帯	15 人	2,267,023 円	施設事務費	259 世帯	259 人	43,174,681 円	就労自立給付金	3 世帯	3 人	175,488 円	進学準備給付金	1 世帯	1 人	300,000 円	計	40,890 世帯	45,868 人	2,238,776,991 円
区 分	世 帯	人 員	金 額																																																									
生活扶助費	12,789 世帯	14,658 人	535,552,136 円																																																									
住宅扶助費	10,601 世帯	11,977 人	279,701,905 円																																																									
教育扶助費	217 世帯	318 人	2,894,989 円																																																									
介護扶助費	3,706 世帯	3,791 人	74,260,510 円																																																									
医療扶助費	13,152 世帯	14,695 人	1,298,043,736 円																																																									
出産扶助費	0 世帯	0 人	0 円																																																									
生業扶助費	147 世帯	151 人	2,406,523 円																																																									
葬祭扶助費	15 世帯	15 人	2,267,023 円																																																									
施設事務費	259 世帯	259 人	43,174,681 円																																																									
就労自立給付金	3 世帯	3 人	175,488 円																																																									
進学準備給付金	1 世帯	1 人	300,000 円																																																									
計	40,890 世帯	45,868 人	2,238,776,991 円																																																									
成果等	生活保護法に基づき、適正に保護を実施し、自立の助長を図った。																																																											

## 4 衛 生 費

### (1) 保健衛生費

市民の健康の保持増進のため、保健予防対策事業として、健康づくり事業、母子保健事業、健康増進事業、健康診査、各種がん検診事業、精神保健事業等を実施した。さらに、健康教育、健康相談、要指導者等の訪問指導を積極的に行い、医療費適正化に向けて重症化予防に努めた。また、がん患者の社会生活への支援や経済的負担の軽減を図るため、医療用ウィッグと乳房補正具を購入した者に対し、助成金を交付した。

妊婦に対しては、妊婦健康診査受診票の交付により健診を実施し、妊婦の健康管理を図った。また、不妊の悩みを抱えながら不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図り、治療を受けやすくするため、不妊治療支援事業を実施した。

乳幼児に対しては、医療機関での個別健診や集団健診、相談事業を行い、発達支援、子育て支援に努めた。育児支援が特に必要な家庭に対して、継続的な支援を行う養育支援訪問事業を実施した。

う蝕予防のための強化策として、幼児に対するフッ素塗布やフッ素洗口を行った。

また、妊婦に対して、妊婦歯科健診票を交付し、妊娠期の歯科保健の向上を図った。

予防接種費では、県内広域での接種体制により、市民の利便性を図り、疾病の発症予防及びまん延防止のために予防接種事業の推進を図った。子宮頸がんワクチンについては、積極的勧奨差し控えの期間に接種の機会を逃したキャッチアップ接種対象者へも個人通知を行い、接種についての周知を図った。また令和4年度から、生後6か月から中学3年生までの子どもを対象に、インフルエンザワクチン接種費用の一部を助成し、ワクチン接種を受けやすくすることで、重症合併症予防に役立てた。

感染症対策事業費では、児童・生徒を中心に新型コロナ感染症が広がり、学級閉鎖や家庭内感染などの事例が増加したことから、学校や幼稚園保育施設での無料のPCR検査を実施した。また、市報やホームページ、行政放送、LINEで感染予防の普及啓発に努めた。

医療対策については、救急医療センターの指定管理者による管理運営、休日等における歯科救急医療を提供するための唐津休日歯科診療所の管理運営、へき地診療所の管理運営に努め、市民の安心安全に寄与した。

救急医療センターにおいては、日曜日、祝日及び年末年始に、内科、外科の診療体制をとり、急病患者の医療対策に努めた。

地域医療対策として、離島診療所の管理運営を行い、離島診療通院助成事業では離島住民の通院に要する船賃を助成し、疾病の早期発見及び早期治療の促進並びに経済的負担の軽減を図った。また、離島口腔保健推進事業として、離島住民の口腔衛生を確保し健康の向上を図るため、歯科検診及び応急処置等を行った。

また、市民の健康的な生活の習慣づけによる健康寿命の延伸を図るため、健康に関するイベントへの参加や特定健診等の受診に対しポイントを付与する健康マイレージ事業「からつウェルポ」を実施した。

新型コロナウイルスワクチン接種事業費では、生後6か月以上の人から接種を行うこととなった接種体制の構築に当たり、対象市民に接種券を発行し、医療機関のほか市でも接種会場を設置して接種機会の確保を図ったほか、ワクチンに関する相談に対応するコールセンターの運用などを行い、接種率の向上に努めた。

環境衛生対策として、快適な環境づくりのため啓発活動による環境衛生思想の普及に努めるとともに、環境保全の推進を図った。また、犬による人畜等への被害防止のため、狂犬病予防の集合注射を実施するとともに、飼い犬の苦情処理、指導啓発を行ったほか、飼い主のいない猫への不妊去勢手術に対し補助を実施することにより、繁殖を抑制し、糞尿や鳴き声による影響を軽減させ、地域の良好な生活環境に寄与した。

空き家対策として、市民から情報提供のあった空家等について、所有者等を調査し、空家等の適正管理を促すとともに、空家等の利活用を推進することで、市民の生活環境の保全及び地域の振興に寄与した。

火葬場については、大平山斎苑をはじめ、浜玉斎場さくら苑、相知厳木斎場、肥前斎場、呼子町霊葬場の円滑な運営に努めた。また、墓地公園の適正な管理運営を行った。

公害対策としては、自動車騒音の常時監視、河川及び事業所の水質検査、騒音・振動測定、苦情処理等に努めるとともに、平成30年度に策定した第2次唐津市環境基本計画について、関連する計画や法令の改正、また、社会情勢などが変化したことに対応するため、見直しを行った。

## (2) 清掃費

し尿対策としては、し尿等を衛生的に処理するため、唐津中部衛生処理センター、唐津北部衛生処理センター、し尿中継槽等の適正な管理運営を行った。

廃棄物対策として、循環型社会の実現を目指し、まちを美しくする運動により資源物回収の推進に努め、ごみに対する意識の高揚と環境美化保全等に努めたほか、ごみ減量化対策の一環として、コンポスト機器及び家庭用電動生ごみ処理機購入費に対する補助事業を実施した。

廃棄物等の不法投棄防止活動の推進については、不法投棄防止活動協力団体及び道路環境パトロール室と連携を取りながらパトロールを実施し、快適な環境づくりに努めたほか、県循環型社会推進課及び県内9市との情報交換に努め、清掃行政の向上を図った。また、ごみ集積所用容器購入費等補助事業を実施することにより、ごみ収集の効率性を高め、廃棄物の適正処理及び鳥獣等によるごみ散乱防止など環境美化に努めた。

指定容器（ごみ袋）については、排出量の低減及び分別の推進を図るとともに、市民への配布及び手数料の収納事務を指定容器取扱店に委託し、市民の利便性の向上を図った。

容器包装リサイクル法により策定した唐津市分別収集計画に基づき、ペットボトル、缶、びん類等の分別収集を実施したほか、民間の業者及び清掃センターで中間処理を行い、再商品化に努めた。

新ごみ処理施設の整備については、基本方針等を設定するため、施設整備の基本構想を策定するとともに他施設の情報収集を行うため、先進地視察を実施した。

清掃センターにおいては、安全な運転管理と一般廃棄物の適正処理に努めるとともに、唐津市清掃センター内の最終処分場が飽和状態になったこと及び最終処分場の適正化対策のため、焼却固化灰を他の最終処分場へ搬出するなど、最終処分場施設の機能保全及び適正化に努めた。

唐津市清掃センター最終処分場の適正化を行うため、水質モニタリングによる周辺環境への影響等の把握を行ったほか、令和3年度に定めた最終処分場適正化の基本方針に基づき、最終処分場キャッピング工事実施設計を行った。また、最終処分場キャッピングに伴い、最終処分場に埋立て及び仮置き出来なくなる焼却灰等のためのストックヤード築造実施設計を行った。築造については、基礎工法の再検討及び入札不調の結果を踏まえた設計金額等の見直しを行ったことにより、年度内の完成が困難になり、翌年度へ繰り越しすることとなった。

「もったいないセンター」においては、小学生の環境教育の場としての活用及び不用品の有効活用などリサイクル意識の普及促進に寄与するため、自転車や家具等を再生し、市民に無償で譲渡した。



款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	母子保健事業費		予算現額 (円)	116,369,306	決算額 (円)	98,552,812	執行率 (%)	84.7
目的	母子の健康保持及び増進を図るために、妊婦、乳幼児健康診査、各種保健指導を実施するとともに子育て支援を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>内容 妊婦、乳幼児一般健康診査、乳幼児相談、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、赤ちゃん訪問事業、養育支援訪問事業、母子保健推進事業、多胎児の会</p> <p>実績 妊婦乳幼児等健康相談 延べ相談人数 6,221人</p> <p>訪問指導 延べ訪問人数 2,094人</p> <p>養育支援訪問 延べ訪問人数 51人</p> <p>1歳6か月児健診 受診人数 804人 (受診率 97.9%)</p> <p>3歳児健康診査 受診人数 861人 (受診率 94.5%)</p> <p>妊婦一般健康診査 延べ受診人数 9,586人</p> <p>乳児一般健康診査 延べ受診人数 1,381人</p>							
成果等	各保健センターや公民館で、妊産婦乳幼児等健康相談や訪問指導、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施することにより、児の成長発達の支援とともに、保護者の育児の悩み等への対応を行い、精神的支援及び子育て支援につながった。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	健康増進事業費		予算現額 (円)	12,020,000	決算額 (円)	11,378,424	執行率 (%)	94.7
目的	健康の保持及び増進を図るために、疾病予防や生活習慣病予防対策として健康診査、検診、健康教育、健康相談、訪問指導を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>内容 健康診査 (生活保護受給者、30歳代、婦人18～29歳女性)</p> <p>肝炎ウイルス検診 (40歳以上で、これまでに受けたことがない人)</p> <p>骨粗しょう症検診 (20歳から70歳の5歳きざみの女性)</p> <p>健康教育、健康相談、訪問指導 (40～64歳)</p> <p>実績 健康診査 生活保護受給者 25人 (集団 22人、離島 3人)</p> <p>30歳代 333人 (集団 322人、離島 11人)</p> <p>婦人 46人 (集団 46人)</p> <p>肝炎ウイルス検診 523人 骨粗しょう症検診 434人</p> <p>健康教育 91回 延339人 健康相談 159回 延978人 訪問指導 延265人</p>							
成果等	各保健センターや公民館で、健康診査、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診を実施し、保健指導が必要な方を対象に訪問指導や結果説明会を開催した。また、個別に保健指導や健康相談を実施し、疾病予防及び生活習慣病予防や重症化予防を図った。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	がん検診事業費		予算現額 (円)	122,940,000	決算額 (円)	121,774,074	執行率 (%)	99.1
目的	がんを早期に発見し、早期に適切な治療を行うことにより、がんによる死亡者を減らすとともに、検診の個別案内通知、未受診者への再勧奨を行い、がん検診受診者数の増加に努めたもの。							
事業内容及び実績	<p>各種がん検診受診者数、受診率</p> <p>胃がん検診 受診者数 3,240人 (13.9%)      前立腺がん検診 受診者数 2,442人</p> <p>肺がん検診 受診者数 6,071人 (21.9%)      ピロリ菌検査 受診者数 226人</p> <p>子宮がん検診 受診者数 7,498人 (51.6%)</p> <p>大腸がん検診 受診者数 6,407人 (22.0%)</p> <p>乳がん検診 受診者数 3,161人 (52.9%)</p> <p>新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 5,493,983円</p> <p>※受診率は、国が対象年齢とした年齢で算出（胃がん(50～69歳)、大腸・肺・乳がん(40～69歳)、子宮がん(20～69歳)）。また乳がんは、2年に1回の受診者としてとらえる。</p> <p>各検診の推計対象者数は、(市人口) - (就業者数) + (農林水産業従事者数) とする。</p>							
成果等	<p>各保健センターや公民館において、集団検診を全71回、特定健診との同時実施や総合検診、女性のみの検診日を設けて実施した。また、検診対象者に個別に案内通知を郵送したり、未受診者に再勧奨を行ったこと、乳がん、子宮がん検診の特定の年齢対象者にクーポン券を送付したことで、がん検診の受診者数は、昨年度より各がん検診で200人程度、総数で1,113人増加した。</p> <p>がんの要精密未受診者に対しては、受診勧奨を行ったことで医療機関への受診につながった。</p>							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課											
事業名	がん患者医療用補正具等購入費助成事業費		予算現額 (円)	1,650,000	決算額 (円)	1,164,516	執行率 (%)	70.6										
目的	がん患者の社会生活への支援や経済的負担の軽減を図るため、がん治療に伴い医療用補正具（医療用ウィッグと乳房補正具）を購入した者に対し、助成金を交付したもの。																	
事業内容及び実績	<p>助成対象者</p> <p>がんの治療を受けている人または過去に受けていた人</p> <p>助成金額</p> <p>購入費の1/2の額（上限30,000円）</p> <p>補正具内容と助成件数</p> <table border="1"> <tr> <td>医療用ウィッグ</td> <td>助成件数</td> <td>41件</td> <td>助成金額</td> <td>984,325円</td> </tr> <tr> <td>乳房補正具</td> <td>助成件数</td> <td>10件</td> <td>助成金額</td> <td>180,191円</td> </tr> </table>								医療用ウィッグ	助成件数	41件	助成金額	984,325円	乳房補正具	助成件数	10件	助成金額	180,191円
医療用ウィッグ	助成件数	41件	助成金額	984,325円														
乳房補正具	助成件数	10件	助成金額	180,191円														
成果等	<p>ホームページや保健だより等で周知するとともに、がん患者に対しては、医療機関にチラシの配布を依頼し周知に努めたことで、来所や電話での助成内容に関する問い合わせ等が多く寄せられた。申請者数は51人で、がん治療に伴う医療用補正具購入者の経済的負担の軽減に寄与した。</p>																	

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課																									
事業名	不妊治療支援事業費		予算現額 (円)	7,600,000	決算額 (円)	6,818,659	執行率 (%)	89.7																								
目的	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るため、不妊治療を受ける夫婦に対し、助成金を交付した もの。																															
事業内容及び実績	<p>助成金額は、治療費から佐賀県等の助成額を控除した額で、43歳以上の限度額は初年度が200千円、 次年度以降は100千円。43歳未満の限度額は初年度及び次年度以降は100千円とする。男性不妊治療 には別途100千円を限度に助成する。</p> <p>申請数 68件（うち男性不妊治療0件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助成金額別</th> <th>件数</th> <th>年代別</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20万円</td> <td>9件</td> <td>20歳代</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>10万1円以上20万円未満</td> <td>2件</td> <td>30歳代</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td>10万円</td> <td>35件</td> <td>40歳代</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>5万円以上10万円未満</td> <td>15件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5万円未満</td> <td>7件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								助成金額別	件数	年代別	件数	20万円	9件	20歳代	5件	10万1円以上20万円未満	2件	30歳代	33件	10万円	35件	40歳代	30件	5万円以上10万円未満	15件			5万円未満	7件		
助成金額別	件数	年代別	件数																													
20万円	9件	20歳代	5件																													
10万1円以上20万円未満	2件	30歳代	33件																													
10万円	35件	40歳代	30件																													
5万円以上10万円未満	15件																															
5万円未満	7件																															
成果等	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減に寄与した。 令和4年度から不妊治療が一部保険適用となったため、令和5年度から制度を見直した。																															

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課																			
事業名	歯科保健事業費		予算現額 (円)	5,224,000	決算額 (円)	4,409,531	執行率 (%)	84.4																		
目的	生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの推進を目指し、妊婦歯科健診、成人歯科検診、2歳児歯科教室、 フッ素塗布事業、フッ素洗口事業を行い、歯科保健の向上を図ったもの。																									
事業内容及び実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦歯科健診、成人歯科検診（集団、個別）、2歳児歯科教室、フッ素塗布、フッ素洗口 歯科衛生士研修会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>妊婦歯科健診</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td>成人歯科検診（集団検診）</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>成人歯科検診（個別検診）</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>2歳児歯科教室</td> <td>694人</td> </tr> <tr> <td>フッ素塗布</td> <td>延べ1,576人</td> </tr> <tr> <td>フッ素洗口（保育園・幼稚園）26園</td> <td>679人</td> </tr> <tr> <td>歯科衛生士研修会</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>								内容	実績	妊婦歯科健診、成人歯科検診（集団、個別）、2歳児歯科教室、フッ素塗布、フッ素洗口 歯科衛生士研修会		妊婦歯科健診	251人	成人歯科検診（集団検診）	123人	成人歯科検診（個別検診）	111人	2歳児歯科教室	694人	フッ素塗布	延べ1,576人	フッ素洗口（保育園・幼稚園）26園	679人	歯科衛生士研修会	1回
内容	実績																									
妊婦歯科健診、成人歯科検診（集団、個別）、2歳児歯科教室、フッ素塗布、フッ素洗口 歯科衛生士研修会																										
妊婦歯科健診	251人																									
成人歯科検診（集団検診）	123人																									
成人歯科検診（個別検診）	111人																									
2歳児歯科教室	694人																									
フッ素塗布	延べ1,576人																									
フッ素洗口（保育園・幼稚園）26園	679人																									
歯科衛生士研修会	1回																									
成果等	妊婦歯科健診、成人歯科検診、2歳児歯科教室、フッ素塗布事業、フッ素洗口を実施することにより、 歯質の強化、むし歯予防を図り、口腔衛生の知識や歯科保健指導等により、生涯を通じた歯と 口腔の健康づくりを行う力を育成し、歯科保健の向上に寄与した。																									

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	離島口腔保健推進事業費		予算現額 (円)	5,110,000	決算額 (円)	5,110,000	執行率 (%)	100.0
目的	地域内で歯科診療を受けることができない離島において、歯科検診による住民の歯科疾患の予防等を行うことで、口腔衛生を確保し健康の向上を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>検診業務委託</p> <p>離島7島（神集島、高島、加唐島、松島、馬渡島、小川島及び向島）に、移動歯科診療設備を運び、離島において歯科検診を行った。</p> <p>実施回数 各離島3回、合計21回</p> <p>委託先 一般社団法人 唐津東松浦歯科医師会</p> <p>利用者数 79人</p> <p>委託料 5,110,000円</p>							
成果等	令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により計画どおり事業が取り組めなかったが、令和4年度に関しては計画どおり各離島3回、合計21回取り組み、初期の目的を達成することができた。しかしながら、コロナ禍前と比べ利用者数の減少が顕著に現れており、今後の事業のあり方を含め、利用者の増加に向けて検討する。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	健康マイレージ事業費		予算現額 (円)	5,206,143	決算額 (円)	5,206,143	執行率 (%)	100.0
目的	健康に関するイベントへの参加や特定健診等の受診に対しポイントを付与する「からつウェルポ」を運用し、市民に活用してもらうことにより健康的な生活の習慣づけによる健康寿命の延伸を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容</p> <p>健康マイレージシステム運用管理等業務 5,018,000円</p> <p>健康マイレージポイント交換経費 188,143円</p> <p>実績</p> <p>からつウェルポ登録者数（令和5年3月末現在） 2,123人</p> <p>賞品交換件数 312件</p>							
成果等	がん検診受診者数、商品交換件数ともに前年度より増加しており、からつウェルポ登録者の健康保持に寄与したが、令和4年度の新規登録者数は145人で、前年度を下回った。本事業は令和5年度をもって終了するが、今後は、佐賀県の健康アプリ「SAGATOCO」への移行を市民に促すことにより、引き続き健康的な生活の習慣づけを図る。また、特定健診、がん検診のウェブ予約を始めることにより、受診率向上に努める。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	保健医療課	
事業名	唐津看護専門学校施設改修事業補助金		予算現額 (円)	1,705,000	決算額 (円)	1,705,000	執行率 (%)	100.0
目的	平成2年度に新築移転し開設した唐津看護専門学校の経年劣化に伴う女子トイレ改修工事に対し、工事費の一部を補助することで、快適な教育環境の整備を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容 女子トイレ内装等工事 事業費 5,115,000円 補助率 1/3 (上限1,705,000円) 補助実績 1,705,000円							
成果等	本事業の実施により学生の就学環境の改善に寄与した。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	環境課	
事業名	水道事業会計繰出金 (価格高騰対策分)		予算現額 (円)	163,076,000	決算額 (円)	161,960,744	執行率 (%)	99.3
目的	コロナ禍における原油価格や物価上昇による影響等を踏まえ、固定費の負担軽減を図るため、上下水道局が行う水道料金の減免措置相当額を一般会計から水道事業会計へ繰り出しを行ったもの。							
事業内容及び実績	減免内容 官公庁を除いた契約者の2か月分の基本料金 実績 令和5年2月検針 減免件数 23,791件 減免額 78,313,198円 令和5年3月検針 減免件数 25,576件 減免額 83,647,546円 <hr/> 合計 減免件数 49,367件 減免額 161,960,744円							
成果等	物価高騰により影響を受けている家庭や事業者の負担軽減に寄与した。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	担当所属	環境課	
事業名	簡易水道組合等支援補助金		予算現額 (円)	715,000	決算額 (円)	500,150	執行率 (%)	70.0
目的	コロナ禍における原油価格や物価上昇による影響等を踏まえ、固定費の負担軽減を図るため、簡易水道組合等に対し、各世帯が負担する2か月分の基本料金相当額を補助したものの。							
事業内容及び実績	<p>補助額</p> <p>月額1,623円×2か月×組合加入世帯数</p> <p>口径13mm、10㎡までの水道料金の基本料金である1,623円を上限とする。</p> <p>実績</p> <p>簡易水道組合等 16組合 (271世帯)</p> <p>簡易水道組合等支援補助金 500,150円</p>							
成果等	物価高騰により影響を受けている簡易水道組合等の加入者の負担軽減に寄与した。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費	担当所属	保健医療課																																																																									
事業名	予防接種費		予算現額 (円)	454,064,000	決算額 (円)	335,693,025	執行率 (%)	73.9																																																																								
目的	感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与するもので、予防接種法に基づき実施したものの。																																																																															
事業内容及び実績	<p>医療機関において個別接種を行った。</p> <p>接種者数</p> <table border="1"> <tr> <td>B型肝炎</td> <td>2,197人</td> <td>麻疹風しん混合</td> <td>1,688人</td> <td>【成人風しん】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td>2,941人</td> <td>日本脳炎</td> <td>3,815人</td> <td>抗体検査</td> <td></td> <td>218人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児肺炎球菌</td> <td>2,931人</td> <td>ロタウイルス (1価)</td> <td>548人</td> <td>(5期) 予防接種</td> <td></td> <td>55人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>2,977人</td> <td>ロタウイルス (5価)</td> <td>1,329人</td> <td>(県事業) 予防接種</td> <td></td> <td>101人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>746人</td> <td>子宮頸がん</td> <td>1,130人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td>720人</td> <td>(うちキャッチアップ接種 523人)</td> <td></td> <td>【市独自施策】 (任意接種)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>1,482人</td> <td>インフルエンザ</td> <td>22,408人</td> <td>小児インフルエンザ助成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td>1,237人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,701人</td> </tr> </table>								B型肝炎	2,197人	麻疹風しん混合	1,688人	【成人風しん】					ヒブ	2,941人	日本脳炎	3,815人	抗体検査		218人			小児肺炎球菌	2,931人	ロタウイルス (1価)	548人	(5期) 予防接種		55人			四種混合	2,977人	ロタウイルス (5価)	1,329人	(県事業) 予防接種		101人			二種混合	746人	子宮頸がん	1,130人						BCG	720人	(うちキャッチアップ接種 523人)		【市独自施策】 (任意接種)					水痘	1,482人	インフルエンザ	22,408人	小児インフルエンザ助成							高齢者肺炎球菌	1,237人					4,701人
B型肝炎	2,197人	麻疹風しん混合	1,688人	【成人風しん】																																																																												
ヒブ	2,941人	日本脳炎	3,815人	抗体検査		218人																																																																										
小児肺炎球菌	2,931人	ロタウイルス (1価)	548人	(5期) 予防接種		55人																																																																										
四種混合	2,977人	ロタウイルス (5価)	1,329人	(県事業) 予防接種		101人																																																																										
二種混合	746人	子宮頸がん	1,130人																																																																													
BCG	720人	(うちキャッチアップ接種 523人)		【市独自施策】 (任意接種)																																																																												
水痘	1,482人	インフルエンザ	22,408人	小児インフルエンザ助成																																																																												
		高齢者肺炎球菌	1,237人					4,701人																																																																								
成果等	<p>予防接種の効果や接種方法の周知のために、2か月児相談や訪問、幼児健診等の機会を利用し、説明や受診勧奨を行い、高い接種率を保ち、感染症の予防に役立った。子宮頸がんワクチンについては、積極的勧奨差し控えの期間に接種の機会を逃した人に対するキャッチアップ接種を令和4年4月から3年間実施することになり、対象者への個人通知を行い、接種者数増加につながった。</p> <p>また令和4年度から、生後6か月から中学3年生までの子どもを対象に、インフルエンザワクチン接種費用の一部を助成し、ワクチン接種を受けやすくすることで、重症合併症予防に役立てた。</p>																																																																															

款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費	担当所属	保健医療課	
事業名	感染症対策事業費		予算現額 (円)	21,258,000	決算額 (円)	8,190,298	執行率 (%)	38.5
目的	インフルエンザ、結核、新型コロナウイルスなどの感染症の発生及びまん延防止を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>検診等委託費 結核検診（集団検診）3,593人 4,352,158円</p> <p>検診等手数料 結核検診（離島検診）384人 337,920円</p> <p>PCR検査 21施設 受検者数 717人 2,421,980円 （保育園、幼稚園、小学校、放課後児童クラブ他）</p> <p>感染防護服セット、N95マスク等消耗品費 723,070円</p> <p>手指消毒剤、エタノール等医薬材料費 355,170円</p>							
成果等	新型コロナウイルス感染症やワクチン接種に関する情報をホームページや行政放送、市報、保健だより、LINEで周知を図った。併せて、唐津東松浦医師会と協議し、動画配信による感染予防対策に努めた。また、児童や生徒に感染が広がったことから学校や幼稚園・保育園等において無料のPCR検査を実施した。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費	担当所属	新型コロナワクチン接種対策室	
事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業費		予算現額 (円)	807,304,000	決算額 (円)	485,076,636	執行率 (%)	60.1
目的	新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延を防止するため、予防接種法に基づき新型コロナウイルスワクチンの接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>個別接種、コールセンター等委託料 409,510,905円</p> <p>集団接種従事医師等報償費 20,725,000円</p> <p>国保連合会手数料他 27,172,312円</p> <p>離島集団接種に係る渡航船借上料 409,700円</p> <p>医薬材料費等 4,996,304円</p> <p>備品購入費 290,400円</p> <p>その他職員手当等 21,972,015円</p>							
成果等	<p>前年度に引き続き、1～3回目のワクチン接種を実施するとともに、令和4年5月からは4回目の追加接種を実施し、令和4年10月からは5回目の追加接種を実施した。</p> <p>令和4年度の接種人数は、延べ111,333人（1回目 1,456人、2回目 1,737人、3回目 25,245人、4回目 52,580人、5回目 30,315人）で、ワクチン接種により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に一定の効果があった。</p>							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費	担当所属	空き家対策室	
事業名	空き家等対策事業費		予算現額 (円)	9,869,271	決算額 (円)	9,869,271	執行率 (%)	100.0
目的	市民から情報提供のあった空き家等について、所有者等を調査し、空き家等の適正管理を促すとともに、空き家等の利活用を推進することで、市民の生活環境の保全及び地域の振興に寄与したものの。							
事業内容及び実績	<p>空き家バンク制度等の運営</p> <p>空き家バンク登録物件調査業務 550,008円 令和4年度空き家バンク 登録42件 成約11件</p> <p>空き家改修補助金 6件 2,662,000円</p> <p>市民からの相談対応 相談受付件数66件、解決件数38件</p> <p>空き家の除却に係る支援</p> <p>空き家等除却促進事業補助金 6件 3,000,000円</p> <p>緊急安全措置費 1件 1,298,000円</p> <p>その他事務費 2,359,263円</p>							
成果等	これまでの空き家等の解体総件数139件、一時解決総件数138件、空き家バンク登録総件数203件、成約総件数90件となり、管理不全の空き家等への措置及び空き家等の利活用を推進することで、市民の生活環境の保全及び地域の振興に寄与した。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費	担当所属	環境課	
事業名	地域猫活動団体支援モデル事業費		予算現額 (円)	2,750,000	決算額 (円)	2,676,460	執行率 (%)	97.3
目的	地域猫活動団体が行う飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせる取組みを支援することにより、繁殖を抑制し、糞尿や鳴き声による影響を軽減させ、地域の良好な生活環境に寄与したものの。							
事業内容及び実績	<p>地域猫活動団体が行う飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対して補助を行った。 (上限金額 オス15,000円、メス20,000円)</p> <p>令和4年度実績</p> <p>オス 143匹 1,126,640円 メス 136匹 1,549,820円</p> <hr/> <p>合計 279匹 2,676,460円</p> <p>地域猫活動団体数 28団体</p>							
成果等	飼い主のいない猫への不妊去勢手術を促すことで、繁殖を抑制することにより、地域の良好な生活環境に寄与した。							



款	衛生費	項	保健衛生費	目	公害対策費	担当所属	環境課	
事業名	唐津市環境基本計画見直し事業費		予算現額 (円)	6,288,080	決算額 (円)	6,288,080	執行率 (%)	100.0
目的	計画期間が平成30年度から令和9年度までの10年間である第2次唐津市環境基本計画の中間見直しを行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>国等における各種計画等の反映、人口や世帯数など最新の数値への更新、現状に合わせた環境施策の見直しを行った。</p> <p>環境基本計画見直し業務 6,280,560円</p> <p>事務費 7,520円</p>							
成果等	第2次唐津市環境基本計画の見直しにおいて、平成30年度の策定以降に改正された各種計画や法令及び社会情勢などを反映した計画に改訂した。							

款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費	担当所属	保健医療課																																				
事業名	離島診療所運営費		予算現額 (円)	99,114,000	決算額 (円)	70,023,069	執行率 (%)	70.6																																			
目的	離島地区住民の健康保持に必要な医療を提供するため、離島診療所を運営したもの。																																										
事業内容及び実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>診療所名</th> <th>決算額</th> <th>診療日数</th> <th>延べ患者数</th> <th>平均患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神集島診療所</td> <td>15,415,590 円</td> <td>243 日</td> <td>2,329 人</td> <td>10人/日</td> </tr> <tr> <td>高島診療所</td> <td>13,319,348 円</td> <td>243 日</td> <td>1,337 人</td> <td>6人/日</td> </tr> <tr> <td>加唐島診療所</td> <td>15,339,136 円</td> <td>243 日</td> <td>1,025 人</td> <td>4人/日</td> </tr> <tr> <td>馬渡島診療所</td> <td>14,229,592 円</td> <td>243 日</td> <td>2,410 人</td> <td>10人/日</td> </tr> <tr> <td>小川島診療所</td> <td>11,719,403 円</td> <td>243 日</td> <td>2,065 人</td> <td>8人/日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70,023,069 円</td> <td></td> <td>9,166 人</td> <td>38人/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※加唐島診療所の患者数のうち松島150人  ※患者数のうちオンライン診療 11人</p>								診療所名	決算額	診療日数	延べ患者数	平均患者数	神集島診療所	15,415,590 円	243 日	2,329 人	10人/日	高島診療所	13,319,348 円	243 日	1,337 人	6人/日	加唐島診療所	15,339,136 円	243 日	1,025 人	4人/日	馬渡島診療所	14,229,592 円	243 日	2,410 人	10人/日	小川島診療所	11,719,403 円	243 日	2,065 人	8人/日	合計	70,023,069 円		9,166 人	38人/日
診療所名	決算額	診療日数	延べ患者数	平均患者数																																							
神集島診療所	15,415,590 円	243 日	2,329 人	10人/日																																							
高島診療所	13,319,348 円	243 日	1,337 人	6人/日																																							
加唐島診療所	15,339,136 円	243 日	1,025 人	4人/日																																							
馬渡島診療所	14,229,592 円	243 日	2,410 人	10人/日																																							
小川島診療所	11,719,403 円	243 日	2,065 人	8人/日																																							
合計	70,023,069 円		9,166 人	38人/日																																							
成果等	医療機関に恵まれない離島において、令和4年10月からオンライン診療を開始したことで、研修等で医師がいないときでも、診療所でオンラインにて診療を受けることができようになり、離島住民の健康維持と医療衛生の向上に寄与することができた。																																										

款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費	担当所属	保健医療課	
事業名	休日歯科診療所運営費		予算現額 (円)	13,937,000	決算額 (円)	13,344,372	執行率 (%)	95.7
目的	休日等における唐津市及び玄海町住民の急病患者に歯科救急医療を提供することを目的として、医療法に定める診療所を唐津市が設置し、管理、運営を行ったもの。							
事業内容及び実績	診療日 日曜、祝日、祭日、お盆、年末年始の73日 診療時間 9時から16時まで 委託先 一般社団法人 唐津東松浦歯科医師会 患者数 329人							
成果等	平成31年4月に本診療所を開設したことで、歯科救急医療体制が開業歯科診療所による輪番制からセンター方式に変更になり、利便性の向上につながった。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出自粛、受診控えなどにより患者数が減少した。令和5年度にはアフターコロナに向け、市民への認知度アップにつながる取組みを実施したい。							

款	衛生費	項	清掃費	目	清掃総務費	担当所属	環境課	
事業名	ごみ処理施設整備推進費		予算現額 (円)	26,484,000	決算額 (円)	22,759,836	執行率 (%)	85.9
目的	将来にわたる安定的かつ効率的なごみ処理体制の構築を推進していくため、新ごみ処理施設の整備、供用開始に向けての準備を進めたもの。							
事業内容及び実績	新ごみ処理施設整備に向けた基本方針等を設定するため、施設整備の基本構想の策定及び先進地視察を実施した。 新ごみ処理施設整備基本構想策定及び建設候補地選定支援業務 16,610,000円 廃棄物処理施設整備に係る発注者支援業務 5,495,600円 新ごみ処理施設建設に伴う先進地視察 515,636円 (今治市クリーンセンター、バイオマス資源化センターみとよ他4施設) 事務費 138,600円							
成果等	新ごみ処理施設整備基本構想の策定により、施設整備に係る基本方針、処理システム、建設候補地の選定方法、施設規模及びスケジュールなど、新たな施設の基本的な方向性の設定を行った。また、先進地視察により、処理方式採用までの考え方や熱エネルギーの有効利用、環境教育への取組みなど情報収集を行うことができた。							

款	衛生費	項	清掃費	目	清掃センター費	担当所属	廃棄物処理対策課	
事業名	唐津市清掃センター最終処分場適正化事業費		予算現額 (円)	54,767,832	決算額 (円)	11,112,832	執行率 (%)	20.3
目的	令和3年度に定めた唐津市清掃センター最終処分場の今後の方針に基づき、廃止に向けた対策を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>ストックヤード実施設計・築造</p> <p>清掃センターストックヤード築造実施設計業務 1,584,000円</p> <p>最終処分場モニタリング業務</p> <p>清掃センター一般廃棄物最終処分場モニタリング業務 8,878,100円</p> <p>事務費</p> <p>庁用車維持管理費用ほか事務費 650,732円</p>							
成果等	唐津市清掃センター最終処分場の適正化を行うため、水質モニタリングにより周辺環境への影響等の把握を行った。また、焼却灰等のためのストックヤード築造実施設計を行ったが、築造については、基礎工法の再検討及び入札不調の結果を踏まえた設計金額等の見直しを行ったことにより、年度内の完成が困難となったため、43,655,000円を令和5年度へ繰り越した。							

## 5 労働費

市内勤労者の労働環境の改善と福利厚生の上昇を図るため、勤労者向け生活資金、住宅資金等の貸付原資の預託を行った。また、勤労者の福利厚生事業を行う団体に対する負担金の交付を行った。

款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費	担当所属	商工振興課	
事業名	労働金庫預託金		予算現額 (円)	40,000,000	決算額 (円)	40,000,000	執行率 (%)	100.0
目的	市内に居住している勤労者の生活及び住宅購入に必要な貸付金の原資を労働金庫に預託することにより、勤労者への融資の円滑化を図り、勤労者の生活の安定と住宅供給を促進したものの。							
事業内容及び実績	<p>九州労働金庫へ40,000千円を預託し、240件、1,584,900千円の融資に結びついた。</p> <p>預託額 生活資金分20,000千円、住宅資金分20,000千円</p> <p>融資概要 対象者 市内に居住または勤務している勤労者</p> <p>生活資金 使途自由、限度額10,000千円、期間10年以内（教育使途は20年以内）</p> <p>住宅資金 限度額50,000千円、期間40年以内（全期間固定型は25年以内）</p> <p>融資実績 生活資金 158件 301,720千円（令和4年度末融資残高 2,298件 1,292,332千円）</p> <p>住宅資金 82件 1,283,180千円（令和4年度末融資残高 747件 10,441,400千円）</p>							
成果等	貸付件数は前年度比5.7%増の240件、預託金額の39.6倍となる1,584,900千円の利用がなされ、勤労者の生活の安定と住宅供給の促進が図られた。							

款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費	担当所属	商工振興課	
事業名	勤労者福利厚生事業費		予算現額 (円)	370,000	決算額 (円)	296,226	執行率 (%)	80.1
目的	勤労者の福利厚生を目的とした事業や活動等に対し負担金を支出することにより、福利厚生活動の円滑化、総合的な推進を図ったものの。							
事業内容及び実績	<p>佐賀県労働者福祉協議会負担金 100,000円</p> <p>負担金交付先 一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会</p> <p>事業内容 無料法律相談、教育資金利子補給制度の運用など</p> <p>勤労者福利厚生補助金 196,226円</p> <p>補助交付先 唐津・東松浦地区労働者福祉協議会</p> <p>事業内容 パソコン教室（参加者15人）、メンタルヘルス講演会（参加者8人）、法律問題講演会（中止）</p>							
成果等	コロナ禍の影響により法律問題講演会が中止となり、福利厚生活動は縮小したが、佐賀県労働者福祉協議会による勤労者向けの法律相談対応等は実施され、労働者福祉の維持に寄与した。							

## 6 農林水産業費

### (1) 農業費

農業委員会費では、農地法に基づく農地転用等の法令業務をはじめ、農業者年金基金受託事務、農地移動適正化あっせん事業、農業経営基盤強化促進事業による農用地利用集積事務事業を実施し、農業者の生活安定向上に努めた。

農業振興対策としては、さが園芸農業者育成対策事業による省資源型の機械導入やハウスみかん等の園芸作物の生産拡大等を促進するため、施設等整備を行う農家等への支援を行ったほか、農業の持つ多面的機能（国土保全、水源かん養、自然環境の保全、景観の保全など）の維持・発揮のため、地域活動や営農活動に対して、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払事業費、環境保全型農業直接支払事業費により支援を行った。

農業の担い手・新規就農対策としては、明日の農業者支援事業費、人・農地プラン推進事業により、就農を希望する者の研修支援及び就農して間もない者の所得確保のための支援を行うことで営農定着を図った。

このほか、コロナ禍の社会情勢変化に伴う肥料・燃油価格の高騰で経営コストが増大している農業者に対し、営農等の継続を図るための支援を行った。

有害鳥獣対策としては、農作物への被害拡大防止を図るため、猪等駆除事業を実施した。

畜産業振興対策としては、肥育素牛の生産基盤強化と肉用牛繁殖経営の安定化を図るため、繁殖農家が行う施設・機械の整備に対し補助を行った。

このほか、佐賀牛の肥育素牛生産拡大、効率的生産の技術支援、新規就農者の確保・育成を行う「JAからつ佐賀牛繁殖支援・研修センター佐賀牛いろはファーム」の整備に対し補助を行った。

農地対策としては、農村地域における自然的・社会的条件を踏まえ、農村が持つ多面的機能を活かしながら農地利活用の効率化等を図るため、地元との連携をとり、国、県の補助事業等を最大限有効に活用した農業生産基盤の整備と、市単独補助の農村環境整備を総合的かつ計画的に推進した。

主な事業として、地域農業水利施設ストックマネジメント事業、農村環境整備事業及び農業基盤整備促進事業などを実施したほか、新たな取組みとして農村地域防災減災事業に着手した。

### (2) 上場開発費

上場開発費では、事業費の償還にかかる補助金・負担金の支出、基幹水利施設管理事業等を実施し、上場地区の農業基盤の維持増進を図った。

### (3) 林業費

市有林の管理として、佐賀県造林事業等を活用し、森林の持つ公益的・多面的機能の発揮に向けスギ・ヒノキ林の下刈り、枝打ち、間伐などの整備を実施した。また、重要松林等を松くい虫の被害から守るため、薬剤の樹幹注入や地上散布を行うとともに被害木を伐倒し、焼却、くん蒸作業を実施した。

私有林への支援として、森林作業道開設や間伐等を対象に造林事業補助金を交付し、森林の健全な保育による森林の持つ多面的機能の高度発揮を図った。

また、森林環境譲与税を財源とする唐津市森林環境基金を活用したからつの元気な森づくり事業により、荒廃のおそれのある私有林等について間伐等の森林整備を実施し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図るとともに、市内の林業事業体に対し、森林整備を担うべき人材育成及び確保に関する補助金を交付した。

### (4) 水産業費

周辺水域の海洋資源の変化等による漁獲量の減少、魚価の低迷、漁業生産コストの増大、漁業者の高齢化、さらには後継者不足等、漁業を取巻く状況が厳しい中、漁業経営の安定化や水産業の再生・強化を目的とした事業、水産施設の維持・改修及び整備等に関する事業等を実施し、水産業の振興を図った。

漁業者等が実施した水産業及び漁村の持つ多面的機能を発揮するための活動を支援し、漁場環境の保全と漁村の活性化を図った。

漁業の基盤である漁場の生産力向上や実践的な取組みを支援するため、離島において漁業再生活動を行

う漁業集落に対して、離島漁業再生支援交付金を交付した。

漁業者の高齢化が進む中、本地域において持続的に漁業経営体を確保するため、漁業への就業促進と後継者の育成を目的として、新規就業者に給付金を給付した。

本地域の水産業の活性化のため、唐津水産業活性化支援事業において、九州大学と共同で、完全養殖マサバの生産・流通等の安定化・効率化等に向けた事業を展開した。

沿岸漁業振興特別対策事業により、佐賀玄海漁業協同組合が実施した施設改修等に対し、補助金を交付した。

また、コロナ禍において、水産物取引の低迷に燃油高騰が重なり経営が圧迫されている漁業者を支援するため、漁船の燃費向上効果のある取組みに対し補助を行った。

漁港建設費では、漁港施設の長寿命化と更新コストの平準化等のため高島漁港の浮棧橋長寿命化対策を実施した。また、浜崎漁港海岸では環境整備のため突堤整備や養浜、相賀漁港海岸では高潮対策のための護岸改修を進めた。

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	さが園芸農業者育成対策事業補助金		予算現額 (円)	122,082,000	決算額 (円)	122,082,000	執行率 (%)	100.0
目的	収量・品質の向上及び省エネ・省力化技術の普及等を進め、収益性の高い園芸農業の確立を図るため、農業者等が行う機械や施設等の整備に対し補助を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業実施主体数 26件（うち2件は併用申請）</p> <p>新たな園芸農業者育成対策 3件（長寿命化対策、ヒートポンプなど） 補助率 県1/2、市1/10 補助金額 8,985,131円</p> <p>経営力向上志向経営体育成対策 25件（循環扇、パイプハウス、自動カーテン装置など） 補助率 県1/2又は1/3、市1/10 補助金額 113,096,869円</p>							
成果等	収量・品質の飛躍的向上に向けた取組みや省エネ・省力化技術の普及などを進める農業者に対し、施設・機械等の整備に必要な経費を補助することで、収益性の高い園芸農業の確立を図った。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	明日の農業者支援事業費		予算現額 (円)	14,872,000	決算額 (円)	14,761,000	執行率 (%)	99.3
目的	地域農業のリーダー的存在となる農業経営体を育成し、持続的な農業の発展を図るとともに、新規就農者及び農家の後継者に対し、所得確保に向けた支援を行うことで就農の促進を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>青年農業者等育成補助金（対象者 唐津・上場地区農業青年クラブ連絡会） 実績額 300,000円</p> <p>明日の農業者チャレンジ支援事業（対象者 50歳未満の市内の認定農業者の後継者） 給付額 （単身者）年間600,000円/人、（夫婦）年間900,000円/組 実績額 9,300,000円 対象者数16人（単身者14人、夫婦1組）</p> <p>新規就農者ステップアップ支援事業（対象者 就農するための実践研修を受ける研修生、受入農家） 給付額 研修給付金 市内単身者 月額100,000円/人、市外単身者 月額125,000円/人 研修指導料 日額1,500円/人（上限30,000円/月）</p> <p>※夫婦の場合は、それぞれ1.5倍支給</p> <p>実績額 5,161,000円 対象研修数5件（市内単身研修生5人、受入農家5人）</p>							
成果等	青年農業者等の育成、新規就農者及び認定農業者の後継者の確保支援を行うことにより、持続的な農業の発展並びに定住促進が図られた。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	人・農地プラン推進事業費		予算現額 (円)	19,987,000	決算額 (円)	16,208,540	執行率 (%)	81.1
目的	人・農地プランの策定を推進することで、集落における問題解決を図り、地域における持続可能な力強い農業の実現を目指したもの。また、同プランに位置付けられた青年農業者を支援したもの。							
事業内容及び実績	<p>農業次世代人材投資事業補助金（対象者 49歳以下の経営開始間もない新規就農者）  給付額（単身者）年間1,500千円/人、（夫婦）年間2,250千円/組  実績額 13,165,529円 対象者数 11人（単身者11人）</p> <p>経営継承・発展支援事業補助金（対象者 人・農地プランに位置付けられた後継者）  実績額 1,000,000円 対象者数 1人（単身者1人）  事務費等 2,043,011円</p>							
成果等	農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等の課題に取り組むため、人・農地プランを整備し、プランに位置付けられた新規就農者等（中心経営体）に対し支援を行うことにより、地域農業の体制及び基盤の確立につながった。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	棚田地域保全活動支援事業費		予算現額 (円)	7,168,000	決算額 (円)	6,600,920	執行率 (%)	92.1
目的	棚田地域の農業用施設の保全活動や景観作物の作付等活動を支援するほか、都市との交流事業を展開することにより、棚田地域の活性化を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>地域おこし協力隊 1名配置（蕨野） 3,953,741円  棚田地域保全活動支援事業補助金（蕨野） 1,600,000円  蕨野の棚田ふれあい事業補助金 コロナ禍による中止  肥前町棚田ウォーク補助金 コロナ禍による中止  事務費ほか 1,047,179円</p>							
成果等	地域おこし協力隊の活動、棚田地域保全活動支援事業補助金等により、地域活性化、棚田の保全、地域農産物のPR活動等の支援をおこなった。							



款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	中山間地域等直接支払事業費		予算現額 (円)	325,987,000	決算額 (円)	325,968,987	執行率 (%)	100.0
目的	中山間地域の生産条件の不利を是正し、農業生産の維持を通じて耕作放棄地の発生防止と多面的機能の増進を図るため、交付金を交付したものの。							
事業内容及び実績	中山間地域等直接支払交付金事業（個人配分・共同活動費）							
	補助率 国1/2、県1/4、市1/4（知事特認 国1/3、県1/3、市1/3）							
	内 容 耕作放棄地の発生防止活動、水路・農道等の管理活動（泥上げ、草刈り等）							
	協定締結集落数	対象農用地面積	交 付 金 額					
	99集落	1,819ha	324,950,339円					
	中山間地域等直接支払推進交付金事業							
	補助率 国10/10							
	内 容 推進事業費（事務費） 944,368円							
	補助返還金 74,280円（交付対象農用地の転用等によるもの）							
成果等	耕作放棄地の発生防止及び水源のかん養など中山間地域の農地が持つ多面的機能増進のための交付金の交付や推進活動を行い、農業生産活動等の継続に向けた支援に努めた。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	環境保全型農業直接支払事業費		予算現額 (円)	6,346,000	決算額 (円)	6,180,800	執行率 (%)	97.4
目的	化学肥料・農薬の使用等による環境負荷の低減に配慮した持続的な農業を確立し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の普及を推進したものの。							
事業内容及び実績	事業期間 令和2年度～令和6年度							
	対象取組 カバークロップ、冬期湛水、有機農業等							
	補助率 国1/2、県1/4、市1/4							
	取組件数 15件							
	取組面積 96.30ha							
	内 訳 カバークロップ 84.02ha、冬期湛水管理 6.20ha、有機農業 6.08ha							
	交付金額 6,080,800円							
	推進事務費 100,000円							
成果等	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の普及を推進することにより、農業生産に由来する環境負荷の低減に資することができた。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	鳥獣対策室	
事業名	猪等駆除事業費		予算現額 (円)	26,918,000	決算額 (円)	26,390,289	執行率 (%)	98.0
目的	有害鳥獣対策において、農用地への侵入防止柵の設置や対象鳥獣の捕獲を実施することにより、農作物被害、農業用施設被害を防止し、地域農業の振興への寄与を図ったもの。							
事業内容及び実績	調査・現地指導活動費		1,336,072円					
	捕獲・追い払い経費		975,172円					
	その他経費（狩猟免許取得補助金等）		703,141円					
	唐津地域有害鳥獣広域駆除対策協議会負担金		23,375,904円					
	侵入防止柵整備実績		わな整備実績					
ワイヤーメッシュ	電気牧柵器	イノシシ用箱わな	中型獣類用箱わな	小型獣類用箱わな	カラス捕獲檻			
16,610m	202台	26基	2基	4基	1基			
捕獲実績								
イノシシ	アナグマ	タヌキ	アライグマ	サル	カラス			
6,704頭	147頭	57頭	375頭	58頭	47羽			
成果等	侵入防止柵整備と捕獲活動の両面から被害防除対策を実施することにより、有害鳥獣による農作物被害及び農業用施設の被害拡大を抑制し、地域農業の振興に資することができた。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	施設園芸支援緊急対策事業補助金		予算現額 (円)	42,039,000	決算額 (円)	42,039,000	執行率 (%)	100.0
目的	コロナ禍における原油価格高騰の影響を受けた施設園芸農業者に対し、燃油使用量削減につながる加温機等の再導入に係る経費を補助することで、経営改善を支援したもの。							
事業内容及び実績	対象者 市内に住所を有する施設園芸農業者							
	事業内容、件数、補助率、総事業費、補助金額							
	ヒートポンプの再導入	1件（12台）	県1/2	22,440,000円	11,220,000円			
	加温機の再導入	38件（47台）	市1/2	64,859,380円	30,819,000円			
計	39件（59台）		87,299,380円	42,039,000円				
成果等	施設園芸用ヒートポンプ及び加温機の再導入によって燃油使用量の削減による経営改善及び長期利用の道筋が整ったことによる営農継続意欲の維持向上につながった。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	担当所属	農政課	
事業名	肥料等価格高騰緊急対策事業補助金		予算現額 (円)	10,531,000	決算額 (円)	10,527,600	執行率 (%)	100.0
目的	コロナ禍において、肥料及び緑肥種子価格高騰の影響で経営コストが増大している農業者に対し、購入費の一部を補助することで営農等の継続を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>肥料価格高騰対応営農継続支援</p> <p>対象者 国の肥料価格高騰対策事業に参加する市内農業者</p> <p>対象経費 令和4年6月～10月における肥料購入費（価格上昇分）</p> <p>補助率 1/10</p> <p>件数及び補助金額 7件（1,848戸） 9,581,600円</p> <p>環境保全型農業取組継続支援</p> <p>対象者 環境保全型農業直接支払事業に取り組んでいる市内の活動組織（団体、法人）</p> <p>対象経費 令和4年6月～10月におけるカバークロップ用種子購入費（価格上昇分）</p> <p>補助率 8/10</p> <p>件数及び補助金額 11件（49戸） 946,000円</p>							
成果等	肥料費及びカバークロップ用緑肥種子購入費の一部を補助したことで、農業経営又は環境保全型農業の継続につながった。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	畜産業費	担当所属	農政課	
事業名	さが肥育素牛生産拡大施設等整備補助金		予算現額 (円)	17,198,000	決算額 (円)	7,572,000	執行率 (%)	44.0
目的	肥育素牛及び自給飼料の生産拡大に必要な施設・機械等の整備に対し補助することにより、畜産農家の経営安定と佐賀牛ブランド力の向上を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>肥育素牛生産拡大施設等整備事業（分娩牛舎1棟（273㎡）の整備）</p> <p>総事業費 1件（1棟） 9,900,000円（補助対象経費 9,000,000円）</p> <p>補助金額 3,900,000円（補助率 県1/3、市1/10）</p> <p>自給飼料生産・利用拡大対策事業（自給飼料の生産用機械4台の導入）</p> <p>総事業費 2件（各2台） 8,792,300円（補助対象経費 8,472,500円）</p> <p>補助金額 3,672,000円（補助率 県1/3、市1/10）</p>							
成果等	牛舎等の新たな整備により、牛の飼養環境を改善したことで、肥育素牛の生産拡大及び佐賀牛ブランド力の向上を図ることができた。また、飼料生産用機械の導入により、畜産農家の労力の軽減と自給飼料の生産拡大が可能となることで生産コストが軽減され、畜産農家の経営安定化を図ることができた。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	畜産業費	担当所属	農政課		
事業名	佐賀牛産地確立拠点施設整備事業補助金（繰越明許分）		予算現額 （円）	970,000,000	決算額 （円）	970,000,000	執行率 （%）	100.0	
目的	肥育素牛の生産拡大、繁殖農家の効率的生産に向けた技術支援及び新規就農者の育成を図る機能を持つ佐賀牛産地確立拠点施設（ブリーディングステーション）を整備し、佐賀牛の生命線となる肥育素牛の県内自給率を高め、「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の生産拡大を図ったもの。								
事業内容及び実績	佐賀牛産地確立拠点施設（ブリーディングステーション）整備 補助率 県10/10（上限1,000,000,000円） 事業主体 唐津農業協同組合 総事業費及び補助金額								
		総事業費（税抜き）	令和2年度	令和4年度（繰越明許費）					
	設計業務	30,000,000円	30,000,000円						
	監理業務	8,000,000円		8,000,000円					
	建設工事、機械器具整備	1,138,316,866円		962,000,000円					
計	1,176,316,866円	30,000,000円	970,000,000円						
成果等	佐賀牛産地確立拠点施設（JAからつ佐賀牛繁殖支援・研修センター佐賀牛いろはファーム）が整備されたことで、肥育素牛の生産拡大、繁殖農家の効率的生産に向けた技術支援及び新規就農者の確保・育成を図る体制が整った。								

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農地林務課	
事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業費（現年度分・繰越明許分）		予算現額 （円）	20,944,000 2,343,000	決算額 （円）	12,416,000 2,343,000	執行率 （%）	59.3 100.0
目的	農業水利施設の長寿命化を図るため機能診断に基づく対策工事を行う土地改良区に対し補助金を交付し、今後の維持管理コストの低減や財政負担の平準化を図ったもの。							
事業内容及び実績	負担割合（国55%、県15%、市15%、土地改良区15%）							
	上場土地改良区	事業費60,000,000円、市補助金6,769,000円（玄海町との按分負担） 事業内容 実施設計書作成業務、埋設配管漏水修理工事、加圧機場整備工事、減圧弁整備工事、埋設管更新工事						
	浜玉畑総土地改良区	事業費13,675,500円、市補助金2,293,000円 事業内容 実施設計書作成業務、送水管補修工事、揚水機場補修						
	鏡久里土地改良区	事業費22,364,000円、市補助金3,354,000円 事業内容 実施設計書作成業務、用水路補修工事、水門補修工事						
	浜玉畑総土地改良区（繰越明許分） 事業費15,620,000円、市補助金2,343,000円 事業内容 揚水機場補修							
成果等	施設の長寿命化を図るため、農業水利機能診断に基づく対策工事を行う土地改良区等に対して補助金を交付し、維持管理コストの低減や財政負担の平準化を図った。 なお、浜玉町横田下揚水ポンプ工事等8,528,000円を令和5年度へ繰り越した。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農地林務課	
事業名	農業水利施設電気料高騰対策事業補助金		予算現額 (円)	1,700,000	決算額 (円)	1,507,000	執行率 (%)	88.6
目的	土地改良区等が負担する水利施設の電気料高騰分に対し補助金を交付し、農家負担の軽減を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容 農業水利施設の電気料のうち燃料費調整額の増高分の一部を補助したもの。 算定式 燃料費調整単価の高騰分×電力使用量×1/4</p> <p>補助対象者 農業水利施設を管理する土地改良区や水利組合等 22団体 199施設</p> <p>補助金額 1,507,000円（土地改良区 3団体 1,371,000円 水利組合等 19団体 136,000円）</p>							
成果等	補助金の交付により農家負担を軽減するとともに、営農意欲の減退を防止し、農業経営の安定を図った。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農政課	
事業名	多面的機能支払交付金		予算現額 (円)	299,123,000	決算額 (円)	299,014,963	執行率 (%)	100.0
目的	高齢化、人口減少による集落機能低下により農村地域の共同活動により支えられている多面的機能（国土保全、水源涵養、景観形成等）の維持力低下に対応するため、交付金を交付したもの。							
事業内容及び実績	<p>推進事務費 2,292,252円 国庫返納金 971,371円</p> <p>活動組織への交付金 295,751,340円</p> <p>農地維持支払交付金 交付実績 99組織 112,216,050円 内容 地域資源の基礎的な保全活動、保存管理のための推進活動</p> <p>資源向上支払交付金（共同） 交付実績 99組織 62,838,048円 内容 施設の軽微な補修、植林による景観形成等の農村環境保全活動や多面的機能を図る活動</p> <p>資源向上支払交付金（長寿命化） 交付実績 93組織 118,350,258円 内容 老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新</p> <p>加算措置（増進分）実績 15組織 1,756,710円 加算措置（深化分）実績 3組織 590,274円 内容 多面的機能の更なる増進に向けた活動、農村協働力の深化に向けた活動</p>							
成果等	農村地域の共同活動や老朽化が進む農地周りの農業用施設の長寿命化のための補修・更新整備等を行うことにより農用地、水路、農道等の地域資源を適切に保全管理することができた。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農地林務課	
事業名	農業基盤整備促進事業費 (現年度分・繰越明許分・ 事故繰越分)		予算現額 (円)	211,338,344 27,000,000 38,227,100	決算額 (円)	123,751,930 27,000,000 38,227,100	執行率 (%)	58.6 100.0 100.0
目的	農地・農業用水利施設の整備をきめ細かく実施し、生産効率の向上、地域農業の競争力強化、農地等の保全を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分）				事業内容（繰越明許分）			
	玉島地区		81,262,500円		横田下地区		27,000,000円	
	パイプライン工事		L=243.6m		サイフォン改修工事			
	横田下地区		36,375,670円		(県の施設移転補償費で実施)			
	サイフォン改修工事							
	水道施設移設工事負担金		4,348,701円		事業内容（事故繰越分）			
	事務費等		1,765,059円		横田下地区		38,227,100円	
					サイフォン改修工事			
成果等	農業用水利施設の整備により、生産効率の向上、地域農業の競争力強化、農地等の保全、水管理の省力化が図られた。 なお、玉島地区のパイプライン工事等87,552,000円を令和5年度へ繰り越した。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農地林務課	
事業名	相知黒岩地区ほ場整備 事業費		予算現額 (円)	17,719,000	決算額 (円)	5,074,502	執行率 (%)	28.6
目的	相知黒岩地区の配水不良のほ場を嵩上げし、区画整理や用排水路、農道の整備を行うことにより、農業生産性の向上を図ったもの。							
事業内容及び実績	換地業務		3,401,200円					
	揚水機場関連業務		955,900円					
	付帯工事		649,000円					
	事務費等		68,402円					
成果等	基盤整備後の換地に向け、確定測量及び権利者会議等を開催し、権利関係の調整とともに農地集積を図った。 なお、事業の追加割当があり、12,600,000円を令和5年度へ繰り越した。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農地林務課	
事業名	農村地域防災減災事業費		予算現額 (円)	558,000,000	決算額 (円)	130,520,500	執行率 (%)	23.4
目的	老朽化している防災重点農業用ため池の改修等の整備を計画的に実施するため耐震・劣化・豪雨耐性の調査を行ったほか、早急に対応が必要なため池の改修実施計画を策定したもの。							
事業内容及び実績	山本中地区ほか6地区 77,200,200円 (ため池調査7箇所) 谷頭地区 20,826,300円 (ため池調査1箇所、実施計画書作成1式) 池新地区 32,450,000円 (ため池調査1箇所、実施計画書作成1式) 事務費等 44,000円							
成果等	防災重点農業用ため池のうち9箇所の耐震・劣化・豪雨耐性の調査を実施し、ため池の状況把握及び改修の有無について確認できた。谷頭・池新地区においては、実施計画書を作成し基本的な改修計画を策定した。 なお、事業の追加割当があった防災重点農業用ため池調査(40箇所)420,000,000円を令和5年度へ繰り越した。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農地林務課	
事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	38,550,000 5,000,000	決算額 (円)	600 5,000,000	執行率 (%)	0.0 100.0
目的	経年劣化により堤体浸食等が発生しているため池の改修を行ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容(現年度分・繰越明許分) 丸渕ため池 5,000,600円 法面保護工 A=59.0㎡							
成果等	ため池の改修を行うことにより、災害の発生を未然に防止するとともに、農業を行うために不可欠な水資源の確保と農業用水利施設の長寿命化を図った。 なお、事業の追加割当等(於呂ため池土砂吐ゲート設置工事、今坂農業用排水施設工事)があり38,549,000円を令和5年度へ繰り越した。							

款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費	担当所属	農地林務課	
事業名	浜玉地区農業用水再編概略設計事業費		予算現額 (円)	20,208,530	決算額 (円)	208,530	執行率 (%)	1.0
目的	浜玉畑総土地改良区内の農業用水再編事業を計画するため概略設計を策定するもの。							
事業内容及び実績	<p>浜玉畑総土地改良区内の今後の営農計画の策定、農業用水配管計画の作成、受益地の精査、概算事業費の算定等を行い、今後の事業推進の判断材料とするもの。</p> <p>浜玉畑総地区畑かん再編概略設計業務            末端かんがい計画、揚配水計画、幹線・支線水路計画、概算工事費積算など            事務費等 208,530円</p>							
成果等	<p>受益地等の諸元が概定したことにより、施設規模等を最適化する概略設計素案が策定でき、今後の事業推進に必要な基礎資料を作成・収集することができた。</p> <p>なお、地区内受益地が点在しており、農地集約や地元合意に時間がかかることから、概略設計業務20,000,000円を令和5年度へ繰り越した。</p>							

款	農林水産業費	項	上場開発費	目	上場開発費	担当所属	農地林務課	
事業名	農業用排水（基幹水利）施設管理事業費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	386,186,804 37,235,000	決算額 (円)	377,221,804 37,235,000	執行率 (%)	97.7 100.0
目的	上場土地改良事業で造成した施設のうち、公共性の高い5つの農業用ダムと揚水機場等の管理を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容（現年度分）</p> <p>ダム堆砂状況調査業務 6,435,000円</p> <p>新成淵揚水機場No.1ポンプ軸受ケース補修工事 3,939,100円</p> <p>その他施設の点検整備・補修等 31,270,128円</p> <p>揚水機場等電気料 329,807,916円</p> <p>事務費等 5,769,660円</p> <p>事業内容（繰越明許分）</p> <p>松浦川揚水機場直流電源装置取替工事 17,985,000円</p> <p>中央管理所非常用UPS取替工事 6,710,000円</p> <p>その他施設の点検整備・補修等 12,540,000円</p>							
成果等	<p>基幹水利施設の適正な維持管理を行うことで、上場農業用水の安定供給を図ることができた。</p> <p>なお、松浦川揚水機場No.4ポンプ軸受メタル取替工事8,965,000円を令和5年度へ繰り越した。</p>							



款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	担当所属	農地林務課	
事業名	からの元気な森づくり事業費		予算現額 (円)	40,633,616	決算額 (円)	39,266,717	執行率 (%)	96.6
目的	唐津市森林環境基金を活用し、市内の荒廃のおそれのある私有林等について間伐等の森林整備を実施し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図ったもの。また、森林整備を担うべき人材育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材利用の促進等に関する施策も実施したものの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容</p> <p>森林調査 4地区 28.13ha 6,117,100円</p> <p>間伐業務 4地区 31.88ha 19,431,500円</p> <p>下刈等労働従事者支援事業補助金 2事業者 493,000円</p> <p>林業機械レンタル等支援事業補助金 3事業者 2,456,000円</p> <p>森林危険木伐採等支援事業補助金 9件 1,785,000円</p> <p>佐賀県森林クラウドシステム使用料 409,200円</p> <p>ドローン及び写真解析ソフト等導入業務 3,344,000円</p> <p>事務費等 5,230,917円</p>							
成果等	市内の荒廃のおそれのある私有林等の森林整備を実施し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図ることができた。また、担い手の確保・育成に関する支援も実施することができた。							

款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	担当所属	農地林務課	
事業名	ふるさとの森林づくり事業費		予算現額 (円)	4,022,000	決算額 (円)	4,021,600	執行率 (%)	100.0
目的	水源涵養や土砂の流出防止など森林が有する公益的機能の発揮が期待できる重要な森林のうち、荒廃した森林について、適切な森林の管理を行うことにより、地域住民が安全で安心した暮らしを守るなど、森林の持つ公益的機能の維持増進を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>対象地区</p> <p>七山滝川地区</p> <p>事業内容</p> <p>荒廃森林整備事業における切捨間伐</p> <p>森林調査測量等 6.11ha 1,326,600円</p> <p>切捨間伐 5.30ha 2,695,000円</p>							
成果等	荒廃した森林において、市による適切な森林管理を行うことで、森林が持つ公益的機能の発揮が図られた。							

款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	担当所属	農地林務課	
事業名	農林地（林地）崩壊防止事業費（繰越明許分）		予算現額（円）	14,000,000	決算額（円）	10,864,700	執行率（%）	77.6
目的	令和3年8月の豪雨により、住宅裏の山腹が崩壊し危険な状態となったため、復旧工事を実施し保全を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容（繰越明許分） 唐津地区 5箇所 【大良ほか】 5,368,000円 相知地区 1箇所 【佐里】 1,276,000円 北波多地区 1箇所 【上平野】 671,000円 鎮西地区 1箇所 【菖蒲】 1,298,000円 呼子地区 1箇所 【殿ノ浦】 2,251,700円							
成果等	法切工及び伏工を施工することで、民家等への土砂流出を防ぐとともに、林地の安定を図ることができた。							

款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	担当所属	農地林務課	
事業名	林道向野線開設事業費（繰越明許分）		予算現額（円）	86,539,000	決算額（円）	73,909,921	執行率（%）	85.4
目的	林道を新規開設することで、生産性の向上及び森林施業の効率化を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容（繰越明許分） 林道向野線開設工事 L=300.0m 73,327,100円 事務費等 582,821円							
成果等	当該路線の土工事を進め、事業の進捗を図ることができた。							

款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	担当所属	農地林務課	
事業名	林道改良舗装事業費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	6,723,384 1,300,000	決算額 (円)	6,723,384 1,265,000	執行率 (%)	100.0 97.3
目的	急勾配、未舗装の林道舗装及び老朽化した橋を補修することにより山林保育の効率化や木材搬出における経済性の向上を図るとともに、周辺林道への土砂、碎石の流出を解消したものを。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分） 林道宇木～半田線舗装工事 L=96.9m 5,896,000円 事務費等 827,384円 事業内容（繰越明許分） 林道宇木～半田線舗装工事 L=18.0m 1,265,000円							
成果等	舗装工事を実施することで、林産物の搬出等の効率化及び経営基盤の維持を図ることができた。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	担当所属	水産課	
事業名	複合経営等漁家経営改善 支援事業補助金		予算現額 (円)	5,250,000	決算額 (円)	5,250,000	執行率 (%)	100.0
目的	厳しい漁家経営を改善するため、佐賀県と連携して漁業者の複合経営等への取組みを支援することにより、漁家経営の安定を図ったもの。							
事業内容及び実績	チャレンジタイプ 1件 1,500,000円【補助率 県1/2、市1/4（補助上限額 1,500,000円/件）】 取組事項 漁獲物及び養殖生産物の急速凍結による魚価向上 交付額1,500,000円 事業費2,257,090円 地域の中核タイプ 1件 3,750,000円【補助率 県1/2、市1/4（補助上限額 3,750,000円/件）】 取組事項 マガキ養殖の規模拡大及び単価アップによる漁家所得の向上 交付額3,750,000円 事業費5,500,000円							
成果等	漁業者等に対して複合経営に伴う初期経費を支援し、漁家経営の安定につなげることができた。また、玄海地域における複合経営への取組みを推進することができた。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	担当所属	水産課	
事業名	明日の漁業者支援事業費		予算現額 (円)	5,976,057	決算額 (円)	3,886,000	執行率 (%)	65.0
目的	漁業者の高齢化が進む中、本地域における漁業経営体を確保するため、漁業への就業促進と後継者の育成を図るもの。また、持続可能で収益性の高い漁業を目指し、国事業により操業体制の構築等に取り組む漁業者を支援するため、個人負担の軽減を図ったもの。							
事業内容及び実績	佐賀県漁業研修推進協議会負担金 1人 30,000円 明日の漁業者チャレンジ支援事業給付金（給付期間 2年間） 親族の経営元で従事 2人（うち2年目2人） 1,200,000円 明日の漁業者競争力強化支援事業補助金（補助金額 国補助対象経費の1/10の額（上限100万円）） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 1件 756,000円 浜の担い手漁船リース緊急事業 2件 1,900,000円							
成果等	明日の漁業者チャレンジ支援事業給付金では、令和4年度は新規就業者はいなかったが、就業2年目の2名に給付を行った。また、明日の漁業者競争力強化支援事業補助金により、国事業における個人負担分を軽減することができ、漁業経営の安定化が図られた。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	担当所属	水産課	
事業名	水産多面的機能発揮対策事業費		予算現額 (円)	7,296,000	決算額 (円)	7,259,242	執行率 (%)	99.5
目的	水産業及び漁村の有する多面的機能を効果的に発揮していくため、漁業者等による活動組織の取組みを支援し、漁場環境の保全と漁村の活性化を図ったもの。							
事業内容及び実績	佐賀県環境・生態系保全対策地域協議会（事業主体）に対し、市の負担割合15%分を交付し、各活動組織へ活動内容に応じて分配された。なお、国70%、県15%の割合でそれぞれ直接交付された。 市の交付金額 6,704,850円 （内訳）唐津地区海面環境を守る会 1,260,450円 唐津地区海底環境を守る会 1,285,650円 湊の海を守る会 106,200円 屋形石地区藻場保全活動の会 184,200円 浜崎地区海の環境を守る会 439,950円 肥前地区海底環境を守る会 400,050円 高串地区海面環境を守る会 698,100円 大浦浜環境を守る会 944,100円 鎮西地区藻場保全活動の会 469,200円 呼子の海を守る会 507,300円 玄界灘を美しくする会 409,650円 事務費 554,392円							
成果等	各活動組織が、ガンガゼ等のウニ類の駆除や漂流・漂着物の除去作業等に計画的に取り組むことができたことで、藻場の保全、環境美化などに成果があった。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	担当所属	水産課	
事業名	離島漁業再生支援交付金事業費		予算現額 (円)	50,619,000	決算額 (円)	50,617,545	執行率 (%)	100.0
目的	漁獲物の販売・漁業資材の取得など、販売・生産面で不利な条件下に置かれ、加えて後継者不足や高齢化の進行等の厳しい現状に直面する離島において、各離島の漁業集落の取組みを支援し、離島漁業の再生を図ったもの。							
事業内容及び実績	離島漁業再生事業交付金 32,751,000円 (内訳) 高島漁業集落 3,078,000円 神集島漁業集落 5,877,000円 向島漁業集落 2,658,000円 加唐島漁業集落 3,084,000円 松島漁業集落 1,677,000円 馬渡島漁業集落 7,698,000円 小川島漁業集落 8,679,000円 事務費 300,000円 離島漁業新規就業者特別対策事業交付金(新規就業者への漁船リースに対する支援) 2件 小川島漁協 17,566,545円							
成果等	各離島の漁業集落において、藻場等の管理改善、種苗放流、漁場監視などの漁場生産力の向上に関する取組み、また、新たな漁具等の導入、販路拡大等の実践的な取組みを計画的に実施でき、離島漁業の活性化につながった。更に、漁船リースへの支援を行うことで、離島での新規就業者の定着につながった。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	担当所属	水産課	
事業名	唐津水産業活性化支援事業費		予算現額 (円)	35,509,084	決算額 (円)	35,509,084	執行率 (%)	100.0
目的	唐津Qサバの種苗生産の量産化及び養殖事業における安定かつ効率的な生産体制を確立することにより、唐津Qサバの生産量・流通量を増やすとともに、水産業の活性化を通じて、本地域全体の振興を図ったもの。							
事業内容及び実績	業務委託費 マサバ種苗量産技術開発試験業務 6,000,000円 内容 種苗量産技術の開発、効率的な生産手法の開発等 唐津Qサバ産業化促進業務 2,200,000円 内容 唐津Qサバの販路拡大、種苗の供給 唐津Qサバ生産性向上試験研究業務 2,530,000円 内容 スマート給餌システムの導入、生簀モニタリングシステムの導入、給餌情報の取得等 施設運営費 唐津市水産業活性化支援センター運営費 24,779,084円							
成果等	唐津Qサバの安定かつ効率的な生産体制の構築に向けて、唐津市水産業活性化支援センターを中心とした取組みを継続して実施することができた。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	担当所属	水産課	
事業名	沿岸漁業振興特別対策事業費		予算現額 (円)	13,511,000	決算額 (円)	9,166,000	執行率 (%)	67.8
目的	国庫補助事業に該当しない小規模な漁業関連施設等の補修等を行う漁業協同組合に対し、補助を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>交付額（事業費） 補助率 県1/3、市1/3</p> <p>地下タンク電気防食工事（旧唐津 神集島漁港） 2,370,000円（3,910,500円）</p> <p>漁船上架施設改修工事（旧唐津 唐房漁港） 2,796,000円（4,613,180円）</p> <p>製氷自動販売基盤改修工事（旧唐津 唐津港） 4,000,000円（10,296,000円）</p>							
成果等	<p>漁業協同組合が行った小規模な漁業関連施設等の改修工事や電気防食工事等の補助を行い、漁業者の安全性、利便性及び作業効率の向上を図ることができた。</p> <p>なお、種苗生産施設排水ポンプ更新工事4,345,000円を令和5年度へ繰り越した。</p>							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	担当所属	水産課																
事業名	漁業経営支援緊急対策事業補助金		予算現額 (円)	5,004,000	決算額 (円)	5,003,296	執行率 (%)	100.0															
目的	コロナ禍において、水産物取引の低迷に燃油高騰が重なり、経営が圧迫されている漁業者を支援するため、漁船の船底清掃に対し、補助を行ったもの。																						
事業内容及び実績	<p>事業内容</p> <p>交付先 市内漁業協同組合</p> <p>対象経費 漁船の船底清掃経費（1漁業者1回分まで）</p> <p>補助率 10/10（補助上限額 5トン未満漁船 15,000円、5トン以上漁船 30,000円）</p> <p>件数及び補助金額 310件 5,003,296円</p> <p>(内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐賀玄海漁協</td> <td>263件</td> <td>4,262,975円</td> </tr> <tr> <td>小川島漁協</td> <td>32件</td> <td>531,895円</td> </tr> <tr> <td>大浦浜漁協</td> <td>14件</td> <td>205,926円</td> </tr> <tr> <td>屋形石漁協</td> <td>1件</td> <td>2,500円</td> </tr> </tbody> </table>									実施件数	補助金額	佐賀玄海漁協	263件	4,262,975円	小川島漁協	32件	531,895円	大浦浜漁協	14件	205,926円	屋形石漁協	1件	2,500円
	実施件数	補助金額																					
佐賀玄海漁協	263件	4,262,975円																					
小川島漁協	32件	531,895円																					
大浦浜漁協	14件	205,926円																					
屋形石漁協	1件	2,500円																					
成果等	<p>漁業活動の実情にあわせた経費を対象にした補助を実施することで、燃費向上により燃油使用料の削減につながり、漁船用燃油購入に係る経費負担の軽減が図られた。</p>																						

款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費	担当所属	水産課	
事業名	相賀漁港改修事業費		予算現額 (円)	31,000,000	決算額 (円)	30,213,804	執行率 (%)	97.5
目的	台風や高潮等での越波による背後地の住宅等への被害を防ぐため、既設護岸の改修を行ったもの。							
事業内容及び実績	相賀漁港海岸高潮対策工事 28,772,700円 施工延長 L=498.6m 嵩上げ高さ H=30.0cm  相賀漁港海岸附帯施設設置工事 1,254,000円 ステンレス手摺 L=5.7m  事務費 187,104円							
成果等	計画的に護岸改修を進めることができたと同時に、高潮等による背後地への被害を軽減することができた。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費	担当所属	水産課	
事業名	高島漁港改修事業費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	50,750,000	決算額 (円)	50,236,320	執行率 (%)	99.0
目的	高島漁港の機能保全計画で、保全工事が必要と診断された施設について補修等を実施し、漁港施設の長寿命化を図ることで、漁業活動の安全性と利便性を確保したもの。							
事業内容及び実績	高島漁港1号浮棧橋更新工事 43,435,700円 1号浮棧橋本体更新 1基 アンカー施設更新 1式  高島漁港9号護岸改修工事 6,776,000円 施工延長 L=85.0m コンクリート舗装 A=117.0m <sup>2</sup>  事務費 24,620円							
成果等	漁港施設である浮棧橋の改修等を実施したことで、施設の長寿命化を図ることができ、漁業活動の安全性と利便性を確保することができた。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費	担当所属	水産課	
事業名	漁港小規模事業費		予算現額 (円)	8,200,000	決算額 (円)	7,914,350	執行率 (%)	96.5
目的	漁港施設の改修等において、国庫補助事業の要件に該当しない小規模な事業を佐賀県単独補助事業により対応し漁港機能を維持するとともに、漁業活動の安全性と利便性を確保したものの。							
事業内容及び実績	浜崎漁港照明灯LED化工事 3,389,100円 照明灯LED化 9基 波戸漁港照明灯LED化工事 4,510,000円 照明灯LED化 14基 事務費 15,250円							
成果等	漁港照明灯LED化工事により、将来の照明灯の維持経費の節減と省電力化を図ることができた。							

款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港建設費	担当所属	水産課	
事業名	浜崎漁港海岸侵食対策事業費		予算現額 (円)	56,000,000	決算額 (円)	55,143,160	執行率 (%)	98.5
目的	浜崎漁港海岸の砂浜の侵食被害を解消するため、唐津湾海岸侵食対策検討委員会の提言に基づき突堤の整備や養浜等を実施し、安全で良好な海岸の回復を図ったもの。							
事業内容及び実績	浜崎漁港海岸突堤整備工事 45,355,200円 突堤 L=20.0m 浜崎漁港海岸養浜工事 8,809,900円 養浜工 V=2,624m <sup>3</sup> 排水管改修 L=32.0m 事務費 978,060円							
成果等	突堤整備や養浜工事の実施により、侵食等被害の軽減につながった。							



## 7 商 工 費

### (1) 商工総務費

商工総務一般経費を支出したほか、モーターボート競走事業会計に対して繰出しを行った。

### (2) 商工業振興費

商工業振興では、市内中小企業の経営安定化を図るため、小規模事業資金貸付原資の預託等の諸金融政策を実施した。また、市内での創業者や創業初期企業等に対する支援として、創業・経営相談窓口を設置するとともに商工団体が実施した創業支援セミナーに対して補助を行ったほか、市内中小企業が販路拡大のために行う展示会等への出展に対して補助を行った。

さらに、地域経済の活性化を図るため、空き店舗に対する出店支援を行ったほか、呼子朝市通りの賑わいづくりのため、市内外から新規出店者を募集し、出店へのサポートを行うとともに、呼子マルシェ並びに呼子ナイトマルシェを開催した。

また、デジタル技術の活用による生産性向上や新ビジネス創出への取組みを支援する拠点として、唐津市DXイノベーションセンターを設置・運営し、相談内容に応じたIT企業等とのマッチング業務や、DX、先進技術に関するセミナー・イベント・人材育成研修等を開催することにより、市内事業者のDXの推進を図った。

ブランド推進では、唐津製品の販売促進・販路拡大のため、生産者団体等で構成する各種協議会へ負担金を支出した。また、新日本プロレスとのコラボ企画による地場製品のPR動画作成、インフルエンサー起用によるSNSへの記事掲載やオンライン連動した首都圏でのイベントを開催するとともに、旬八青果店赤坂店において、首都圏での唐津製品の常設販売やプレゼント企画を実施した。

唐津焼産業振興では、東京ドームで開催された「テーブルウェア・フェスティバル」への唐津焼協同組合の出展を支援したほか、唐津焼窯元マップのリニューアルを実施した。

企業誘致では、新型コロナウイルス感染症の動向を見つつ、企業訪問に加え、佐賀県が出展する展示会へ参加するなど、誘致活動を行うとともに、立地企業に対しても、定期的に訪問し、情報交換やフォローアップを行った結果、立地協定2件を締結することができた。

また、IT関連企業誘致推進業務を実施し、IT関連企業への訪問やWEB面談を行うなど、IT関連企業の誘致に努めた。なお、企業誘致の基盤となる工業団地について管理を行う土地開発公社に係る借入金利息や維持管理経費を負担することにより、適切な維持管理を行った。このほか、立地した企業の投資及び雇用等の実績などに応じて各種補助金の交付を行った。

コスメティック産業では、コスメティック構想を推進するため、推進役を担う産学官連携組織（一社）ジャパン・コスメティックセンター（JCC）の事業運営を支援したほか、立地したコスメ関連企業に対し初期投資費用や雇用実績に応じた補助金の交付を行った。また、地産素材活用と地域活性化を図るためJCC、関係自治体等と連携して化粧品原料開発プロジェクトに着手した。

地域経済を支援する施策としては、中小企業等で構成する組合が行う生産性の向上等の取組みを支援し、経営の下支えのため中小企業等組合活動強化支援補助金の交付を行った。

また、域内の消費喚起及びデジタル化を推進するため、プレミアム付商品券「からふるPay」を発行し、コロナ禍の影響で落ち込んだ経済状況において、約6億円の市内消費を促すとともに、電子版商品券の発行によりキャッシュレス決済の機会増加を図った。

さらに、世界的な原油・原材料の価格高騰の影響で収益が悪化している中小企業者等に対し、中小企業者等燃油・原材料等価格高騰対策助成金を交付することにより、事業者の負担を軽減し、経営安定化と事業継続に寄与した。

### (3) 観光費

コロナ禍前の水準まで宿泊者数を回復させるための支援策として、市内宿泊施設の宿泊予約時に利用できる電子クーポンの発行や募集型企画旅行商品造成に対する助成を行い、宿泊促進につなげた。

また、NPO法人唐津・玄海観光交流社が実施する体験型民泊事業や（一社）唐津観光協会が実施する市の補完的事業等に対し補助を行ったほか、市外からの集客が見込める祭りを実施する各種団体に対して補助を行うとともに、臨時案内所の設置や警備員の配置など祭りの受け入れ体制の充実を図ることができた。

さらには、名護屋城にゆかりのある武将隊を招聘し、特産フェアや現地イベントを開催したことで、通年で人が訪れるきっかけになり、肥前名護屋城跡・陣跡の認知度の向上に寄与した。

このほか、首都圏プロモーションをはじめ、タイアップ企画広告の展開や、情報発信力のあるタレントを起用したSNSによる情報発信など、本市の知名度を向上させるための取組みを行った。

### (4) 観光施設管理費

快適で安全な観光地づくりを推進するため、指定管理者等による観光文化施設の維持運営を行うとともに、緊急を要するものから優先順位をつけて早急な修繕等を実施し、利用者が快適に利用・見学できるよう観光文化施設の管理を行った。

また、佐賀県海岸漂着物地域対策推進事業費補助金を活用し、唐津市内海水浴場の漂着物の回収・処分業務を行ったほか、観光トイレの洋式化工事、唐津城バイク駐車区画の整備、車両誘導系観光サインの整備を行うとともに、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて老朽化した観光施設看板の改修・撤去を実施し、観光客の滞在環境の整備を行った。

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	商工振興課	
事業名	中小企業制度融資資金保証料負担金		予算現額 (円)	34,671,000	決算額 (円)	34,670,672	執行率 (%)	100.0
目的	唐津市制度融資を利用した市内の中小企業者が負担する保証料（1月～12月融資実行分）を市が全額負担することで中小企業者の負担を軽減し、経営の安定化を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>市制度融資の原資3億4,000万円を市内6行に預託し、中小企業への融資の円滑化を図った。また、コロナ禍の資金繰り支援策として令和3年度からの制度拡充を継続した。</p> <p>市制度拡充内容</p> <p>限度額 1,000万円以内（2口）から2,000万円以内（3口）へ引き上げ</p> <p>据置期間 1年以内から2年以内へ延長</p> <p>上記市制度融資利用分として、155件34,670,672円の信用保証料を市が全額負担し、1者あたり約22万3千円の信用保証料の支援を実施した。</p>							
成果等	唐津市制度融資を利用した市内の中小企業者が負担する保証料を市が全額負担することで、市内中小企業者の設備資金・運転資金の借入れの円滑化と経営の安定化が図られた。							

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	商工振興課	
事業名	創業・経営力向上支援事業費		予算現額 (円)	6,334,000	決算額 (円)	6,331,850	執行率 (%)	100.0
目的	創業・経営相談窓口を設置し、また、商工団体が実施する創業セミナーを支援することにより、創業準備者の創業並びに創業初期企業を始めとする中小企業者の経営力向上や新事業展開等のほか、コロナ禍における事業者の課題解決や取組みを支援したもの。							
事業内容及び実績	<p>創業・経営相談窓口の設置 6,031,850円</p> <p>中小企業診断士を配置し、創業や経営改善、新事業展開等に係る相談に応じたもの。</p> <p>相談件数 延べ286件（相談者実数79人） ※前年度実績 延べ323件（相談者実数98人）</p> <p>相談内容 創業相談44件（相談者実数27人）、経営相談242件（相談者実数52人）</p> <p>対応内訳 相談窓口102件、臨時相談145件、外部専門家派遣14件、成長初期企業等訪問25件</p> <p>創業支援セミナー等開催事業費補助金 300,000円</p> <p>補助交付先 唐津商工会議所（唐津東商工会、唐津上場商工会との合同実施）</p> <p>実施概要 5日間で創業に必要な知識を習得するセミナーを開催。受講者33人、修了者29人</p>							
成果等	創業相談窓口の相談者から3人、創業セミナーの受講者から4人の創業者が誕生し、市内事業者の創業や経営安定化に向けた下支えを図ることができた。コロナ禍の収束傾向の影響もあり創業相談等の件数が前年に比べ減少しており、利用者増に向けて周知が課題となった。							

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	商工振興課	
事業名	呼子朝市活性化対策事業費		予算現額 (円)	409,000	決算額 (円)	408,400	執行率 (%)	99.9
目的	呼子朝市通りの活性化のため、朝市学校による新規出店者の創出と、午後のイベントとしての呼子マルシェの開催による賑わいづくりを進めるとともに、魅力ある商業地「呼子」を確立させるため、新たに呼子ナイトマルシェを開催し、夜でも儲かる仕組みづくりや空き店舗の活用を図ったもの。							
事業内容及び実績	呼子朝市新規出店者募集事業（朝市学校2回開催） 受講者4人（第1回2人、第2回2人）						79,400円	
	呼子マルシェ開催事業（5回開催） 出店者数延べ53店、朝市通り来場者数延べ6,300人						138,000円	
	呼子ナイトマルシェ開催事業（3回開催） 出店者数延べ22店、朝市通り来場者数延べ2,400人						191,000円	
成果等	呼子朝市新規出店者募集事業については、現役の朝市出店者を講師として朝市学校を開校し、4人の新規出店希望者が受講し、サポート等を行ったところ、4人全員が出店につながった。 呼子マルシェ開催事業については、年5回開催し約6,300人の来場があり、呼子ナイトマルシェ開催事業については、年3回開催し、約2,400人の来場があった。午後からの滞在コンテンツを充実させることにより、賑わいの創出と満足度の向上を図ることができた。							

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	商工振興課	
事業名	中小企業等DX推進事業費		予算現額 (円)	20,241,000	決算額 (円)	20,157,710	執行率 (%)	99.6
目的	デジタル技術の活用による生産性向上や新ビジネス創出への取組みを支援する拠点を設置、運営し、市内事業者のDXの推進を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容 唐津市DXイノベーションセンターの運営企画及び管理業務						18,142,842円	
	唐津市DXイノベーションセンター占有部分電気料負担金ほか						2,014,868円	
	事業実績 DXイノベーションセンター会員数						179者	
	サポート企業登録数						36者	
	DXセミナー及び研修実施回数						8回	
	相談件数						55件	
	DX着手件数						12件（製造業1、卸小売業5、飲食業4、運輸その他2）	
成果等	地域経済を支える地域企業の活性化に資するため、DXがもたらす新たな経済活動の在り方に対応できる企業等の創出に向けた基盤づくりを支援することができた。							

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	からっブランド・ふるさと寄附推進課			
事業名	唐津産品販路拡大推進事業費		予算現額 (円)	64,435,950	決算額 (円)	64,435,950	執行率 (%)	100.0		
目的	生産者団体や関係事業者等で構成する協議会等と連携し、唐津産品の販売促進・販路拡大を目指したものの。									
事業内容及び実績	新日本プロレスとのコラボによる動画制作など インフルエンサー起用によるSNS等での魅力発信 旬八青果店赤坂店におけるPR企画運営 唐津玄海地区農畜産物ブランド確立協議会ほか3団体への負担金支出						31,798,720円	21,251,230円	5,500,000円	5,886,000円
成果等	新日本プロレスとのコラボによる地場産品PR動画を制作し、総再生回数180万回を記録した。 インフルエンサー起用によるSNSへの記事掲載やオンライン連動した首都圏でのイベントを開催し、総ページ閲覧数30万PV、動画再生回数約5.2万回を記録した。 旬八青果店赤坂店におけるPR企画では、市内25事業者から169品目を仕入れ販売し、首都圏における唐津産品の認知度向上を図った。 各種協議会への負担金支出を通じて唐津産農水産物の販売促進や販路拡大に寄与した。									

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	唐津焼振興室				
事業名	唐津焼産業振興事業費		予算現額 (円)	5,075,060	決算額 (円)	4,486,960	執行率 (%)	88.4			
目的	「肥前窯業圏」活性化推進協議会など、各種協議会と連携を強化し、伝統工芸品である唐津焼の情報発信並びに販路拡大への支援を行ったもの。										
事業内容及び実績	唐津焼曳山像劣化部修復工事 唐津焼産業振興事業補助金 唐津焼マップリニューアル、窯元ホームページ保守管理 肥前窯業圏活性化推進協議会ほか2団体へ負担金支出 その他事務費等（印刷製本費）						2,262,700円	1,000,000円	654,060円	370,000円	200,200円
成果等	経年劣化した「唐津焼曳山像」を修復し、唐津の玄関口に相応しい姿を取り戻すことができた。 唐津焼産業振興事業補助金では、東京ドームで開催された「テーブルウェア・フェスティバル」への唐津焼協同組合の出展を支援することで、唐津焼の認知度向上及び販路拡大に寄与した。 唐津焼マップのリニューアル及び窯元ホームページの保守管理により、唐津焼に関する情報を整理して周知することができた。										

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	企業立地課		
事業名	企業誘致推進費		予算現額 (円)	6,100,000	決算額 (円)	5,090,902	執行率 (%)	83.5	
目的	市内への企業の立地を促進し、雇用の創出及び地域経済の活性化を図るため、誘致活動を実施した もの。								
事業内容及び実績	企業訪問等による情報収集・発信活動 企業訪問件数97件、電話・来庁等43件、WEB会議25件、現地視察来訪7件 IT関連企業誘致推進業務 WEB面談5社（うち現地視察1社） その他事務費等						1,827,617円	2,750,000円	513,285円
成果等	当年度内に、立地協定2件を締結することができ、平成17年以降の累計は42件となった。 ニシハツ(株) 8月23日 事業所移転増設に係る立地協定締結（投資予定50億円、雇用予定14人） (有)河太郎 1月31日 事業所新設に係る立地協定締結（投資予定1億1千万円、雇用予定16人） IT関連企業の誘致に向けて、委託事業者からの紹介を含め39社のIT関連企業への訪問やWEB面談等 を行い、5社の現地視察を受け入れたが、進出には至らなかった。								

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	企業立地課		
事業名	企業立地促進補助金		予算現額 (円)	16,127,878	決算額 (円)	15,311,819	執行率 (%)	94.9	
目的	本市に立地した企業に対し、投資及び雇用等の実績に応じて、補助金を交付したもの。								
事業内容及び実績	唐津市企業立地促進特区指定に係る奨励に関する条例に基づく奨励措置 14,345,523円								
	企業名		交付金額 (円)	補助金内訳 (円)					
	(株)東洋ケミカル		50,819	水道料金補助金 (3年目)				50,819	
	(株)スイケンフーズ		1,336,006	水道料金補助金 (3年目)				1,336,006	
	シフトプラス(株)		198,698	水道料金補助金 (3年目)				198,698	
	ポラテック 西日本(株)		12,760,000	雇用奨励金 (対象人数10人)				5,000,000	
				緑地等整備補助金				7,760,000	
	唐津市企業立地促進条例に基づく奨励措置 966,296円								
	企業名		交付金額 (円)	補助金内訳 (円)					
	(株)ブルーム		367,396	利子補給金 (3年目)				367,396	
東亜製薬(株) (旧東和化粧品(株))		598,900	立地奨励金 (3年目)				598,900		
成果等	立地企業の投資及び雇用の実績に応じた補助金交付により、安定した企業経営と雇用等に向けて支 援することができた。 唐津市企業立地促進特区指定に係る奨励に関する条例に基づく奨励措置対象企業4社の投資額は、 35億7,887万円、新規地元雇用者は173人、唐津市企業立地促進条例に基づく奨励措置対象企業2社 の投資額は2億4,391万円、新規地元雇用者は28人であった。								

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	企業立地課	
事業名	コスメティック産業推進事業費		予算現額 (円)	33,267,000	決算額 (円)	32,947,073	執行率 (%)	99.0
目的	産学官連携組織である一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター（JCC）の事業運営を支援し、また、立地企業への助成を行うことにより、美容健康関連産業の雇用創出及び地域経済の活性化を図ったもの。							
事業内容及び実績	JCCへの運営負担金 20,681,335円 コスメティック産業集積促進補助金 8,550,000円 2社（令和2年度認定事業者） その他事務費等 3,715,738円							
成果等	JCCへの運営支援を行い、地産素材活用商品の販路開拓支援、産学連携によるコスメ環境整備や輸出入支援による国際取引拡大などの事業展開を通じ、コスメティック構想を推進することができた。特に、本市を含む関係自治体及び関係機関との連携により、大手化粧品製造企業との原料開発プロジェクトが始動したことなどは、今後の地域の収益と活性化を生み出す流れへとつながった。認定した立地企業2社に対し、補助対象期間内の設備投資費用や雇用実績に応じて交付する産業集積促進補助を行い、雇用創出及び地域経済の活性化を図った。これまでの市内への立地企業等のうち同補助金を交付した企業数は6社、うち補助対象となった新規地元雇用者数は18人となった。近年は、社会情勢の影響等で進出に慎重となる企業が見受けられたが、コロナが収束してきた今後は、JCC、佐賀県等と更なる連携を図り積極的な誘致活動を行っていく必要がある。							

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	商工振興課	
事業名	中小企業等組合活動強化支援補助金		予算現額 (円)	9,522,000	決算額 (円)	8,796,710	執行率 (%)	92.4
目的	コロナ禍を乗り越えるため、中小企業等で構成する組合が行う生産性向上や経営安定化等の取組みを支援するために補助金を交付したもの。							
事業内容及び実績	補助対象者 主に市内中小企業等により構成され、「中小企業団体の組織に関する法律」等により規定された組合又は組合支部 補助率 2/3（上限額は、組合員数×10万円又は300万円のいずれか低い額） 補助実績 12団体 6,989,000円 申請内容 販路開拓、売上向上、消費喚起活動、DX導入による生産性向上、新商品（新技術）の開発及び経営安定化に資する取組み 事務費等 1,807,710円							
成果等	コロナ禍において、市内の中小企業等で構成する組合が行う組合活動の強化を図る取組みの一部に対し補助金を交付したことにより事業者の負担を軽減し、経営の下支えに寄与した。							

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	商工振興課													
事業名	プレミアム付商品券発行事業費		予算現額 (円)	200,025,000	決算額 (円)	197,711,121	執行率 (%)	98.8												
目的	コロナ禍において、域内の消費喚起及びデジタル化を推進するため、電子商品券及び紙商品券を発行したものの。																			
事業内容及び実績	<p>プレミアム付商品券発行業務 197,691,901円（うちプレミアム原資分119,790,863円）</p> <p>その他事務費等 19,220円</p> <p>商品券発行概要</p> <p>発行総額6億円（プレミアム率25%を含む。）</p> <p>1セット当たり額面5,000円（共通券2,500円、専用券2,500円）を4,000円で販売</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>決済金額</th> <th>利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子版 4億円（8万セット）</td> <td>399,686,319円</td> <td>99.92%</td> </tr> <tr> <td>紙版 2億円（4万セット）</td> <td>199,268,000円</td> <td>99.63%</td> </tr> <tr> <td>合計 6億円（12万セット）</td> <td>598,954,319円</td> <td>99.83%</td> </tr> </tbody> </table>								内訳	決済金額	利用率	電子版 4億円（8万セット）	399,686,319円	99.92%	紙版 2億円（4万セット）	199,268,000円	99.63%	合計 6億円（12万セット）	598,954,319円	99.83%
内訳	決済金額	利用率																		
電子版 4億円（8万セット）	399,686,319円	99.92%																		
紙版 2億円（4万セット）	199,268,000円	99.63%																		
合計 6億円（12万セット）	598,954,319円	99.83%																		
成果等	プレミアム付商品券を発行したことにより、コロナ禍の影響で落ち込んだ経済状況において約6億円の市内消費を促すとともに、電子商品券の発行によりキャッシュレス決済の機会増加を図った。																			

款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	担当所属	商工振興課	
事業名	中小企業者等燃油・原材料等価格高騰対策助成金		予算現額 (円)	110,934,000	決算額 (円)	99,869,641	執行率 (%)	90.0
目的	コロナ禍において、原油・原材料の価格高騰の影響で収益が悪化している中小企業者等に対し、助成金を交付することにより、事業者の負担を軽減し、事業の継続を支援したものの。							
事業内容及び実績	<p>対象事業者 市内に本社・本店を有する中小企業者及び市内在住の個人事業主</p> <p>助成要件 令和4年1月から7月までのうち任意に選択した3か月の仕入額が過去3年のいずれかの年の同期間の仕入額よりも20%以上増加し価格転嫁ができていない事業者であって、佐賀県の「燃油高騰対策緊急支援金」又は「原材料等高騰対応緊急応援金」の交付決定を受けていること。</p> <p>助成額 燃油高騰対策分 1事業者あたり県交付額の1/2相当額（上限額100万円、下限額10万円） 原材料等高騰対応分 1事業者あたり10万円（定額）</p> <p>事業実績 燃油高騰対策分 49件 16,755,000円 原材料等高騰対応分 815件 81,500,000円 合計 864件 98,255,000円</p> <p>その他事務費等 1,614,641円</p>							
成果等	原油・原材料の価格高騰の影響で収益が悪化した中小企業者等に対し助成金を交付したことにより経営の下支えに寄与した。							



款	商工費	項	商工費	目	観光費	担当所属	観光文化課	
事業名	観光地域づくり事業費		予算現額 (円)	71,248,029	決算額 (円)	71,043,628	執行率 (%)	99.7
目的	周遊促進と滞在時間の延長につなげるため、地域資源の活用事業及び集客拠点の形成事業を通して観光客の受入体制等の充実を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>地域資源を活用した観光商品づくり 8,880,000円  体験型民泊事業への補助（民泊受入 21件 2,808人、体験プログラム受入 24件 2,363人）  観光イベントへの助成</p> <p>集客拠点形成事業 7,317,330円  呼子・鎮西エリア等の集客拠点づくり  呼子観光マップ増刷 274,890円  九州オルレ整備ほか 325,060円  イルミネーション設置撤去業務ほか 6,717,380円</p> <p>観光案内所運営事業 54,846,298円  唐津駅総合観光案内所、浜崎駅観光案内所、鎮西町観光案内所、名護屋城跡観光案内所、呼子観光案内所の運営</p> <p>観光動態調査 令和4年速報値 市内宿泊数444,600泊</p>							
成果等	観光客の受入体制の充実を図ったものの、呼子・鎮西エリアと市街地エリアの周遊傾向は低い状況にとどまっており、周遊率の低さが課題となっている。滞在時間の延長につなげるために、周遊率の向上を図っていく必要がある。コロナ禍の影響を受けていた体験型民泊の受入数は、徐々に回復しており、引き続き、事業支援を行っていく。							

款	商工費	項	商工費	目	観光費	担当所属	観光文化課	
事業名	観光市場開拓事業費		予算現額 (円)	1,764,518	決算額 (円)	1,368,043	執行率 (%)	77.5
目的	関係交流人口の創出と拡大を図るため、国内外のターゲット市場に応じたプロモーションを展開したもの。							
事業内容及び実績	<p>国内市場開拓事業 1,223,493円  佐賀・長崎DCキャンペーン観光PRブース出展  佐賀・長崎九州観光機構素材説明会・商談会への参加  2023年度上期下期九州観光素材相談会への参加  プレゼン用タブレット通信回線料ほか</p> <p>国外市場開拓事業 144,550円  九州インバウンド観光商談会への参加</p>							
成果等	西九州新幹線開通に伴う佐賀・長崎DCキャンペーンや訪日外国人受入の再開に伴い、観光PRブースの出展や商談会に積極的に参加したことで、本格的に人流抑制が緩和される時期に向けて、国内外の旅行社や一般の方に向けた観光プロモーションを実施することができた。							

款	商工費	項	商工費	目	観光費	担当所属	観光文化課	
事業名	メディア活用推進費		予算現額 (円)	94,119,000	決算額 (円)	94,051,338	執行率 (%)	99.9
目的	人の流れを創出するプロモーションを目的に、ターゲット層にあった情報発信手法を選択し、唐津の魅力を伝えるとともに、旅先としての認知を高め、集客につなげたもの。							
事業内容及び実績	<p>首都圏プロモーション 69,850,000円</p> <p>カラフルカラツをコンセプトとしたプロモーション</p> <p>特設サイトの開設及びショートムービーの制作</p> <p>特設サイト開設期間 10月24日～3月31日</p> <p>ショートムービー制作 三原色動画4本、カラツパー動画6本</p> <p>再生回数 150万回以上（特設サイト、ANA機内モニター、新橋ドリームビジョン等で放映）</p> <p>メディア露出数 97件（TV1件、新聞2件、WEB94件）</p> <p>広告配信</p> <p>Youtube広告（投稿表示数107万回）、X（旧Twitter）広告（投稿表示数233万回）</p> <p>首都圏在住者向けWEB調査 来訪意向27.5%増加（事前調査38.3%、事後調査65.8%）</p> <p>メディア向けPRイベントの開催</p> <p>メディア来訪数 29媒体40名（ムービー8台、スチール19台）</p> <p>メディア露出数 364件（TV1件、新聞25件、WEB338件）</p> <p>宣伝広告費 16,586,300円</p> <p>タイアップ企画広告やSNS、WEB等による情報発信</p> <p>映画おそ松さんタイアップ企画（TVCM・映画CM広告176本、Instagram広告761,253回ほか）</p> <p>記事掲載 2件（総発行部数32,300部）</p> <p>SNSによる情報発信 2件（総投稿表示数440,031回）</p> <p>香港プロモーション（4市連携、総投稿表示数283,641回、旅行商品造成4社）</p> <p>ANA機内モニター広告（国内線27機、国際線15機 792,545回）ほか</p> <p>負担金ほか 7,615,038円</p> <p>佐賀県関係人口創出チャレンジ事業協議会負担金</p> <p>ロマンシング佐賀クリスマスツリー制作等</p>							
成果等	ターゲット層に応じた広告手法を用いることで、効果的な情報発信につながった。 首都圏プロモーションをはじめ、情報発信力のあるタレントを起用した広告を行ったことにより、情報拡散と来訪意向の増加につながった。							

款	商工費	項	商工費	目	観光費	担当所属	観光文化課															
事業名	祭り振興費		予算現額 (円)	26,865,471	決算額 (円)	26,844,235	執行率 (%)	99.9														
目的	市外からの集客が見込める祭りを実施する各種団体に対して補助を行ったもの。また、観光客向けの受け入れ体制を整備し、誘客促進と関係交流人口の拡大につなげたもの。																					
事業内容及び実績	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:80%;">祭りに対する補助</td> <td style="text-align:right;">10,644,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">唐津くんち、浜崎祇園祭、相知くんち、呼子大綱引</td> </tr> <tr> <td>観光客受入体制の整備等</td> <td style="text-align:right;">16,200,235円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">唐津くんちの観光客受入体制の整備 16,081,435円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">御旅所観覧スペース設置、安全対策・庁舎等警備業務、清掃業務、臨時案内所開設、臨時駐車場開設、仮設トイレ設置等</td> </tr> <tr> <td>相知くんちの観光客受入体制の整備</td> <td style="text-align:right;">118,800円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">警備業務</td> </tr> </table>								祭りに対する補助	10,644,000円	唐津くんち、浜崎祇園祭、相知くんち、呼子大綱引		観光客受入体制の整備等	16,200,235円	唐津くんちの観光客受入体制の整備 16,081,435円		御旅所観覧スペース設置、安全対策・庁舎等警備業務、清掃業務、臨時案内所開設、臨時駐車場開設、仮設トイレ設置等		相知くんちの観光客受入体制の整備	118,800円	警備業務	
祭りに対する補助	10,644,000円																					
唐津くんち、浜崎祇園祭、相知くんち、呼子大綱引																						
観光客受入体制の整備等	16,200,235円																					
唐津くんちの観光客受入体制の整備 16,081,435円																						
御旅所観覧スペース設置、安全対策・庁舎等警備業務、清掃業務、臨時案内所開設、臨時駐車場開設、仮設トイレ設置等																						
相知くんちの観光客受入体制の整備	118,800円																					
警備業務																						
成果等	市外からの集客が見込める祭りを実施する各種団体に補助をすることで、祭りの円滑かつ安全な運営につながった。また、臨時案内所や警備配置など、観光客の受け入れ体制を整備したことで観光客の満足度向上に寄与した。																					

款	商工費	項	商工費	目	観光費	担当所属	観光文化課																															
事業名	(一社)唐津観光協会補助金		予算現額 (円)	17,277,000	決算額 (円)	16,921,000	執行率 (%)	97.9																														
目的	本市の観光情報発信などの補完的事業に携わる(一社)唐津観光協会の事業運営を支援し、観光振興の推進と観光関連団体等との連携強化を図ったもの。																																					
事業内容及び実績	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:80%;">観光地魅力アップ事業</td> <td style="text-align:right;">7,273,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">見帰りの滝を美しくする事業</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">500,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">呼子イカすクリスマス事業</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">333,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">177,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">唐津焼プロジェクト</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">833,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">旅行業プロモーションノベルティ作成</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">100,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">5,330,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事務局運営費</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">9,648,000円</td> <td></td> </tr> </table>								観光地魅力アップ事業	7,273,000円	見帰りの滝を美しくする事業		500,000円		呼子イカすクリスマス事業		333,000円		名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク		177,000円		唐津焼プロジェクト		833,000円		旅行業プロモーションノベルティ作成		100,000円		人件費		5,330,000円		事務局運営費		9,648,000円	
観光地魅力アップ事業	7,273,000円																																					
見帰りの滝を美しくする事業																																						
500,000円																																						
呼子イカすクリスマス事業																																						
333,000円																																						
名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク																																						
177,000円																																						
唐津焼プロジェクト																																						
833,000円																																						
旅行業プロモーションノベルティ作成																																						
100,000円																																						
人件費																																						
5,330,000円																																						
事務局運営費																																						
9,648,000円																																						
成果等	観光資源の活用や市の補完的事業を中心に、観光振興への取組みを実施された。観光関係団体等との連携をさらに強化していくためにも、引き続き、唐津観光協会の事業運営に対して支援を行っていく必要がある。																																					

款	商工費	項	商工費	目	観光費	担当所属	肥前名護屋城室	
事業名	肥前名護屋城活用推進費		予算現額 (円)	25,483,000	決算額 (円)	24,409,624	執行率 (%)	95.8
目的	地域の歴史や文化、祭りを織り交ぜながら名護屋城跡及び陣跡をより一層魅力的な文化・観光資源の拠点として活用を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>機運醸成の仕掛けづくり 9,021,450円  はじまりの呼子大綱引演出、電動自転車導入、幟旗・陣幕等制作、各種ノベルティ制作、広告掲載（WEB、SNS、紙面）ほか</p> <p>企画催事等 10,232,250円</p> <p>サムライ合戦全国大会の開催 期間 7月30日～31日 参加人数 174人 1,324,620円</p> <p>謎解きイベントの開催 期間 7月31日～8月31日 参加人数 1,300人 3,147,100円</p> <p>お城フェス（大阪）出展 期間 8月12日～14日 来場者数 7,145人 351,720円</p> <p>お城EXPO（横浜）出展 期間 12月17日～18日 来場者数 14,994人 886,520円</p> <p>名護屋城薪能跡への補助 開催日 令和5年3月25日 観覧者数 554人 4,522,290円</p> <p>ゆかりの地との連携 5,155,924円</p> <p>特産品フェアの開催 期間 6月4日～11月16日 連携地 熊本、鹿児島、愛知、長野</p> <p>武将隊の招聘 招聘数 5武将隊</p>							
成果等	肥前名護屋城にゆかりのある武将隊を招聘し、特産フェアなどの現地イベントを開催したことで、通年で肥前名護屋城跡及び陣跡を訪れる機会を増やすことができた。また、小学生を対象としたサムライ合戦全国大会等を開催できたことで、地域の機運醸成に寄与したとともに、名護屋城跡及び陣跡を文化・観光資源の拠点として活用し、PRすることができた。							

款	商工費	項	商工費	目	観光費	担当所属	観光文化課	
事業名	宿泊促進事業費		予算現額 (円)	64,115,000	決算額 (円)	60,727,804	執行率 (%)	94.7
目的	宿泊促進につなげるための旅行者向け電子クーポンの発行や旅行会社向けの助成を行ったもの。							
事業内容及び実績	電子クーポン発行事業（発行期間 令和4年7月1日から令和5年1月30日まで） 52,844,000円							
	宿泊予約サイトに唐津の特設ページを開設し、市内宿泊施設で利用できる電子クーポンを発行							
	クーポン額面				発行枚数	延べ宿泊数	流通額（宿泊費）	
	2,000円(1名以上かつ1万円以上の予約の場合)				5,164枚	10,929泊	119,356,411円	
	4,000円(2名以上かつ2万円以上の予約の場合)				7,549枚	20,170泊	310,903,842円	
合計				12,713枚	31,099泊	430,260,253円		
募集型企画商品造成促進事業（実施期間 令和4年4月29日から令和5年2月28日まで） 4,010,000円								
募集型企画商品を造成した旅行会社の送客実績に応じた助成								
助成概要				商品数	助成額	宿泊数	宿泊費換算	
送客1人あたり1,000円 1企画商品当たり上限30万円（300人泊分）				41商品	3,603,000円	3,603泊	43,980,000円	
諸経費						3,873,804円		
成果等	電子クーポンの発行により宿泊促進が図られ、事業費の約8倍となる宿泊費が創出された。 また、助成により募集型旅行商品41プランが造成されたほか、宿泊予約サイトの特設ページで唐津を紹介したことによる広告効果も得られた。しかしながら、宿泊数についてはコロナ禍前の水準まで回復しておらず、継続した支援策が必要である。							

款	商工費	項	商工費	目	観光施設管理費	担当所属	行政改革課			
事業名	観光施設等管理費（市民センター地域振興分）		予算現額（円）	5,800,000	決算額（円）	5,512,100	執行率（%）	95.0		
目的	地域住民の生活や活動に密着した要望、課題等に対し、市民センターにおいて、緊急性と必要性から迅速に対応できるよう予算措置を行い、地域の振興を図ったもの。									
事業内容及び実績	観光施設の修繕、樹木剪定、案内表示看板作成等									
	（単位 円）									
		浜玉	巖木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計
	施設修繕料	381,700 (5件)	1,463,770 (8件)			126,500 (1件)	78,650 (2件)	465,850 (6件)	987,800 (4件)	3,504,270 (26件)
	手数料	11,000 (1件)				30,250 (1件)				41,250 (2件)
	委託料	286,000 (1件)	68,200 (1件)	382,580 (2件)		220,000 (1件)				956,780 (5件)
	工事請負費	167,200 (1件)	267,300 (1件)		198,000 (1件)	121,000 (1件)	256,300 (1件)			1,009,800 (5件)
計	845,900 (8件)	1,799,270 (10件)	382,580 (2件)	198,000 (1件)	497,750 (4件)	334,950 (3件)	465,850 (6件)	987,800 (4件)	5,512,100 (38件)	
成果等	地域住民の生活や活動に密着した要望、課題等に対して、市民センターにおいて迅速に対応でき、観光施設における課題に早期対応したことで、地域振興につながった。									

款	商工費	項	商工費	目	観光施設管理費	担当所属	観光文化施設課	
事業名	快適な滞在環境整備費		予算現額（円）	28,110,000	決算額（円）	27,271,200	執行率（%）	97.0
目的	観光客の受入環境を整備し、利便性を向上させることで、誘客促進につなげたもの。							
事業内容及び実績	唐津城バイク駐車区画整備 5,414,200円 東城内駐車場内にバイク専用駐車区画を整備 観光トイレ洋式化改修事業 21,857,000円 市内各地のトイレ33箇所57基の洋式化							
成果等	令和3年度に引き続き、観光トイレの洋式化改修を行ったほか、東城内駐車場内にバイク専用駐車区画を整備したことにより、観光地における観光客の受け入れ体制が強化された。							

款	商工費	項	商工費	目	観光施設管理費	担当所属	観光文化施設課	
事業名	旧大島邸管理運営費		予算現額 (円)	18,313,052	決算額 (円)	18,313,052	執行率 (%)	100.0
目的	旧大島邸の利用者及び入館者が快適に利用、入館できるよう施設の管理運営を行ったもの。また、旧大島邸の利活用の幅を広げるため、利活用促進業務を実施したもの。							
事業内容及び実績	施設維持管理費 15,313,052円 旧大島邸利活用促進業務 3,000,000円 旧大島邸と文化資源が連携した宿泊事業 着物の着付け、観光名所の周遊、宿泊体験 期間 12月20日～21日 参加人数 2名 着物の着付け、観光名所の周遊、茶道体験、窯元めぐり、宿泊体験 期間 令和5年1月30日～31日 参加人数 2名 着物の着付け、観光名所の周遊、茶道体験、陶芸体験、宿泊体験 期間 令和5年2月24日～25日 参加人数 2名 旧大島邸利活用懇話会から発案された利活用イベントの企画実施 訪日外国人を対象にした着物でのまち歩きと日本文化体験イベントの開催 開催日 令和5年1月30日 参加人数 6名（福岡県内の留学生）							
成果等	旧大島邸の適切な管理運営を行った。 旧大島邸利活用促進業務委託により、今後の利活用策の検討と実証を行い、宿泊事業を実施するうえでの浴室の整備、洗面所の改修、宿泊部屋の鍵設置や、旅館業許可の取得や宿泊モデル構築の必要性など、ハード・ソフト両面における課題の洗い出しを行った。							

## 8 土 木 費

### (1) 道路橋りょう費

道路整備では、国の補助事業である社会資本整備総合交付金等を財源に、道路の改良・舗装補修や法面対策及び橋りょうの調査設計や補修を実施した。

また、通学路の安全確保のための点検を行い、対策事業を実施した。

さらに、市民生活に密着した道路等の整備として、市道の街路樹剪定や草刈り、道路照明灯のLED化をはじめ、地元が実施する防犯灯の設置等に対する補助金を交付するなど生活基盤の整備を図った。

交通安全対策では、交通安全のより一層の推進を図るため、交通安全思想の啓発と高揚に努めるとともに、交通安全対策特別交付金事業として、反射鏡、防護柵及びその他交通安全施設の整備を行い事故等の未然防止に努めた。

### (2) 河川費

河川の水閘門の操作管理等を地元へ委託し適切な運転に努めたほか、排水ポンプ場の管理点検を実施するとともに、排水路の不良箇所の整備を行った。

排水路整備事業では、崩壊の恐れのある護岸の改修工事を行うとともに、河川断面を確保することにより、住民生活の安定を図った。

河川維持費については、河川内に堆積している土砂及び草木等の除去を行い、流過能力を良好な状態にすることにより、住民生活の安定を図った。

また、急傾斜地崩壊防止事業では、崩壊の危険がある浦地区で工事を施工し災害の防止を図り、隣接する住民生活の安全確保に努めた。

### (3) 港湾費

唐津港への貨物船、観光客船等の寄港誘致促進に努め、同港の振興と活性化を図る一方、港湾整備事業を促進するための国や県等との連絡調整及び情報交換等を行った。

市民参加によるみなとまちづくりや「みなとオアシス」を中心とした港の賑わいづくりを推進するため、海辺の資源を活用した賑わいづくりを担う団体への支援を行った。

寄港誘致のためのポートセールスとして旅行社、代理店と面談し意見交換を行ったほか、クルーズポート・セミナーに参加しクルーズ船寄港の動向など情報収集を行った。

唐津港や呼子港、星賀港、仮屋港の港湾施設のほか、呼子台場みなとプラザの管理を行うとともに、唐津みなと交流センター、臨港駐車場（呼子）については、利用者へのサービス向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者による管理運営を行った。

### (4) 都市計画費

公園管理費では、唐津城石垣再築整備Ⅱ期（2工区）事業において、令和元年度から令和5年度までの5か年の継続費を設定しており、令和4年度は、継続費4年度分として、石垣基礎地盤の改良、法面補強及び石垣の一部修復・復元工事を実施した。

市内289箇所の児童公園、児童遊園及び都市緑地等の安全で快適な利用を図るため、公園施設の更新、既存公園の維持管理などを行った。玄海国定公園（鏡山・セツ釜）は、県からの委託を受けて維持管理を行った。

緑花推進費では、「街に緑を窓辺に花を」をキャッチフレーズに緑豊かで快適な花いっぱいのもちづくりのため、緑花を推進した。



**(5) 住宅費**

市営住宅の管理については、随時、施設改善・補修等を行い、適正な維持管理に努めた。令和4年度は、老朽化が著しい危険な住宅の解体工事等を行い、住環境の改善と安全性の確保に努めた。

住宅・建築物耐震診断事業では、申請者による診断業者の選定が不要となる耐震診断派遣事業を実施し、申請者の負担を軽減することで、より一層の耐震化促進を図った。

また、住宅移転事業では、災害危険区域内にある住宅を安全な場所に移転する者に対し補助を実施し、住民の生命の安全確保に努めた。

**(6) 都市下水路費**

生活排水の滞水解消及び雨水排水による浸水防止等、生活環境の改善を図るため、公共下水道事業認可区域内外における雨水幹線及び都市下水路の浚渫を行った。

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	道路維持改良費（市民センター地域振興分を除く）		予算現額（円）	422,369,427	決算額（円）	323,940,646	執行率（%）	76.7
目的	道路及び市道橋りょうを常時良好な状態に保つよう維持修繕・改良整備を行うことで、市民生活の基盤である市道の事故防止と生活環境の改善を図ったもの。さらに、市道の街路樹剪定や草刈・側溝清掃等を実施し、適正な維持管理と通行者の安全性の確保に努めたもの。							
事業内容及び実績	<p>道路補修工事（舗装工事、側溝新設工事等） 132,057,300 円</p> <p>私道舗装助成金 1件（カーブミラー） 100,000 円</p> <p>草刈り等管理業務、清掃業務、動物死骸等収集運搬業務、除雪業務、昇降機保守点検</p> <p>用地測量業務等 96,881,474 円</p> <p>舗装、側溝補修ほか 70,017,750 円</p> <p>事務費等 24,884,122 円</p>							
成果等	<p>要望による側溝の新設、舗装工事等を行い、安全な通行の確保と生活環境の改善ができた。</p> <p>また、市民生活に密着した道路等の整備として、市道の街路樹剪定や草刈・側溝清掃をはじめ、地元が実施するカーブミラー設置に対する助成金を交付するなど、市民生活の環境改善を図った。</p> <p>なお、96,690,000円を令和5年度に繰り越した。</p>							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費	担当所属	行政改革課																																																													
事業名	道路維持改良費（市民センター地域振興分）		予算現額（円）	3,450,000	決算額（円）	3,375,240	執行率（%）	97.8																																																												
目的	地域住民の生活や活動に密着した要望、課題等に対し、市民センターにおいて、緊急性と必要性から迅速に対応できるよう予算措置を行い、地域の振興を図ったもの。																																																																			
事業内容及び実績	<p>市道舗装補修、側溝改良、樹木伐採、草刈等</p> <p style="text-align: right;">（単位 円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜玉</th> <th>巖木</th> <th>相知</th> <th>北波多</th> <th>肥前</th> <th>鎮西</th> <th>呼子</th> <th>七山</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>133,650 (1件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>133,650 (1件)</td> </tr> <tr> <td>施設修繕料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40,700 (1件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40,700 (1件)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>138,600 (1件)</td> <td>624,690 (2件)</td> <td>1,084,600 (3件)</td> <td>445,500 (1件)</td> <td></td> <td>2,293,390 (7件)</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>484,000 (1件)</td> <td></td> <td></td> <td>423,500 (2件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>907,500 (3件)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>484,000 (1件)</td> <td></td> <td></td> <td>562,100 (3件)</td> <td>799,040 (4件)</td> <td>1,084,600 (3件)</td> <td>445,500 (1件)</td> <td></td> <td>3,375,240 (12件)</td> </tr> </tbody> </table>									浜玉	巖木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計	消耗品費					133,650 (1件)				133,650 (1件)	施設修繕料					40,700 (1件)				40,700 (1件)	委託料				138,600 (1件)	624,690 (2件)	1,084,600 (3件)	445,500 (1件)		2,293,390 (7件)	工事請負費	484,000 (1件)			423,500 (2件)					907,500 (3件)	計	484,000 (1件)			562,100 (3件)	799,040 (4件)	1,084,600 (3件)	445,500 (1件)		3,375,240 (12件)
	浜玉	巖木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計																																																											
消耗品費					133,650 (1件)				133,650 (1件)																																																											
施設修繕料					40,700 (1件)				40,700 (1件)																																																											
委託料				138,600 (1件)	624,690 (2件)	1,084,600 (3件)	445,500 (1件)		2,293,390 (7件)																																																											
工事請負費	484,000 (1件)			423,500 (2件)					907,500 (3件)																																																											
計	484,000 (1件)			562,100 (3件)	799,040 (4件)	1,084,600 (3件)	445,500 (1件)		3,375,240 (12件)																																																											
成果等	地域住民の生活や活動に密着した要望や課題等に対して、市民センターにおいて迅速に対応することができた。																																																																			

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	道路照明管理費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	62,169,563 57,403,000	決算額 (円)	59,622,631 54,815,579	執行率 (%)	95.9 95.5
目的	市民の安全・安心な暮らしを守るため、道路照明灯の維持管理や各地区が設置する防犯灯に対する補助を実施し、明るいまちづくりの構築を図ったもの。また、老朽化した照明灯をLED照明に更新することにより、消費電力の低減及び地域防犯の確立による市民の安全・安心を推進したもの。							
事業内容及び実績	<p>市管理道路照明灯のLED化、地区管理防犯灯の新設に対して補助を行った。</p> <p>事業内容（現年度分）</p> <p>道路照明灯取替工事 5,432,471 円 10W未満(蛍光灯20W相当) 37基、20W未満(蛍光灯CT42W相当) 44基、20W以上 16基</p> <p>防犯灯設置補助金 3,408,305 円</p> <p>電気料 45,920,068 円</p> <p>道路照明灯修繕等 4,861,787 円</p> <p>事業内容（繰越明許分）</p> <p>道路照明灯取替工事 54,776,579 円 10W未満(蛍光灯20W相当) 299基、20W未満(蛍光灯CT42W相当) 325基、20W以上 267基</p> <p>事務費 39,000 円</p>							
成果等	照明灯の適切な維持管理により、周囲の安全性を確保した。 また、既存照明灯のLED化を進め、消費電力の低減等、長期的な視点でコストの抑制を図った。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	長谷本村線道路改良費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	89,382,000	決算額 (円)	89,076,500	執行率 (%)	99.7
目的	本路線は唐津赤十字病院にアクセスし、国道204号和多田本村交差点へと抜ける道路の整備であり、地域の核となる学校、駅などの公共施設へのアクセス道路、避難道路として整備することにより、住民の利便性向上及び安全性の確保を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業年度 平成25年度から令和4年度まで</p> <p>事業内容</p> <p>道路改良工事 L=397.5m 89,076,500 円</p>							
成果等	成和公民館前の歩道整備に伴う道路改良工事が完了したことで、唐津赤十字病院までの円滑な通行が確保され、利便性が向上した。 また、歩道の整備により、地域住民の通行や児童通学路としての安全性が確保された。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	唐津駅旭が丘線道路改良費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	51,201,000	決算額 (円)	51,068,950	執行率 (%)	99.7
目的	本路線は市の中心部に位置し、唐津駅と市街地南部を結ぶ重要な幹線道路であり、西九州自動車道千々賀山田インターから中心市街地へのアクセスルートでもあるため交通量も増加しているが、歩道の段差が大きく一部未整備の箇所もあるため、歩道の新設と改良を行い、交通の円滑化及び安全性の確保を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成24年度から令和8年度まで 事業内容 道路改良工事 L=140.0m 45,422,300 円 用地測量・地質調査業務等 5,177,700 円 用地買収 A=10.15㎡ 456,750 円 事務費 12,200 円							
成果等	道路改良の支障となる用地契約を締結し、その箇所も含めた道路改良を行い、事業の進捗を図った。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	西ノ門線道路改良費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	9,186,000 28,290,000	決算額 (円)	7,998,100 27,471,400	執行率 (%)	87.1 97.1
目的	本路線は、市街地中心部の西城内に位置し、複数の公的施設や民間施設を連結する重要な連絡道路であるが、老朽化による側溝の段差や排水不良により、通行に支障をきたしている状況であった。このため、令和3年度から実施された水道管の更新事業に合わせ道路の改良を行い、道路通行の安全性の確保を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和3年度から令和4年度まで 事業内容（現年度分） 道路改良工事 L=57.8m 7,998,100 円 事業内容（繰越明許分） 道路改良工事 L=264.0m 27,471,400 円							
成果等	本年度で工事が完了し、側溝の段差や排水不良が解消されたことにより、道路利用者の利便性向上と生活区間の安全性の確保が図られた。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	石原線道路改良費		予算現額 (円)	6,800,000	決算額 (円)	5,824,500	執行率 (%)	85.7
目的	本路線は、県道七山巖木線と牧瀬地区や旭ヶ丘地区を結ぶ生活道路であり、通学路や避難経路としての役割を担っている。しかし、幅員が狭小で車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしているため、道路の拡幅改良を行い、地域住民等の安全性の確保並びに防災力強化を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成29年度から令和6年度まで 事業内容 用地測量・補償調査算定業務 5,824,500 円							
成果等	令和5年度用地買収予定箇所の用地測量及び補償算定業務を行い、事業の進捗を図った。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	天徳の丘公園2号線道路改良費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	10,465,000 46,543,000	決算額 (円)	3,166,540 44,060,765	執行率 (%)	30.3 94.7
目的	本路線は、通学路としても利用されているが、相知小学校から相知中央線までの区間が未整備であり幅員が狭小で車両の離合も出来ない状況であるため、拡幅改良を実施することにより、生徒の安全性を確保し周辺地区の振興を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成23年度から令和7年度まで 事業内容（現年度分） 道路改良工事 L=35.0m 2,059,000 円 排水管設計業務 1,089,000 円 事務費 18,540 円 事業内容（繰越明許分） 道路改良工事 L=52.1m 19,123,500 円 管渠基礎設計・床版設計業務等 6,198,500 円 踏切下排水管詳細設計負担金 18,733,765 円 事務費 5,000 円							
成果等	踏切前後の取付改良工事と歩道拡幅に伴う既設床版使用による耐力照査を実施し、工事の進捗を図った。また、九州旅客鉄道(株)が実施する踏切改良に必要な詳細設計業務に係る負担金を負担した。なお、7,144,000円を令和5年度に繰り越した。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	上ヶ倉線道路改良費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	41,960,000	決算額 (円)	38,639,750	執行率 (%)	92.1
目的	本路線は、周辺住民が通学・通勤にも利用する生活基盤道路であるが、幅員が狭小で通行に支障をきたしていたため、道路の整備を実施し、住民生活の利便性向上を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成24年度から令和4年度まで 事業内容 道路改良工事 L=161.0m 38,155,700 円 伐採業務 471,900 円 事務費 12,150 円							
成果等	未改良区間の道路改良を実施し、本路線の工事が完了した。 狭小区間の解消により、通行車両や地域住民の安全性を確保しつつ、利便性が向上した。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	呼子町内線道路改良費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	10,435,100 20,930,000	決算額 (円)	9,533,100 20,788,100	執行率 (%)	91.4 99.3
目的	本路線は、全国各地から観光客が訪れる呼子朝市通りとして多数の歩行者が往来する主要な観光路線であるが、近年舗装の老朽化や側溝の通水不良が発生しているため、道路の改良を行い、観光拠点としての風情ある通りの維持を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和3年度から令和5年度まで 事業内容（現年度分） 道路改良工事 L=25.0m 9,505,100 円 事務費 28,000 円 事業内容（繰越明許分） 道路改良工事 L=55.5m 20,758,100 円 事務費 30,000 円							
成果等	呼子朝市通りでの街並みに配慮した道路改良を行うことで、周辺の景観を損なうことなく側溝整備及び舗装工事を実施した。 なお、902,000円を令和5年度に繰り越した。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	樽門藤川仁部線道路改良費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	56,778,000	決算額 (円)	56,676,900	執行率 (%)	99.8
目的	本路線は、国道323号と県道七山巖木線を結ぶ生活道路であるが、幅員が狭小であることに加えて、国道への鋭角交差による視距不良で度々交通事故が発生していた。そのため、交差点の改良や拡幅改良を実施することで安全・安心な通行の確保を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成25年度から令和4年度まで 事業内容 道路改良工事 L=149.6m 56,564,000 円 物件移転補償 N=1件 112,900 円							
成果等	未改良区間の道路改良を実施したことで、本路線の整備が完了した。 交差点の改良や道路拡幅により、道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上が図られた。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	橋りょう長寿命化事業費		予算現額 (円)	313,268,000	決算額 (円)	311,245,079	執行率 (%)	99.4
目的	市道橋梁を常時良好な状態に保つために、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、従来の事後的な修繕及び架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへの円滑な政策転換を図り、その費用の縮減を図りつつ地域の道路網の安全性・信頼性の確保を図ったもの。							
事業内容及び実績	補修工事 35橋 267,043,700 円 (うち施設修繕料6,182,000 円) 委託料 39,894,800 円 橋梁定期点検等 182橋 設計及び計画策定業務 3橋 支障木伐採 2橋 事務費 4,306,579 円							
成果等	損傷が著しく、通行に危険を伴う橋梁の補修工事を行うことで地域道路網の安全性を確保できた。 また、補修工事を行うことで、橋梁を延命させ、当面の架替費用を軽減し、将来的に必要となる架替工事を含めた維持管理用の平準化を図ることができた。今回が2巡目となる定期点検についても、前回点検時の状況に比べ、劣化が進行している橋梁を確認することができ、早期対応を検討することができた。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	交通ユニバーサルデザイン 化事業費（繰越明許分）		予算現額 (円)	29,320,000	決算額 (円)	29,189,600	執行率 (%)	99.6
目的	「唐津市交通バリアフリー基本構想」に基づき設定された重点整備地区内の市道（歩道）をすべての人々が平等及び公平に利用できるよう整備することにより、歩行者の安全性の確保及び市民の利便性の向上を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容 道路改良工事 L=664.1m 29,189,600 円 （唐津駅前東新興町線 L=406.8m、千代田町町田線 L=257.3m）							
成果等	唐津駅周辺地区の唐津駅前東新興町線及び千代田町町田線において、弱視にも配慮した点字ブロックを設置し、誰もが使いやすい歩行空間の整備を行った。							

款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	道路舗装改良費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	64,625,000 63,000,000	決算額 (円)	62,784,700 60,816,800	執行率 (%)	97.2 96.5
目的	老朽化した道路の舗装補修や舗装改良を実施することにより、地域住民の日常生活の利便性や安全性の向上を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分） 舗装個別施設計画に基づく舗装補修 道路改良工事 L=550.0m 20,014,500 円 道路舗装工事 L=520.8m 42,770,200 円 （山本双水線、山本石志線、山田竹木場線） 事業内容（繰越明許分） 道路舗装工事 L=784.6m 60,816,800 円 （山本双水線、山本石志線、山田竹木場線、坊主町海水浴場線）							
成果等	舗装個別施設計画に基づく舗装補修工事や防災・安全交付金を活用した舗装補修工事を実施し、安全で快適な路面性状の回復を図ることができた。							



款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	こどもを守る通学路づくり事業費（繰越明許分）		予算現額 (円)	25,196,000	決算額 (円)	24,574,000	執行率 (%)	97.5
目的	唐津市通学路交通安全プログラムに基づき、要対策となった箇所について、カラー舗装、外側線、反射鏡の設置等の対策を実施し、通学路における児童等の安全性の確保を図ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容</p> <p>道路改良工事等 1,782,000 円</p> <p>久里小学校線 舗装工事 A=21.0㎡</p> <p>山田竹木場線 舗装工事 A=30.0㎡</p> <p>中組線ほか車線分離標、反射鏡等設置工事</p> <p>路面標示業務 22,792,000 円</p> <p>外側線設置 L=9,178.0m</p> <p>カラー舗装 A=1,129.0㎡</p>							
成果等	通学路合同点検に基づき、小学校の通学路危険箇所の対策工事として、外側線等の設置を行い、通学路における児童等の安全性を確保した。							

款	土木費	項	河川費	目	河川改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	排水路整備費（現年度分・繰越明許分）		予算現額 (円)	147,000,000 30,970,000	決算額 (円)	109,066,173 30,771,100	執行率 (%)	74.2 99.4
目的	排水不良の河川及び排水路を整備することにより、市民生活の安全性の確保を図るもの。							
事業内容及び実績	<p>事業内容（現年度分）</p> <p>排水路整備工事（14河川） 護岸 L=492.9m 108,457,900 円</p> <p>河内山川、西郷川、小森川、下戸川、ざめき川、跡打川、小山田川、松尾川、星領川 浦山川、浦田川、集り川、早田川、蟹川川</p> <p>物件移転補償 N=1件 608,273 円</p> <p>事業内容（繰越明許分）</p> <p>排水路整備工事（6河川） 護岸 L=135.5m 30,771,100 円</p> <p>平尾川、跡打川、銅金谷川、天川川、星領川、袋底川</p>							
成果等	排水路の整備をすることにより、近隣の住宅や公共物の水害による被害を防止することができた。なお、37,933,000円を令和5年度に繰り越した。							

款	土木費	項	河川費	目	河川改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	河川維持費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	19,353,000 25,307,000	決算額 (円)	16,016,684 16,840,800	執行率 (%)	82.8 66.5
目的	河川及び排水路の流過能力を良好な状態に維持するため、施設保持及び補修を実施し、災害の防止を図ったもの。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分） 護岸整備・浚渫工事ほか 12,265,000 円 用地測量・登記資料作成業務 979,000 円 排水ポンプ場電気工作物保安管理業務 554,400 円 排水ポンプ場運転管理・点検業務 431,750 円 ポンプ場管理費（電気・水道料ほか） 1,786,534 円 事業内容（繰越明許分） 浚渫工事 16,840,800 円							
成果等	排水不良の河川等の機能を増大させることにより、地域住民の安全性を確保し、地域の均衡ある発展に寄与した。							

款	土木費	項	河川費	目	河川改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	急傾斜地崩壊防止事業費 (繰越明許分)		予算現額 (円)	2,000,000	決算額 (円)	1,804,000	執行率 (%)	90.2
目的	急傾斜地の崩壊による災害から未然に人命を守るため、危険度が高く災害に直結する恐れのある箇所について崩壊防止工事・復旧工事を実施したもの。							
事業内容及び実績	事業内容 急傾斜地崩壊防止・復旧工事 1,804,000 円 浦黒崎2地区							
成果等	被災法面における擁壁背面の崩土除去・崩壊面の植生を実施し、周辺住民の安全性の確保及び急傾斜地の保全を図った。							

款	土木費	項	河川費	目	河川改良費	担当所属	道路河川管理課	
事業名	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業費（繰越明許分）		予算現額 (円)	55,000,000	決算額 (円)	7,035,600	執行率 (%)	12.8
目的	激甚災害に伴いがけ地において発生した崩壊等の箇所について、がけ崩れ防止工事を行うことで再度の災害を防止し、民生の安定を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容 測量設計業務 7,035,600円 浦江頭6地区、北波多上平野1地区							
成果等	がけ崩れ防止工事に向けた測量設計を行い、工事を発注した。その後、地権者との協議や調整に不測の日数を要したことや、新たな湧水箇所が判明する等、避けがたい事故が発生したため、47,960,000円を令和5年度に繰り越した。							

款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費	担当所属	都市計画課	
事業名	浜崎駅南口周辺地域雨水対策調査費		予算現額 (円)	8,074,000	決算額 (円)	7,986,000	執行率 (%)	98.9
目的	令和元年度に実施した浜崎駅南口周辺の現況土地利用シミュレーションに、水田が宅地化されたパターンを追加し、雨水対策案の検討を行ったもの。							
事業内容及び実績	浜崎駅南口周辺地域雨水対策検討業務 7,986,000円							
成果等	浜崎駅南口周辺の河川や農業用水路並びに既存の浜玉排水機場による雨水排水の現状と浸水原因の分析結果を用いて、将来的に宅地化が進行し、農地の湛水機能が減少した場合の浸水シミュレーションを行い、県河川も含めた流域全体に関する対策案の検討を行った。							

款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費	担当所属	都市計画課	
事業名	景観まちづくり推進費		予算現額 (円)	38,286,000	決算額 (円)	37,206,250	執行率 (%)	97.2
目的	景観重点区域に指定した城内地区、曳山通りにおける景観まちづくりの推進のため、推奨ルールへの取組みに対する支援等を行ったほか、景観重要公共施設について、美装化工事を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>景観まちづくり推進事業補助金 1,495,000円</p> <p>景観まちづくり専門家会議の開催等 65,750円</p> <p>第1回唐津市景観まちづくり専門家会議（令和4年5月6日開催）</p> <p>【内容】城内地区、曳山通り公共施設景観ガイドラインの概要について</p> <p>景観計画に基づく美装化工事</p> <p>市道埋門海水浴場線舗装改良工事 17,649,500円</p> <p>市道千代田町二ノ門線舗装改良工事 14,561,800円</p> <p>市道木綿町材木町線木塀改修工事 3,434,200円</p>							
成果等	景観まちづくり推進事業補助金は、景観重点区域内の家屋の屋根、外壁、外構、軒について2件、笹垣について2件の助成を行い、城内地区、曳山通りの景観を保全した。 また、景観重要公共施設に指定されている3路線について、美装化工事を行ったことで、本市が持つ優れた景観を活用したまちづくりを進めることができた。							

款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費	担当所属	都市計画課	
事業名	唐津都市計画見直し事業費		予算現額 (円)	12,532,908	決算額 (円)	11,811,790	執行率 (%)	94.2
目的	策定後10年が経過した唐津市都市計画マスタープランの更新を行い、併せて立地適正化計画を策定するもの。							
事業内容及び実績	<p>唐津市都市計画マスタープラン更新及び立地適正化計画策定業務 11,220,000円</p> <p>唐津市準防火地域の都市計画変更図書作成支援業務 453,200円</p> <p>事務費等 138,590円</p> <p>都市計画マスタープラン</p> <p>現状分析、住民意向把握、基本構想の検討、全体構想の更新</p> <p>立地適正化計画</p> <p>都市の課題抽出、災害リスク分析と課題抽出</p> <p>共通項目</p> <p>庁内策定部会、策定委員会の開催、都市計画審議会での報告</p>							
成果等	都市計画における土地利用方針や都市施設の見直しを行うことで、居住環境を保護しながら、商工業の利便性を促進し、良好な都市環境の維持改善を行い、持続可能な市の運営に寄与することができた。							

款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費	担当所属	都市計画課	
事業名	市道明神線無電柱化事業費 (現年度分・繰越明許分)		予算現額 (円)	12,985,000 40,414,000	決算額 (円)	12,165,477 35,489,578	執行率 (%)	93.7 87.8
目的	防災面の向上及び安全性や快適性の確保、良好な景観形成を図るため、市道明神線の無電柱化を行うもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和元年度～令和6年度 総事業費 372,371千円 事業内容 電線共同溝設置工事 (現年度分)5,173,837円 (繰越明許分)24,248,963円 電線共同溝設置に伴う負担金 (現年度分)2,758,669円 (繰越明許分)8,400,700円 電線共同溝設置により生じた電線類の移設等の補償金 (現年度分)3,747,003円 (繰越明許分)2,323,305円 用地測量業務 (繰越明許分)495,000円 事務費等 (現年度分)485,968円 (繰越明許分)21,610円							
成果等	電線共同溝設置工事を行うことで、市道明神線無電柱化の進捗を図った。							

款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費	担当所属	都市計画課	
事業名	宅地耐震化推進事業費		予算現額 (円)	6,300,000	決算額 (円)	6,189,700	執行率 (%)	98.2
目的	大地震等が発生した場合に、大きな被害が生じるおそれのある大規模盛土造成地について、国が示すロードマップに従い、盛土診断後に地盤調査の計画を策定したものの。							
事業内容及び実績	大規模盛土造成地変動予測調査(第二次スクリーニング計画)業務 6,189,700円							
成果等	市内32箇所の大規模盛土造成地を調査したことで、31箇所を経過観察、1箇所を詳細な地盤調査が必要であることを確認することができ、各造成地での適切な対応策を検討することができた。							

款	土木費	項	都市計画費	目	公園管理費	担当所属	都市計画課	
事業名	都市公園施設長寿命化事業費（繰越明許分）		予算現額 (円)	22,100,000	決算額 (円)	22,038,720	執行率 (%)	99.7
目的	都市公園の公園施設について、安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減を図るため長寿命化計画に基づき、計画的な改築・維持管理や更新を行うもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和2年度～令和6年度 総事業費 748,077千円 事業内容（繰越明許分） 遊具等更新工事、駐車場整備実施設計 公園遊具等更新工事 18,590,220円 （松浦河畔公園、熊原児童公園、ひばりが丘公園） 松浦河畔公園園路駐車場整備実施設計業務 3,448,500円							
成果等	計画的な公園施設の更新等を行うことにより、公園施設の安全性の確保を図ることができた。							

款	土木費	項	都市計画費	目	公園管理費	担当所属	都市計画課	
事業名	唐津城石垣再築整備Ⅱ期（2工区）事業費（継続費4年度分） 同（通次繰越分）		予算現額 (円)	24,937,000 80,575,730	決算額 (円)	3,228,137 54,503,880	執行率 (%)	12.9 67.6
目的	唐津城の石垣がはらみや欠落を生じるなど危惧すべき状況になっているため、年次計画により石垣修復等を行うもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和元年度から令和5年度まで（継続費設定） 総事業費（継続費設定額） 675,441千円【Ⅱ期（2工区）分】 事業内容 石垣再整備、本丸庭園整備、櫓、門等復旧、軟弱地盤対策、法面補強工等 （継続費4年度分） 事務費等 3,228,137円 （継続費通次繰越分） 西の浜仮置石材番付等復旧業務ほか2件 1,452,000円 石垣再築整備工事（R4～R5継続工事） 50,677,000円 事務費等 2,374,880円							
成果等	唐津城の基礎である石垣を補修再築することにより唐津城を保全し更なる観光客の誘致に資することができた。 なお、47,780,713円を令和5年度に繰り越した。							

款	土木費	項	都市計画費	目	公園整備費	担当所属	都市計画課	
事業名	松浦河畔公園再整備事業費		予算現額 (円)	27,236,000	決算額 (円)	17,306,480	執行率 (%)	63.5
目的	松浦河畔公園の再整備計画を策定し、利用率の高い総合公園を目指すことで、地域の魅力を高めるもの。							
事業内容及び実績	事業内容 水質検査業務 198,000円 再整備測量業務 10,824,000円 交流拠点整備基本構想策定業務 5,764,000円 基本計画に基づく交差点協議資料作成業務 495,000円 事務費等 25,480円							
成果等	若手職員を中心としたワークショップを行い、市としてのコンセプトを基本構想にまとめたことで、令和5年度に予定している民間事業者へのサウンディング調査に向けた準備が整った。 なお、同調査の結果を踏まえ、基本計画を策定するため、9,929,000円を令和5年度に繰り越した。							

款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費	担当所属	建築住宅課	
事業名	住宅・建築物耐震診断事業費		予算現額 (円)	940,000	決算額 (円)	900,000	執行率 (%)	95.7
目的	昭和56年5月31日以前に建築された建物の耐震化を推進するため、耐震診断を希望する木造住宅の所有者に対し、登録建築士を派遣する事業を実施したものの。							
事業内容及び実績	木造戸建住宅への耐震診断士派遣委託 診断件数 9件 図面なし 100,000円×9件=900,000円							
成果等	登録建築士を派遣し耐震診断を実施することにより、建物の耐震化の促進が図られた。							

款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費	担当所属	建築住宅課	
事業名	住宅移転事業補助金		予算現額 (円)	4,225,000	決算額 (円)	4,225,000	執行率 (%)	100.0
目的	災害危険区域等の区域内に建っている危険住宅から安全な場所に移転を行う者に対し、補助金の交付を行ったもの。							
事業内容及び実績	申請件数1件 (内訳) 住宅建設費        3,250,000円 危険住宅除却費    975,000円							
成果等	災害危険区域内にある住宅を安全な場所に移転することにより、住民の生命及び財産の保護に資することができた。							



## 9 消 防 費

### (1) 常備消防費

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、日常業務中から基本的な感染防止対策を行い、新型コロナウイルス感染者の搬送時には感染防護及び消毒実施を徹底することで、消防業務の維持に努めた。

常備消防として職員の教育及び訓練はもとより、防火対象物施設への火災予防指導や市民の救命率向上のためのAED（自動体外式除細動器）使用を含めた普通救命講習会等を開催した。

消火活動及びその他災害活動については、令和4年度火災発生件数は51件、損害額は154,176千円であり、その他災害件数は123件であった。

救急活動については、令和4年度の救急出動件数は6,967件で前年度比1,138件の増となった。救急救命士のさらなる資質向上のため病院実習を実施するとともに、市民を対象としたAEDの講習を含む普通救命講習等を実施し、応急手当の普及啓発に努めた。令和4年度の実績は、普通救命講習等124回、受講者数2,342人であった。

また、平成30年度から整備を進めている自動心肺蘇生器については、5台目を東部分署に配備した。心肺停止事例79件に対して自動心肺蘇生器を用いて活動を行った結果、救急救命士による薬剤投与等の救急救命処置を実施する機会が増え11件の心拍再開に成功し、市民の救命率向上に大きく貢献した。

救助活動では、近年、複雑・多様化する災害現場の対応として、日頃の訓練による救助資機材の取扱いの習熟、技術の向上を図ることにより負傷者を安全に救出救助するとともに適切な応急処置を行い、生命及び身体の保護に努めた。

予防行政については、防火対象物693件、危険物施設82件に対し立入検査等を行い、火災発生危険箇所の排除及び改修を指導し、消防用設備等及び防火管理の不備の是正を図った。

その中でも、重大違反の防火対象物には行政指導である勧告を行うなど違反是正を進め、20件のうち15件が改善され、火災予防に努めた。

住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理については、広報や住宅防火診断、避難訓練及び防火講話等において普及啓発を図るとともに、市内の主要な道路の歩道橋及び大手ロセンタービルに住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理についての横断幕及び懸垂幕を掲揚することで、設置率の向上と維持管理の広報に努めた。また、火災予防運動の一環行事として、令和4年度全国統一防火標語に合わせた、小学生による自由な発想でイメージした火災予防ポスター制作の依頼、募集を行い、最優秀賞の1点をポスター化することで市民の防災に対する意識向上と消防行政への理解を深めてもらうよう努めた。

消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備等のほか聴覚及び言語障がい者からの119番通報にもより迅速に対応できるNet119緊急通報システムを適切に維持管理を行うことで、119番通報の受信から現場活動の終息までを円滑に対応し、安定的な消防救急活動に寄与した。

また、トップクラスの防水性能IP45を有したドローンを整備し、雨天時における救助等の災害現場の情報収集を行い、円滑な消防活動に寄与した。

### (2) 非常備消防費、消防施設費

消防ポンプ格納庫及び耐震性貯水槽を建設したほか、老朽化した小型動力ポンプ及び小型動力ポンプ積載車等の更新、消防施設の補修並びに消防団員の安全対策装備の充実を図った。

### (3) 防災諸費

防災対諸費では、60MHz防災行政無線及び280MHzデジタル同報無線システムの維持管理業務を行い、安定運用に努めた。また、防災備蓄計画に基づき、大規模災害の際、避難者の避難生活に必要な物資の計画的な備蓄に着手した。

地域防災力向上促進事業費では、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の育成強化及び活動活性化等の支援を行った。

#### (4) 常備消防施設費

水槽付消防ポンプ自動車及び資機材搬送車を、安全性の確保及び機能維持のため更新した。

また、消防本部本署庁舎の長寿命化を進めるため、アスベスト含有調査業務委託、改修工事全体の基本設計業務委託及び、令和5、6年度に継続事業として実施する感染症対策工事の実設計業務委託を行った。

#### 令和4年度の消防統計

##### 火災統計

(単位 件、千円)

区分	発生件数	損害額	1件当たりの損害額
建物	25	151,239	6,050
林野	5	0	0
車両	2	822	411
船舶	0	0	0
その他	19	2,115	111
合計	51	154,176	

##### 救急統計

(単位 件、人)

出動件数		救急件数		搬送人員	
年間	1日当たり	年間	1日当たり	年間	1日当たり
6,967	19.1	6,305	17.3	6,333	17.4

##### 救急事故種別統計

(単位 件、人)

	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	その他	合計
出動件数	67	1	21	309	50	35	986	21	60	4,215	1,168	34	6,967
搬送人員	6	1	11	302	50	34	917	16	34	3,798	1,164	0	6,333

##### 救助統計

(単位 件)

	火災		交通	水難	風水害等自然	機械	建物	ガス酸欠等	爆発	その他事故	合計
	建物	建物以外									
出動件数	0	0	9	14	0	2	0	0	0	16	41

##### その他の災害統計

(単位 件)

	ガス漏えい	油漏えい	調査	即時通報	その他警戒	合計
出動件数	0	6	2	55	60	123

款	消防費	項	消防費	目	常備消防費	担当所属	情報指令課													
事業名	消防通信指令施設管理費		予算現額 (円)	58,303,000	決算額 (円)	58,068,783	執行率 (%)	99.6												
目的	障害等による119番受信不能や指令不能などの機能不全に陥ることのないよう消防指令システム、消防救急デジタル無線設備等の適切な維持管理を行い安定運用を行ったもの。																			
事業内容及び実績	<table> <tbody> <tr> <td>消防指令システム保守業務ほか</td> <td>38,857,700 円</td> </tr> <tr> <td>消防通信指令業務に係る通信費ほか</td> <td>5,922,273 円</td> </tr> <tr> <td>消防救急デジタル無線ネットワーク機器更新</td> <td>8,910,000 円</td> </tr> <tr> <td>ドローン購入費</td> <td>3,069,000 円</td> </tr> <tr> <td>ドローン運用費</td> <td>333,510 円</td> </tr> <tr> <td>施設修繕料ほか</td> <td>976,300 円</td> </tr> </tbody> </table>								消防指令システム保守業務ほか	38,857,700 円	消防通信指令業務に係る通信費ほか	5,922,273 円	消防救急デジタル無線ネットワーク機器更新	8,910,000 円	ドローン購入費	3,069,000 円	ドローン運用費	333,510 円	施設修繕料ほか	976,300 円
消防指令システム保守業務ほか	38,857,700 円																			
消防通信指令業務に係る通信費ほか	5,922,273 円																			
消防救急デジタル無線ネットワーク機器更新	8,910,000 円																			
ドローン購入費	3,069,000 円																			
ドローン運用費	333,510 円																			
施設修繕料ほか	976,300 円																			
成果等	<p>消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備等のほか聴覚及び言語障がい者からの119番通報にもより迅速に対応できるNet119緊急通報システムを適切に維持管理を行うことで、119番通報の受信から現場活動の終息までを円滑に対応し、安定的な消防救急活動に寄与した。</p> <p>また、トップクラスの防水性能IP45を有したドローンを整備し、雨天時における救助等の災害現場の情報収集を行い、円滑な消防活動に寄与した。</p>																			

款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	担当所属	地域消防課																																	
事業名	消防施設・設備整備費		予算現額 (円)	105,932,328	決算額 (円)	63,279,442	執行率 (%)	59.7																																
目的	市民の安全な暮らしを守る地域消防及び防災の要である消防施設や設備を整備することで、消防体制の万全を図ったもの。																																							
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>消防ポンプ格納庫建設費</td> <td style="text-align: right;">683,100円</td> </tr> <tr> <td>  アスベスト含有分析調査（内町、厳木町広瀬）</td> <td style="text-align: right;">397,100円</td> </tr> <tr> <td>  建築確認申請等</td> <td style="text-align: right;">33,000円</td> </tr> <tr> <td>  地質調査業務（肥前町高串）</td> <td style="text-align: right;">253,000円</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ購入費</td> <td style="text-align: right;">24,530,000円</td> </tr> <tr> <td>  9台（湊岡、高島、浜玉町浜、厳木町浪瀬、厳木町本山、厳木町広川、相知町町切、呼子町小川島、七山西木浦）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ積載車購入費</td> <td style="text-align: right;">10,344,142円</td> </tr> <tr> <td>  普通積載車 1台（浜玉町浜）</td> <td style="text-align: right;">6,128,611円</td> </tr> <tr> <td>  軽積載車 1台（呼子町加部島）</td> <td style="text-align: right;">4,215,531円</td> </tr> <tr> <td>消火栓新設等負担金</td> <td style="text-align: right;">17,998,200円</td> </tr> <tr> <td>  維持補修工事 1基</td> <td style="text-align: right;">385,000円</td> </tr> <tr> <td>  新設工事 1基</td> <td style="text-align: right;">1,155,000円</td> </tr> <tr> <td>  改良工事 22基</td> <td style="text-align: right;">16,458,200円</td> </tr> <tr> <td>防火水槽工事費</td> <td style="text-align: right;">9,724,000円</td> </tr> <tr> <td>  用地測量業務（浜玉町浜崎地区）</td> <td style="text-align: right;">1,980,000円</td> </tr> <tr> <td>  耐震性貯水槽設置工事（浜玉町浜崎地区）</td> <td style="text-align: right;">7,744,000円</td> </tr> </table>								消防ポンプ格納庫建設費	683,100円	アスベスト含有分析調査（内町、厳木町広瀬）	397,100円	建築確認申請等	33,000円	地質調査業務（肥前町高串）	253,000円	小型動力ポンプ購入費	24,530,000円	9台（湊岡、高島、浜玉町浜、厳木町浪瀬、厳木町本山、厳木町広川、相知町町切、呼子町小川島、七山西木浦）		小型動力ポンプ積載車購入費	10,344,142円	普通積載車 1台（浜玉町浜）	6,128,611円	軽積載車 1台（呼子町加部島）	4,215,531円	消火栓新設等負担金	17,998,200円	維持補修工事 1基	385,000円	新設工事 1基	1,155,000円	改良工事 22基	16,458,200円	防火水槽工事費	9,724,000円	用地測量業務（浜玉町浜崎地区）	1,980,000円	耐震性貯水槽設置工事（浜玉町浜崎地区）	7,744,000円
消防ポンプ格納庫建設費	683,100円																																							
アスベスト含有分析調査（内町、厳木町広瀬）	397,100円																																							
建築確認申請等	33,000円																																							
地質調査業務（肥前町高串）	253,000円																																							
小型動力ポンプ購入費	24,530,000円																																							
9台（湊岡、高島、浜玉町浜、厳木町浪瀬、厳木町本山、厳木町広川、相知町町切、呼子町小川島、七山西木浦）																																								
小型動力ポンプ積載車購入費	10,344,142円																																							
普通積載車 1台（浜玉町浜）	6,128,611円																																							
軽積載車 1台（呼子町加部島）	4,215,531円																																							
消火栓新設等負担金	17,998,200円																																							
維持補修工事 1基	385,000円																																							
新設工事 1基	1,155,000円																																							
改良工事 22基	16,458,200円																																							
防火水槽工事費	9,724,000円																																							
用地測量業務（浜玉町浜崎地区）	1,980,000円																																							
耐震性貯水槽設置工事（浜玉町浜崎地区）	7,744,000円																																							
成果等	<p>地域の消防及び防災の拠点として消防団員の詰所を併設した消防ポンプ格納庫を整備し、老朽化した小型動力ポンプ及び小型動力ポンプ積載車等を更新した。</p> <p>また、火災発生時の消火活動に必要な消防水利を整備したことにより、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な消防体制の構築に寄与した。</p> <p>なお、消防ポンプ格納庫建設費において、入札不調により、唐房消防格納庫及び内町消防格納庫の建設費39,738,000円を令和5年度に繰り越した。</p>																																							

款	消防費	項	消防費	目	防災諸費	担当所属	危機管理防災課	
事業名	防災対策諸費		予算現額 (円)	104,104,000	決算額 (円)	97,457,501	執行率 (%)	93.6
目的	防災行政無線や防災システムの維持管理等を行い、本市の防災体制を維持したもの。また、避難時に必要な食料や生活必需品等の備蓄品の整備、平成30年度に作成した防災マップの改訂を行った。							
事業内容及び実績	防災備蓄計画に基づく備蓄物資（食料、飲料水及び生活必需品等）の整備					2,626,380円		
	防災行政無線（60MHz）の維持管理					35,398,123円		
	280MHzデジタル同報無線システムの維持管理					14,418,788円		
	Jアラート等防災システムの維持管理等					16,256,410円		
	原子力災害対策事務費					4,489,583円		
	防災マップ改訂					17,600,000円		
	男女共同参画の視点を踏まえた避難所運営マニュアル検討委員会開催費					257,720円		
	その他事務費					6,410,497円		
成果等	令和4年度は、台風11号及び台風14号の接近により避難警報を発令した。新たに導入した防災気象情報提供サービスにより情報収集の強化を図り、日々適切な維持管理に努めている防災行政無線等により、市民の避難行動につながる情報提供を行った。また、防災マップを改訂し、市内全域へ配布を行い、新たに追加された浸水想定区域を含め最新情報を提供することができた。							

款	消防費	項	消防費	目	防災諸費	担当所属	危機管理防災課	
事業名	地域防災力向上促進事業費		予算現額 (円)	3,201,000	決算額 (円)	1,338,218	執行率 (%)	41.8
目的	近年の自然災害の教訓から災害時に住民が「自らの命は自らが守る」意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政はそれを全力で支援するという、住民主体の取組強化による防災意識の高い社会の構築が急務となっているため、共助の中心的役割を担う自主防災組織の育成等を推進したもの。							
事業内容及び実績	自主防災組織の結成促進							
	令和4年度の新規設立組織		3組織（上神田地区、浜玉町西区、伊岐佐上中地区）					
	令和4年度末組織数		79組織					
	自主防災組織への補助							
	防災資機材整備への補助		13組織	計955,000円				
	防災訓練への補助		2組織	計47,000円				
	防災士資格取得への補助		1人	計5,000円				
	防災リーダーフォローアップ事業		4回	計114,390円				
	その他事務費			計216,828円				
成果等	自主防災組織の結成促進については、3組織の結成であったが、既存組織の育成強化及び活動活性化の支援を行い、地域防災力の向上に努めた。第2次総合計画における目標値（令和6年度）である85組織の設立を目指し、引き続き啓発活動を実施したい。 また、地域防災リーダーに対するフォローアップ講座を4回開催し、リーダーの育成を図った。							

款	消防費	項	消防費	目	防災諸費	担当所属	危機管理防災課	
事業名	防災情報ネットワーク整備費（繰越明許分）		予算現額 (円)	488,285,000	決算額 (円)	486,139,500	執行率 (%)	99.6
目的	防災情報伝達手段の多重化を図るため、豪雨時等においても伝達性が高い280MHz戸別受信機を整備したものの。							
事業内容及び実績	令和4年度繰越明許分 備品購入費 280MHz戸別受信機(24,150台分) 486,139,500円							
成果等	唐津市内の配布対象世帯の7割相当分を購入し、購入個数に対し約35%を配布済み。引き続き、必要とする世帯及び事業所等に対し配布したい。							

款	消防費	項	消防費	目	常備消防施設費	担当所属	消防総務課	
事業名	水槽付消防ポンプ自動車更新費		予算現額 (円)	74,404,842	決算額 (円)	7,224,330	執行率 (%)	9.7
目的	配備後18年以上経過した水槽付消防ポンプ自動車を、安全性確保及び機能維持のために更新を行ったもの。							
事業内容及び実績	水槽付消防ポンプ自動車更新費 積載資機材 1式 7,028,120円 普通旅費（中間検査） 98,240円 保険料（自賠責） 7,770円 自動車重量税 90,200円							
成果等	令和4年6月に契約締結して更新整備を進めていたが、佐賀運輸支局での車両新規登録時に不測の日数を要し、水槽付消防ポンプ自動車の納品が遅延したため、65,340,000円を令和5年度に繰り越した。なお、令和5年4月7日に更新整備が完了した。							

款	消防費	項	消防費	目	常備消防施設費	担当所属	消防総務課	
事業名	消防本部本署庁舎改修費		予算現額 (円)	12,539,000	決算額 (円)	11,770,000	執行率 (%)	93.9
目的	地域防災拠点の機能を維持するため、令和5年度から実施する消防本部本署庁舎の感染症対策及び長寿命化工事に向けて、基本設計及び実施設計業務等を行ったもの。							
事業内容及び実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎アスベスト含有調査業務 3,080,000円</li> <li>庁舎改修基本設計業務 3,201,000円</li> <li>感染症対策実施設計業務 5,489,000円</li> </ul>							
成果等	工事全体の基本設計を行ったほか、令和5年度から令和6年度にかけて実施する感染症対策工事の実施設計を行った。							

## 10 教 育 費

### (1) 教育総務費、小・中学校費

「生きる力に満ちた人をはぐくむ」という唐津市教育の基本理念を達成するため、児童生徒の社会の形成者として必要な基本的資質を養うとともに、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指して、各種施策を実施し、学校教育の充実・向上を図った。

まず、児童生徒の学力向上及びその基盤となる心を育成するため、学校・家庭・地域社会が連携し、地域の特色や人材を生かしながら児童生徒を支援する「いきいき学ぶからつっ子」育成事業に取り組み、自然環境や伝統文化への体験活動の実施、キャリア教育の推進等を行った。また、「唐津の学びスタイル」に基づく授業改善の取組みについて学校間で共有し、公開授業や授業研究会を通して授業力の向上に努めた。

市内全小中学校の全ての通常学級や特別支援学級において、一人一人の個性や能力に応じた授業を実施するため、電子黒板や学習用パソコン等のICT機器を活用した教育を推進し、これからの国際社会で必須となる情報活用能力や表現力の向上を目指した取組みを行った。また、1人1台タブレット端末を活用し、インターネットでの調べ学習やデジタルドリルを使つての復習、学級閉鎖時等のオンライン授業、長期欠席者の健康状態の確認など、授業、授業外における多様な活用を実践した。

感染症対策等事業においては、学校保健特別対策事業補助金を活用し、保健衛生用品等の整備や感染拡大防止用品を整備することで児童生徒が安心して学ぶことができる環境づくりを行った。また、学校現場の新型コロナウイルス感染症対策の強化に伴い、純増した業務をサポートし、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するためスクール・サポート・スタッフを配置し、学校教育活動の充実を図った。

いじめ等問題行動の未然防止や早期発見・早期対策及び被害の最小化、再発防止を図るための支援体制を構築するため、全小中学校でいじめ防止対策委員会を開催するとともに、いじめ等問題対策指導員を4校に配置した（指導員1人による巡回）。また、市内全小学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談の充実を図るとともに、適応指導教室スマイルにおいて、不登校児童生徒の学校復帰へ向けた適応指導を実施した。フッ素応用むし歯予防事業では、小学生及び中学生を対象に歯質強化に極めて有効なフッ化物洗口を実施し、歯科保健水準の向上を図った。

次に、外国語によるコミュニケーション能力を高め、国際化時代に対応する人材の育成を図るために外国語指導助手を配置したほか、複式学級を支援するため補助教員を配置した。また、学校生活において食事・排泄などの介助や学習活動上の安全確保を必要とする児童生徒がいる学校に生活支援員70人及び看護師2人を配置した。中学校においては、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、10校に補習等のための指導員を配置し、放課後や長期休業中に補充学習を行うことにより、基礎学力の定着と学ぶ楽しさを味わわせ、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図った。人権・同和教育においては、教職員の研修を実施し、指導の充実を図った。

また、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費などの援助を行い、児童生徒の教育の円滑な実施に努めた。

このほか、児童が安全で快適な環境で学習できるよう実施してきた鏡山小学校改築事業は令和4年度の外構工事、グラウンド整備工事をもって完了した。第五中学校エレベーター棟建設工事により、第五中学校のバリアフリー化の推進及び令和5年度からの給食センター方式の給食提供体制への対応が可能となった。鏡中学校長寿命化改良工事の基本・実施設計、浜崎小学校増築工事の実実施設計が完了し、令和5年度以降の工事着工に向け事業の推進を図った。



## (2) 社会教育費

各公民館において、生涯学習及び社会教育活動の振興を図るため、家庭教育、青少年教育及び成人教育等の各種講座を実施し、生涯学習の向上に努めた。

青少年の健全育成については、放課後子ども教室推進事業を実施し、主に公民館を拠点として勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組んだほか、たくましいからつっ子育成事業では、体験学習、郷土学習や野外活動などの教室等を開催した。

青少年支援センターでは、祝日と年末年始を除き毎日開所し、臨床心理士、精神科医などの専門家による専門相談を実施するなど相談・支援の充実を図るとともに、青少年非行防止のための街頭補導を実施し、子ども達の健全育成を図った。

さらに、人権・同和教育の推進については、同和教育集会所の円滑な運営をはじめ、人権ふれあいセンターや公民館、企業などを中心に啓発活動を行い、市民の人権意識の向上に努めた。

このほか、社会教育施設整備については、老朽化した西唐津公民館の移転改築が完了し、令和4年11月28日に供用を開始した。また、公民館施設のフリーWi-Fiを整備し、利用者の利便性向上を図るとともに、その他の社会教育施設について随時老朽・破損箇所の補修及び設備の改修を行うことで、利用環境の充実を図った。

また、公民館類似施設整備補助金として、増改築13件、緊急修繕等8件に対する補助を行った。

次に、近代図書館においては、利用者のニーズに沿った図書等の収集や資料の整備保存、インターネットでの図書の検索・予約サービス及びネットワークによる各市民センター公民館図書室等での貸出や返却を実施するとともに、季節やその時々話題をテーマにした展示や暮らしに役立つ各種コーナーを充実させた。また、家庭における読書活動の推進として、ブックスタート事業、絵本とこんにちは事業を実施した。開館30周年という節目の年であったため様々なイベントを企画・実行した。読み聞かせ講習会、大人のための参加型絵本講座、七つの島deおはなし会、しおりコンテスト、人形劇、パネル展、図書館スマホ講座などを行い、利用促進を図った。図書配送センターでは、広域的な図書サービスのさらなる充実を図り、学校での調べ学習や朝読書の充実を図るための学習支援セット（Kintoもあブック）の貸出を行った。

美術ホールでは、開館30周年記念の特別展や所蔵品展を中心に15回の展覧会を開催した。特別展は新見美術館（岡山県新見市）所蔵品による「しみる日本画」、所蔵品展は「図書館の小さな美術館展」等（3回）。そのほか、市内の美術団体や学校と連携した「Kinto市民美術祭」（8回）、「工芸美術知新会展」と「佐賀県陶芸協会展」、貸会場「乗田貞勝画業50年展」を開催し、1階ロビー等では「近図プチこれくしょん」（3回）、「近図ぎゃらりい」（1回）を開催した。年間を通して美術作品に親しむ機会を提供するとともに、展覧会関連イベント、出前講座やワークショップ、アウトリーチなど教育普及の充実にも努め、ホームページ上での動画による所蔵品紹介も引き続き行った。

相知図書館においては、利用者のニーズに沿った図書の収集を行った。また、相知図書館だよりの発行やテーマ展示などを行い利用の促進を図った。

文化財事業については、2か年事業として唐津くんち1番曳山「赤獅子」の総塗替え修理に対して曳山保存修理補助金を交付したほか、指定文化財の維持管理業務を36件、清掃等管理業務を13件実施した。

また、伝統芸能等の保存団体に対し16件の補助を行い、地区に残る民俗芸能の保持に努めた。

さらに、古文書及び古唐津等の寄贈・寄託資料の整理作業を継続して行った。

埋蔵文化財調査では、宅地開発行為等に伴う市内遺跡の確認調査や調査報告書の作成を行い、桜馬場遺跡の重要遺跡範囲確認調査を実施した。このほか岸山川河川保全に伴う発掘調査を実施した。

国史跡肥前陶器窯跡では、その保存整備のため、飯洞甕下窯跡覆屋の実施設計を完了し、同窯跡の保存処理に着手した。

文化事業においては、市民の芸術文化の振興を図るため、市内各地区の文化団体が市民文化祭を実施し、人形浄瑠璃や演奏会、バレエなど日頃の練習成果の発表や華道、盆栽、書道、絵画、写真等の作品展示を行った。

和文化継承事業として歴史・文化講座では、旧大島邸において親子門松づくり教室を開催し、また、市内の小学校2校において、日本の伝統芸能で、世界無形文化遺産にも選定されている「能楽」のワークショップを開催した。

また、補助金を交付した公益財団法人唐津市文化事業団が末盧館で稲作発祥祭、相知交流文化センターでサライピアノコンサート、市内小学校において芸術文化ワークショップを実施し、文化の振興及び普及啓発に努めた。

### (3) 保健体育費

スポーツ環境の充実とスポーツ交流の推進を図るため、相知天徳の丘運動公園社会体育館トイレのユニバーサルデザイン化改修工事をはじめ、体育の森公園駐車場整備工事ほか各体育施設の補修、整備を年次的に実施し、スポーツを通じて、健康の保持と体力の増進を図り、明るく豊かで生きがいのある生活を営むため、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、生涯スポーツの推進、競技スポーツの強化、プロスポーツチームとの交流を実施した。

生涯スポーツの推進については、市内小中学校のうち44校の85の体育施設について一般開放を行い延べ約26万8千人の利用者があった。

競技スポーツの強化については、九州大会規模以上の大会への出場に対し奨励金を交付した。

主要なスポーツイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により市民体育祭は中止となったが、市民種目別スポーツ大会や市民球技大会は開催することができ、10マイルロードレース大会や虹の松原カップ小学生クラブ駅伝競走については数年ぶりの開催となった。

プロスポーツとの交流については、ソフトバンクホークスやサガン鳥栖の観戦バスツアーを実施したほか、レオブラックスサガの3X3バスケットイベントを実施した。鳴戸部屋九州後援会には化粧まわしの作製に対し、補助を行った。また、スポーツ・文化合宿等補助金を交付し、交流推進を図った。

令和6年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（SAGA2024）に向けては、栃木国体の視察や事業報告会へ参加することで、大会運営のノウハウを蓄積したほか、特殊競技会場の設計業務を行った。また、啓発グッズ等を作製し、各種イベントでのPRに活用することで、大会の周知や機運醸成を図った。

東部学校給食センターにおいては、調理員不足の解消を図るとともに、将来にわたって、安全で安心な学校給食を安定して提供するため、令和4年8月から調理業務の民間委託を開始した。

また、「唐津市学校給食センター整備基本計画」に基づき、西部地区の3給食センター（肥前、鎮西、呼子）及び自校方式の給食室を集約した西部学校給食センター（仮称）の建設工事において、地盤改良工事は完了、建築工事、電気設備工事等は予定通り進捗し、令和5年度の供用開始へ向け準備を進めた。

款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費	担当所属	学校支援課	
事業名	特別支援教育費		予算現額 (円)	150,067,719	決算額 (円)	150,047,718	執行率 (%)	100.0
目的	特別支援教育を必要とする児童生徒に対し、障がいの状況に即応した支援を行い、適正な教育を実施したものの。							
事業内容及び実績	<p>生活支援員や看護師の配置による障がいのある児童生徒へのきめ細やかな指導等 障がいのある児童生徒の交流会、学習会を行っている唐津地区特別支援教育研究会への補助</p> <p>生活支援員等報酬等（小学校65人（うち看護師2人）、中学校7人） 145,865,337円</p> <p>通勤に係る費用弁償、市内出張旅費等 3,506,462円</p> <p>バス旅行引率等 216,424円</p> <p>特別支援教育事業補助金 200,763円</p> <p>特別支援学校在学児童生徒帰省費補助金 22,058円</p> <p>通級教室消耗品、備品 236,674円</p>							
成果等	交流会及び学習会では、障がいのある児童生徒の課題に応じた体験活動を実施し、成長を促すことができた。また、多種多様な問題を抱えている児童生徒が増加しており、学校から提出された調査書及び学校訪問による聞き取りをもとに、昨年度から生活支援員を4人、医療的ケアを行う看護師を1人増員して配置した。障がいのある児童生徒に対して細やかな対応ができ、適切な指導を行うことで、児童生徒の安全や教育環境の充実を図った。							

款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費	担当所属	学校支援課	
事業名	「いきいき学ぶからつっ子」 育成事業費		予算現額 (円)	11,514,080	決算額 (円)	10,865,118	執行率 (%)	94.4
目的	学校、家庭、地域連携の方策を探るため、学校又は校区の実態に合った取組みを行う実行委員会に対し補助を行うことで、学力向上と豊かな心で自ら学ぶ意欲に満ちた児童生徒の健全育成を図ったもの。また、唐津の学びスタイルに基づき、全市統一的な授業改善をさらに推進したものの。							
事業内容及び実績	<p>各小中学校区いきいき学ぶからつっ子育成事業実行委員会に補助金を交付 46校（小学校28校、中学校13校、小中併設校5校） 9,513,688円</p> <p>学力向上研究会の実施（講師謝礼金） 231,080円</p> <p>市内小学校からモデル校を3校選出し、GTEC（スコア型英語4技能検定）を実施。受検結果を市内小中学校で共有し、今後の外国語の授業改善について検討を行った。</p> <p>外国語（英語）教育指導力育成業務委託料 1,120,350円</p>							
成果等	学校、家庭、地域が連携し、地域の特色や人材を生かしながら、体験活動やキャリア教育等を展開することができた。取り組み後のアンケートからは郷土を愛する気持ちの高まり、夢や希望をもって努力することの大切さを感じ取っている様子が見られた。授業力向上においては、「唐津の学びスタイル」に基づく授業改善の取組みを学校間で共有し、公開授業や授業研究会を通じて研鑽に努めた。外国語指導力の育成においては、GTEC実施校の受検結果を市内小中学校で共有することで、児童生徒の英語力向上に向けた教職員の意識向上及び授業改善の取組みを推進することができた。							

款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費	担当所属	学校支援課	
事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業費		予算現額 (円)	32,226,488	決算額 (円)	31,479,190	執行率 (%)	97.7
目的	新型コロナウイルス感染症対策の強化に伴う教員の業務負担の軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフを配置したものの。							
事業内容及び実績	<p>教室内の換気や消毒などの感染症対策業務          子どもの健康観察のとりまとめ作業等          家庭学習や家庭への連絡資料の準備、印刷等          実績（44校46人配置）</p> <p>報酬 29,629,152円、社会保険料 387,488円、費用弁償 1,462,550円</p> <p>東唐津小、外町小、長松小、西唐津小、竹木場小、佐志小、鏡山小、久里小、鬼塚小、大良小、湊小、成和小、大志小、浜崎小、玉島小、平原小、巖木小、簗木小、相知小、伊岐佐小、北波多小、切木小、入野小、納所小、田野小、名護屋小、打上小、呼子小、七山中          第一中、佐志中、高峰中、第五中、鏡中、鬼塚中、湊中、西唐津中、浜玉中、巖木中、相知中、北波多中、肥前中、海青中、七山中</p> <p>※小中併設校は兼務とし、大規模校（児童生徒数500人以上）は2人配置とした。</p>							
成果等	希望する全ての小、中学校にスクール・サポート・スタッフを配置し、学校現場で純増した感染症対策に係る業務を軽減させ、教員が子どもの学びに注力できる体制を整えることができた。							

款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費	担当所属	行政改革課																					
事業名	小学校維持管理費（市民センター地域振興分）		予算現額 (円)	750,000	決算額 (円)	314,600	執行率 (%)	41.9																				
目的	地域住民の生活や活動に密着した要望、課題等に対し、市民センターにおいて、緊急性と必要性から迅速に対応できるよう予算措置を行い、地域の振興を図ったもの。																											
事業内容及び実績	<p>小学校遊具修繕</p> <p style="text-align: right;">(単位 円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜玉</th> <th>巖木</th> <th>相知</th> <th>北波多</th> <th>肥前</th> <th>鎮西</th> <th>呼子</th> <th>七山</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設修繕料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>314,600 (1件)</td> <td></td> <td>314,600 (1件)</td> </tr> </tbody> </table>									浜玉	巖木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	合計	施設修繕料							314,600 (1件)		314,600 (1件)
	浜玉	巖木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	合計																			
施設修繕料							314,600 (1件)		314,600 (1件)																			
成果等	地域住民の生活や活動に密着した要望や課題等に対して、市民センターにおいて迅速に対応することができた。																											

款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費	担当所属	学校支援課	
事業名	小学校感染症対策等事業費		予算現額 (円)	41,080,000	決算額 (円)	39,968,098	執行率 (%)	97.3
目的	小学校における新型コロナウイルス感染症対策のために必要な保健衛生用品及び学習保障用品を整備し、学校教育活動の円滑な運営に寄与したものの。							
事業内容及び実績	<p>対象校 全市立小学校34校（分校含む）</p> <p>実績 児童、教職員等の感染症対策に必要な保健衛生用品の購入 アルコール消毒液、学校机飛沫防止ガード、サーマルカメラほか 感染状況に応じて児童の学びの保障のために必要な学習保障用品の購入 PCタブレットケース、再生紙（家庭学習用）、大型モニターほか 消耗品費 20,726,132円 備品購入費 19,241,966円</p>							
成果等	<p>感染症の拡大を防止するために保健衛生用品等を整備することで、校内における消毒の習慣化などコロナ禍における新しい生活様式に対応し、校内での感染拡大防止につながった。</p> <p>また、学級閉鎖等により登校できない場合においても、リモート授業の実施やプリント学習で授業内容の復習など充実した家庭学習を行うことで、児童の学びの保障につながった。</p>							

款	教育費	項	小学校費	目	学校建設費	担当所属	教育総務課	
事業名	鏡山小学校改築事業費 (継続費4年度分)		予算現額 (円)	194,016,000	決算額 (円)	187,434,510	執行率 (%)	96.6
	同（通次繰越分）			219,884,982		65,550,100		29.8
目的	建築後40年以上が経過し老朽化が著しく、また、校区内の宅地化が進み児童数の急増により普通教室数が不足するため、鏡山小学校の改築工事を行ったもの。							
事業内容及び実績	<p>事業年度 令和元年度から令和4年度まで（継続費設定） 総事業費 3,678,499,628円（継続費設定額3,839,416千円、執行率95.8%） 令和4年度実施事業 (継続費4年度分)</p> <p>外構（その2）工事 67,672,000円 グラウンド整備工事 114,251,500円 改築工事監理業務、荷受け改修工事ほか 5,511,010円</p> <p>(継続費通次繰越分)</p> <p>既存屋内運動場・プール解体工事 19,999,100円 屋外倉庫建設建築工事 31,691,000円 通級指導教室空調機械設備工事ほか 13,860,000円</p>							
成果等	<p>令和4年度は外構工事、グラウンド整備工事等が完了した。</p> <p>令和4年度工事完了により鏡山小学校改築工事が完成し、安全で快適な学習環境の整備を実現した。</p>							

款	教育費	項	小学校費	目	学校建設費	担当所属	教育総務課	
事業名	浜崎小学校増築事業費		予算現額 (円)	24,128,000	決算額 (円)	24,128,000	執行率 (%)	100.0
目的	浜崎小学校区内の人口流入及び特別支援学級数の増加による教室不足が見込まれるため、将来的な統廃合も見据え、教室棟を増築するもの。							
事業内容及び実績	建築確認申請手数料 71,000円 構造安全確認委託業務 750,200円 地質調査業務 4,881,800円 実施設計業務 18,425,000円							
成果等	浜崎小学校区内の著しい人口流入による教室不足に対応するため、令和5年度以降の教室棟の増築工事の実施に向け、実施設計を行い、事業の進捗を図った。							

款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費	担当所属	学校支援課	
事業名	中学校感染症対策等事業費		予算現額 (円)	22,360,000	決算額 (円)	22,070,678	執行率 (%)	98.7
目的	中学校における新型コロナウイルス感染症対策のために必要な保健衛生用品及び学習保障用品を整備し、学校教育活動の円滑な運営に寄与したもの。							
事業内容及び実績	対象校 全市立中学校19校（分校含む） 実績 生徒、教職員等の感染症対策に必要となる保健衛生用品の購入 アルコール消毒液、学校机飛沫防止ガード、サーマルカメラほか 感染状況に応じて生徒の学びの保障のために必要な学習保障用品の購入 PCタブレットケース、再生紙（家庭学習用）、大型モニターほか 消耗品費 8,806,959円 備品購入費 13,263,719円							
成果等	感染症の拡大を防止するために保健衛生用品等を整備することで、校内における消毒の習慣化などコロナ禍における新しい生活様式に対応し、校内での感染拡大防止につながった。 また、学級閉鎖等により登校できない場合においても、リモート授業の実施やプリント学習で授業内容の復習など充実した家庭学習を行うことで、生徒の学びの保障につながった。							

款	教育費	項	中学校費	目	学校建設費	担当所属	教育総務課	
事業名	第五中学校エレベーター等整備事業費		予算現額 (円)	86,859,100	決算額 (円)	86,859,100	執行率 (%)	100.0
目的	第五中学校の給食センター方式への移行及び施設のバリアフリー化を進めるため、エレベーター等の整備を行ったもの。							
事業内容及び実績	エレベーター棟建設工事 86,604,100円 構造計算適合性判定手数料ほか 255,000円							
成果等	エレベーター棟建設工事が完了し、施設の給食センター方式への対応及びバリアフリー化が推進された。							

款	教育費	項	中学校費	目	学校建設費	担当所属	教育総務課	
事業名	鏡中学校改修等事業費		予算現額 (円)	63,245,600	決算額 (円)	63,245,600	執行率 (%)	100.0
目的	建築後40年以上が経過し、老朽化が著しいことに加え、生徒数の増加による教室数不足に対応するため、鏡中学校の改修等を行うもの。							
事業内容及び実績	アスベスト含有調査業務 1,980,000円 解析業務及び測量業務 5,314,100円 地質調査業務 4,760,800円 実施設計等業務 51,190,700円							
成果等	各種調査業務、実施設計等業務を実施することにより、令和5年度から令和8年度にかけて実施する鏡中学校改修工事に向け事業の進捗を図った。							

款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費	担当所属	生涯学習文化財課	
事業名	公民館等施設整備費		予算現額 (円)	43,874,710	決算額 (円)	43,874,710	執行率 (%)	100.0
目的	公民館利用に支障をきたさないよう公民館施設の適切な維持管理を図ったもの。							
事業内容及び実績	成和公民館エレベーター設置施工手法調査 434,500円 公民館フリーWi-Fi環境構築工事 6,420,315円 打上公民館漏水補修工事 10,774,500円 その他施設改修工事ほか 26,245,395円							
成果等	老朽化した箇所を改修し、安全で快適な環境の充実を図るとともに、フリーWi-Fiを整備したことで利用者の利便性向上を図ることができた。							

款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費	担当所属	生涯学習文化財課	
事業名	公民館類似施設整備補助金		予算現額 (円)	14,104,000	決算額 (円)	13,167,000	執行率 (%)	93.4
目的	地元で管理、運営等を行っている公民館類似施設の新築、増築、改築、補修に対しその一部を補助することにより、地域における社会教育の振興を図ったもの。							
事業内容及び実績	増改築（限度額2,100千円、補助率3/5） 補助金額 12,567,000円 対象施設 13件 宇木公民館、矢作公民館、材木町公民館、二夕子公民館、枝去木公民館、 淵上公民館、山田公民館、浦川内公民館、浜白公民館、坊中公民館、 杉野浦公民館、古村地区公民館、博多地区公民館 緊急修繕等（限度額200千円、補助率1/3） 補助金額 600,000円（緊急修繕等） 対象施設 8件 千々賀公民館、西区公民館、浜区公民館、黒岩公民館、久保公民館、 梅崎公民分館、万賀里川公民館、京泊区民分館							
成果等	地域の拠点となる公民館類似施設の改修工事等に補助することにより、地域における社会教育の振興に寄与することができた。							



款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費	担当所属	生涯学習文化財課	
事業名	西唐津公民館移転改築事業費（継続費2年度分）		予算現額 （円）	503,513,000	決算額 （円）	496,293,314	執行率 （%）	98.6
	同（逡次繰越分）			8,523,817				0
目的	建築後50年が経過し、老朽化が著しい西唐津公民館の移転改築を行ったもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和3年度から令和4年度まで（継続費設定） 総事業費 614,902,497円（継続費設定額 630,646千円、執行率97.5%） 令和4年度実施事業 （継続費4年度分） 工事監理業務 10,810,000円 建築工事 308,550,000円 電気設備工事 64,350,000円 機械設備工事 74,580,000円 外構工事 35,053,700円 その他事務費 2,949,614円							
成果等	老朽化した西唐津公民館の移転改築を行い、令和4年11月28日に供用開始した。							

款	教育費	項	社会教育費	目	近代図書館費	担当所属	近代図書館	
事業名	近代図書館施設等整備費		予算現額 （円）	25,328,310	決算額 （円）	21,627,485	執行率 （%）	85.4
目的	建築後29年が経過した近代図書館の老朽箇所を改修したもの。また、近代図書館及び相知図書館にフリーWi-Fiを整備したもの。							
事業内容及び実績	2階バルコニー、玄関ポーチ軒天井改修工事 12,218,800円 消火設備改修工事 8,140,000円 図書館フリーWi-Fi環境構築工事 1,268,685円							
成果等	老朽化した箇所を改修したことで、安全な環境の充実を図ることができた。また、フリーWi-Fiを整備したことで、利用者の利便性向上を図ることができた。							

款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費	担当所属	生涯学習文化財課											
事業名	歴史民俗資料館保存整備事業費		予算現額 (円)	13,446,000	決算額 (円)	12,022,785	執行率 (%)	89.4										
目的	老朽化により平成15年から休館している歴史民俗資料館（佐賀県重要文化財旧三菱合資会社唐津支店本館）の修理を行い、現在地での保存を図るもの。																	
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>地質調査</td> <td>3,570,600円</td> </tr> <tr> <td>構造調査</td> <td>5,610,000円</td> </tr> <tr> <td>破損状況撮影業務</td> <td>155,100円</td> </tr> <tr> <td>2階バルコニー手摺補強等工事</td> <td>2,420,000円</td> </tr> <tr> <td>その他事務費</td> <td>267,085円</td> </tr> </table>								地質調査	3,570,600円	構造調査	5,610,000円	破損状況撮影業務	155,100円	2階バルコニー手摺補強等工事	2,420,000円	その他事務費	267,085円
地質調査	3,570,600円																	
構造調査	5,610,000円																	
破損状況撮影業務	155,100円																	
2階バルコニー手摺補強等工事	2,420,000円																	
その他事務費	267,085円																	
成果等	今後の保存整備の方法を検討するために必要な調査を行うとともに、傷んだ箇所の応急修理を行うことができた。																	

款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	担当所属	スポーツ振興課																																																																									
事業名	各種競技大会等出場奨励費		予算現額 (円)	5,000,000	決算額 (円)	4,380,000	執行率 (%)	87.6																																																																								
目的	市民のスポーツ及び文化における向上心を育み、スポーツと文化の振興を図るため、九州大会規模以上のスポーツ及び文化芸術大会に出場する者等に対して奨励金を交付したものの。																																																																															
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td colspan="9">奨励金単価（1人当たり）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>九州地区</td> <td>4,000円又は5,000円</td> <td></td> <td>西日本地区</td> <td>8,000円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>東日本地区及び沖縄県</td> <td>10,000円</td> <td></td> <td>国外</td> <td>30,000円又は50,000円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>交付実績</td> <td>681人</td> <td>4,380,000円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>内 訳</td> <td>九州地区</td> <td></td> <td>442人</td> <td>2,136,000円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>西日本地区</td> <td></td> <td>73人</td> <td>584,000円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>東日本地区及び沖縄県</td> <td></td> <td>166人</td> <td>1,660,000円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>国外</td> <td></td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>								奨励金単価（1人当たり）										九州地区	4,000円又は5,000円		西日本地区	8,000円					東日本地区及び沖縄県	10,000円		国外	30,000円又は50,000円				交付実績	681人	4,380,000円							内 訳	九州地区		442人	2,136,000円						西日本地区		73人	584,000円						東日本地区及び沖縄県		166人	1,660,000円						国外		0人	0円				
奨励金単価（1人当たり）																																																																																
	九州地区	4,000円又は5,000円		西日本地区	8,000円																																																																											
	東日本地区及び沖縄県	10,000円		国外	30,000円又は50,000円																																																																											
交付実績	681人	4,380,000円																																																																														
内 訳	九州地区		442人	2,136,000円																																																																												
	西日本地区		73人	584,000円																																																																												
	東日本地区及び沖縄県		166人	1,660,000円																																																																												
	国外		0人	0円																																																																												
成果等	新型コロナウイルス感染症の影響前の状況に戻りつつあり、実施される大会等も増えてきていることから、九州大会以上の大会に出場する機会が増え、交付実績は増加した。 奨励金は上位大会出場権を獲得した選手の励みにもなっており、当市のスポーツ振興の機運醸成に寄与した。																																																																															

款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	担当所属	スポーツ振興課							
事業名	プロスポーツ交流事業費		予算現額 (円)	2,704,000	決算額 (円)	2,646,000	執行率 (%)	97.9						
目的	総合交流宣言を締結しているプロスポーツ5団体と連携し、スポーツ振興、相互発展、地域活性化及び青少年の健全育成を目的としたスポーツ交流事業を実施したものの。													
事業内容及び実績	<p>レオブラックスサガ</p> <table border="1"> <tr> <td>3x3BASKETBALL ゲームイベント開催</td> <td>940,000円</td> </tr> <tr> <td>等身大パネル作製</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>応援ポスター等作製</td> <td>258,000円</td> </tr> </table> <p>福岡ソフトバンクホークス総合交流事業負担金 100,000円            サガン鳥栖総合交流事業負担金 30,000円            佐賀県プロバスケットボール振興協議会負担金 220,000円            鳴戸部屋応援事業 98,000円            鳴戸部屋化粧まわし作製補助金 800,000円</p>								3x3BASKETBALL ゲームイベント開催	940,000円	等身大パネル作製	200,000円	応援ポスター等作製	258,000円
3x3BASKETBALL ゲームイベント開催	940,000円													
等身大パネル作製	200,000円													
応援ポスター等作製	258,000円													
成果等	3人制バスケットボールのイベントを実施し、競技への関心を高め、スポーツ振興に寄与した。また、ソフトバンクホークスとサガン鳥栖のバスツアーを行い、多くの子どもが参加し、青少年の健全育成に大きく寄与した。ほかに、化粧まわし作製の補助を行うことで、図柄の赤獅子が全国に放映され唐津市の情報発信につながった。													

款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	担当所属	スポーツ振興課																									
事業名	スポーツ・文化合宿等補助金		予算現額 (円)	1,660,000	決算額 (円)	1,250,000	執行率 (%)	75.3																								
目的	スポーツ及び文化の合宿等を誘致することにより、市内経済の活性化とスポーツ・文化に対する市民意識の醸成を図るため、合宿等により市内の宿泊施設に宿泊する団体に対し、補助したものの。																															
事業内容及び実績	<p>対象者 市内でスポーツ又は文化の合宿等を主催し、かつ市内の宿泊施設に宿泊した団体            補助金額 延べ宿泊者数×1,000円（補助限度額200,000円）            交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>延べ宿泊者(人)</th> <th>補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ合宿</td> <td>11</td> <td>628</td> <td>628,000</td> </tr> <tr> <td>文化合宿</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>スポーツ大会</td> <td>5</td> <td>684</td> <td>622,000</td> </tr> <tr> <td>文化大会</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>1,312</td> <td>1,250,000</td> </tr> </tbody> </table>									件数	延べ宿泊者(人)	補助金額(円)	スポーツ合宿	11	628	628,000	文化合宿	0	0	0	スポーツ大会	5	684	622,000	文化大会	0	0	0	計	16	1,312	1,250,000
	件数	延べ宿泊者(人)	補助金額(円)																													
スポーツ合宿	11	628	628,000																													
文化合宿	0	0	0																													
スポーツ大会	5	684	622,000																													
文化大会	0	0	0																													
計	16	1,312	1,250,000																													
成果等	毎年合宿等を開催している団体があるなど、本市経済の活性化に効果が期待できる事業であるが、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残っており、延べ宿泊者数及び補助金額については、前年度実績とほぼ同様であった。																															

款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	担当所属	国スポ・全障スポ総務課																	
事業名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備費		予算現額 (円)	45,289,000	決算額 (円)	44,505,780	執行率 (%)	98.3																
目的	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（SAGA2024）の成功に向け、実行委員会に対し負担金を交付し、開催に向けた準備を進めるとともに、大会の周知や機運醸成を図ったもの。																							
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>会計年度任用職員報酬等人件費</td> <td>20,066,997円</td> </tr> <tr> <td>庁用車維持管理費</td> <td>391,373円</td> </tr> <tr> <td>唐津市派遣職員給与等負担金（玄海町より1名派遣）</td> <td>5,468,410円</td> </tr> <tr> <td>SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会負担金</td> <td>18,579,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な内訳</td> </tr> <tr> <td>    広報チラシ及びノベルティグッズ作製等</td> <td>12,219,040円</td> </tr> <tr> <td>    栃木国体視察、国体事業報告会出席ほか旅費</td> <td>5,253,255円</td> </tr> <tr> <td>    特殊競技会場設計業務（セーリング、トライアスロン）</td> <td>101,900円</td> </tr> </table>								会計年度任用職員報酬等人件費	20,066,997円	庁用車維持管理費	391,373円	唐津市派遣職員給与等負担金（玄海町より1名派遣）	5,468,410円	SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会負担金	18,579,000円	主な内訳		広報チラシ及びノベルティグッズ作製等	12,219,040円	栃木国体視察、国体事業報告会出席ほか旅費	5,253,255円	特殊競技会場設計業務（セーリング、トライアスロン）	101,900円
会計年度任用職員報酬等人件費	20,066,997円																							
庁用車維持管理費	391,373円																							
唐津市派遣職員給与等負担金（玄海町より1名派遣）	5,468,410円																							
SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会負担金	18,579,000円																							
主な内訳																								
広報チラシ及びノベルティグッズ作製等	12,219,040円																							
栃木国体視察、国体事業報告会出席ほか旅費	5,253,255円																							
特殊競技会場設計業務（セーリング、トライアスロン）	101,900円																							
成果等	3年ぶりに開催された栃木国体の視察や国体事業報告会へ参加することにより、大規模な競技会の運営に関する実務を学んだ。また、啓発グッズ等を作製し、各種イベントでのPRに活用することで大会の周知や機運醸成を図ることができた。ほかに、特殊競技会場の設計業務等の本大会に向けた準備を進めた。																							

款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費	担当所属	スポーツ振興課											
事業名	体育施設整備費（市民センター地域振興分を除く）		予算現額 (円)	171,052,369	決算額 (円)	171,052,369	執行率 (%)	100.0										
目的	体育施設の整備改修を行い、利用者の利便性の向上及びより良いスポーツ環境づくりを進め、市民の健康増進、生涯スポーツの振興及び競技力向上を図ったもの。																	
事業内容及び実績	<table border="0"> <tr> <td>体育の森公園駐車場整備工事</td> <td>30,619,600円</td> </tr> <tr> <td>天徳の丘運動公園社会体育館トイレUD化改修工事</td> <td>26,950,000円</td> </tr> <tr> <td>天徳の丘運動公園高圧受変電設備更新工事</td> <td>43,230,000円</td> </tr> <tr> <td>呼子スポーツセンター屋外トイレ建設工事</td> <td>17,908,000円</td> </tr> <tr> <td>その他施設改修工事ほか</td> <td>52,344,769円</td> </tr> </table>								体育の森公園駐車場整備工事	30,619,600円	天徳の丘運動公園社会体育館トイレUD化改修工事	26,950,000円	天徳の丘運動公園高圧受変電設備更新工事	43,230,000円	呼子スポーツセンター屋外トイレ建設工事	17,908,000円	その他施設改修工事ほか	52,344,769円
体育の森公園駐車場整備工事	30,619,600円																	
天徳の丘運動公園社会体育館トイレUD化改修工事	26,950,000円																	
天徳の丘運動公園高圧受変電設備更新工事	43,230,000円																	
呼子スポーツセンター屋外トイレ建設工事	17,908,000円																	
その他施設改修工事ほか	52,344,769円																	
成果等	社会体育施設の整備を行ったことによって、施設環境が整い、市民の健康増進、体力向上及び競技力向上を図ることができた。																	

款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費	担当所属	行政改革課			
事業名	体育施設整備費（市民センター地域振興分）		予算現額 (円)	3,100,000	決算額 (円)	2,882,290	執行率 (%)	93.0		
目的	地域住民の生活や活動に密着した要望、課題等に対し、市民センターにおいて、緊急性と必要性から迅速に対応できるよう予算措置を行い、地域の振興を図ったもの。									
事業内容及び実績	体育施設の修繕等 (単位 円)									
		浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計
	施設修繕料	169,840 (1件)		561,000 (9件)	269,610 (3件)	82,390 (1件)			440,000 (1件)	1,522,840 (15件)
	器具修繕料			15,620 (1件)						15,620 (1件)
	委託料						288,200 (2件)	116,600 (2件)		404,800 (4件)
	工事請負費	28,600 (1件)			726,000 (1件)	111,830 (1件)		72,600 (2件)		939,030 (5件)
	計	198,440 (2件)		576,620 (10件)	995,610 (4件)	194,220 (2件)	288,200 (2件)	189,200 (4件)	440,000 (1件)	2,882,290 (25件)
成果等	地域住民の生活や活動に密着した要望や課題等に対して、市民センターにおいて迅速に対応することができた。									

款	教育費	項	保健体育費	目	文化体育館費	担当所属	スポーツ振興課	
事業名	唐津市文化体育館整備費		予算現額 (円)	25,692,000	決算額 (円)	22,927,350	執行率 (%)	89.2
目的	唐津市文化体育館の老朽化が進んでいることから、利用者の利便性を向上させるために改修整備を行ったもの。							
事業内容及び実績	文化体育館玄関タイル改修工事			2,970,000円				
	移動式バスケットゴール購入 2対			18,458,000円				
	その他施設改修工事ほか			1,499,350円				
成果等	本市の主要な体育・文化施設である唐津市文化体育館の改修整備を行い、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（SAGA2024）開催に備えるとともに、障がい者スポーツの振興、市民の生涯スポーツ及び生涯学習に貢献することができた。							

款	教育費	項	保健体育費	目	給食センター費	担当所属	教育総務課													
事業名	西部学校給食センター (仮称) 整備事業費 (継続費初年度分)		予算現額 (円)	864,724,000	決算額 (円)	635,606,302	執行率 (%)	73.5												
目的	「唐津市学校給食センター整備基本計画」に基づき、3給食センター（肥前、鎮西、呼子）及び自校給食施設を集約した西部学校給食センター（仮称）を整備するもの。																			
事業内容及び実績	事業年度 令和4年度から令和5年度まで（継続費設定） 総事業費（継続費設定額） 3,099,444千円 令和4年度実施事業 （継続費初年度分） <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 80%;">建築確認申請業務ほか</td> <td style="text-align: right;">982,002円</td> </tr> <tr> <td>建設監理業務</td> <td style="text-align: right;">2,651,000円</td> </tr> <tr> <td>地盤改良工事</td> <td style="text-align: right;">64,706,400円</td> </tr> <tr> <td>建築工事</td> <td style="text-align: right;">529,160,500円</td> </tr> <tr> <td>電気工事</td> <td style="text-align: right;">34,100,000円</td> </tr> <tr> <td>既存建物他解体工事ほか</td> <td style="text-align: right;">4,006,400円</td> </tr> </table>								建築確認申請業務ほか	982,002円	建設監理業務	2,651,000円	地盤改良工事	64,706,400円	建築工事	529,160,500円	電気工事	34,100,000円	既存建物他解体工事ほか	4,006,400円
建築確認申請業務ほか	982,002円																			
建設監理業務	2,651,000円																			
地盤改良工事	64,706,400円																			
建築工事	529,160,500円																			
電気工事	34,100,000円																			
既存建物他解体工事ほか	4,006,400円																			
成果等	令和5年度の完成に向け、西部学校給食センター（仮称）整備事業の進捗を図ることができた。																			

款	教育費	項	保健体育費	目	給食センター費	担当所属	学校給食課	
事業名	学校給食費等支援補助金		予算現額 (円)	42,034,000	決算額 (円)	41,999,004	執行率 (%)	99.9
目的	コロナ禍において食材費が高騰する中、給食費の保護者負担を抑え給食の質や量を維持するため、食材費の高騰分を支援したものの。							
事業内容及び実績	補助額 小学校児童 4,180円/人 中学校生徒 4,796円/人							
	学校・給食センター名	小学校		中学校		合計金額		
		補助金額	補助対象数	補助金額	補助対象数			
	東唐津小学校	188,100円	45人			188,100円		
	外町小学校	1,496,440円	358人			1,496,440円		
	長松小学校	3,214,420円	769人			3,214,420円		
	西唐津小学校	1,208,020円	289人			1,208,020円		
	高島小学校	41,800円	10人			41,800円		
	湊小学校	459,800円	110人			459,800円		
	成和小学校	1,354,320円	324人			1,354,320円		
	第一中学校			2,733,720円	570人	2,733,720円		
	第五中学校			1,686,448円	352人	1,686,448円		
	鏡中学校			1,692,988円	353人	1,692,988円		
	湊中学校			254,188円	53人	254,188円		
	西唐津中学校			781,748円	163人	781,748円		
	馬渡小中学校	50,160円	12人	47,960円	10人	98,120円		
	加唐小中学校	29,260円	7人	4,796円	1人	34,056円		
	小川小中学校	45,980円	11人	9,592円	2人	55,572円		
	東部学校給食センター	13,313,300円	3,185人	5,753,020円	1,200人	19,066,320円		
	肥前学校給食センター	1,279,080円	306人	839,300円	175人	2,118,380円		
鎮西学校給食センター	3,477,760円	832人			3,477,760円			
呼子学校給食センター	986,480円	236人	1,050,324円	219人	2,036,804円			
合計	27,144,920円	6,494人	14,854,084円	3,098人	41,999,004円			
年度途中の転入、転出は月割で算出								
成果等	食材費が高騰する中でも給食費の値上げをすることなく、質、量を保った給食を提供できた。しかし、令和4年9月補正予算にて計上した補助金であったが、補助金の交付事務が遅れたことにより、給食献立に対する補助金の効果が年度末の1月から3月に集中してしまった。予め必要な事務等を確認し、効率的に処理を行うべきであった。							

## 11 災害復旧費

令和4年8月大雨等により被災した農地・農業用施設、林業施設及び土木施設等の復旧事業を実施し、その機能回復に努めた。

### 災害復旧費の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
令和4年災害農地・農業用施設復旧費	円 20,634,280	農地・農業用施設災害復旧事業 農地4箇所、施設1箇所
令和4年災害農地・農業用施設復旧費 (令和3年発生災)	95,610,500	農地・農業用施設災害復旧事業 農地7箇所、施設10箇所
令和3年災害農地・農業用施設復旧費 (繰越明許分)	410,091,081	農地・農業用施設災害復旧事業 農地66箇所、施設85箇所
令和2年災害農地・農業用施設復旧費 (事故繰越分)	9,884,600	農地・農業用施設災害復旧事業 施設1箇所
令和4年災害林業施設復旧費	26,277,900	林業施設災害復旧事業 林道87箇所
令和3年災害林業施設復旧費 (繰越明許分)	101,853,778	林業施設災害復旧事業 林道7箇所
令和4年災害水産業施設復旧費	11,824,640	水産業施設災害復旧事業 施設2箇所
令和4年災害漁港施設復旧費	2,788,500	漁港施設災害復旧事業 漁港5箇所
令和4年災害土木施設復旧費	81,878,021	道路災害復旧事業 道路22箇所
令和4年災害土木施設復旧費 (平成30年発生災)	77,000,000	道路災害復旧事業 市道新木場・高串線(地すべり)
令和3年災害土木施設復旧費 (繰越明許分)	483,990,474	河川・道路災害復旧事業 河川15箇所、道路179箇所
令和3年災害土木施設復旧費 (令和元年発生災) (繰越明許分)	52,527,200	道路災害復旧事業 市道下平野・深谷線(地すべり)
令和4年災害環境衛生施設復旧費	4,521,000	環境衛生施設復旧事業 大平山斎苑2箇所、浜玉斎場さくら苑2箇所
令和4年災害し尿処理施設復旧費	1,148,400	し尿処理施設災害復旧事業 北部衛生処理センター外構フェンス1箇所



令和4年災害 公立学校施設復旧費	4,400,000	公立学校施設復旧事業 東唐津小学校屋上防水復旧工事1箇所
令和3年災害 公立学校施設復旧費 (繰越明許分)	19,501,900	公立学校施設復旧事業 湊小学校土地災害復旧工事1箇所
令和4年災害 社会教育施設復旧費	1,083,500	社会教育施設復旧事業 東唐津公民館エアコン復旧工事1箇所
令和3年災害 文化財復旧費 (繰越明許分)	57,418,100	文化財復旧事業 特別史跡名護屋城跡並陣跡2箇所の法面災害設計及び復旧工事

## 12 公債費

公債費では、通常の市債償還のほか、円滑な資金調達のため一時借入を実施した。

### 公債費の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
公債費	8,315,151,308 円	定期市債償還元金・利子 8,315,042,977円 一時借入金利子 108,331円

# IV 特別会計

## 1 国民健康保険

令和4年度国民健康保険特別会計の決算状況は、歳入15,514,380,912円、歳出15,272,126,545円で、歳入歳出差引額は、242,254,367円となり、同額を翌年度へ繰り越した。

### 歳入

総収入額のうち、国保税が2,736,680,452円で17.64%、国庫支出金等交付金が総額11,030,206,000円で71.10%、繰入金が1,319,803,231円で8.51%、令和3年度からの繰越金が409,144,770円で2.64%であった。

### 歳出

総支出額のうち、保険給付費が10,693,470,028円で70.02%を占め、事業費納付金が3,800,229,469円で24.88%、保健事業に係る費用が104,047,640円で0.68%であった。

国民健康保険特別会計決算状況

事業名	決算額	財源	
		費目	金額
国民健康保険	15,272,126,545	国民健康保険税	2,736,680,452
		一部負担金	0
		使用料及び手数料	1,190,600
		国庫支出金	0
		県支出金	11,030,206,000
		財産収入	11,058
		繰入金	1,319,803,231
		繰越金	409,144,770
		諸収入	17,344,801
		合計	15,514,380,912

翌年度繰越額 242,254,367 円

国民健康保険税収入状況

一般被保険者国民健康保険税						
区分	調定額	収入額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
現年課税	医療給付	1,968,062,160 円	1,887,664,203 円	0 円	80,397,957 円	95.91 %
	後期高齢	592,562,440	568,704,990	0	23,857,450	95.97
	介護納付	221,149,400	209,494,655	0	11,654,745	94.73
滞納繰越	医療給付	187,033,083	49,310,350	22,944,806	114,777,927	26.36
	後期高齢	50,366,726	13,469,004	5,778,363	31,119,359	26.74
	介護納付	29,191,875	7,945,919	3,511,290	17,734,666	27.22

退職被保険者等国民健康保険税						
区分	調定額	収入額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
現年課税	医療給付	0 円	0 円	0 円	0 円	— %
	後期高齢	0	0	0	0	—
	介護納付	0	0	0	0	—
滞納繰越	医療給付	754,518	77,289	180,843	496,386	10.24
	後期高齢	185,108	600	49,215	135,293	0.32
	介護納付	201,579	13,442	49,867	138,270	6.67

保健事業の状況

特定健康診査				
年 度	対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)	目標値 国 (市町国保)
令和3年度	18,981 人	6,409 人	33.8 %	60.0 %
令和4年度	18,167	6,261	34.5	60.0

特定保健指導				
年 度	対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)	目標値 国 (市町国保)
令和3年度	643 人	455 人	70.8 %	60.0 %
令和4年度	601	350	58.2	60.0

※令和4年度分については、令和5年8月末速報値を使用

(参考)

国民健康保険の状況

区分	年度	令和3年度	令和4年度
国保世帯数		16,409 <sup>世帯</sup>	16,145 <sup>世帯</sup>
被保険者数		27,355 <sup>人</sup>	26,435 <sup>人</sup>
一人当たり保険給付費		395,412 <sup>円</sup>	401,468 <sup>円</sup>
一人当たり医療費		463,244 <sup>円</sup>	472,848 <sup>円</sup>

※上表は、保険年金課国民健康保険事業状況報告書（事業年報）の数値による。

## 2 後期高齢者医療

令和4年度後期高齢者医療特別会計の決算状況は、歳入 1,772,683,384円、歳出 1,764,869,647円で、歳入歳出差引額は7,813,737円となり、同額を翌年度へ繰り越した。

### 歳入

総収入額のうち、後期高齢者医療保険料が1,235,395,237円で69.69%、使用料及び手数料が246,900円で0.01%、一般会計からの繰入金が531,191,388円で29.97%、令和3年度からの繰越金が2,819,600円で0.16%、諸収入が3,030,259円で0.17%であった。

### 歳出

総支出額のうち、後期高齢者医療事務費が9,698,900円で0.55%、徴収事務費等が4,714,522円で0.27%、広域連合納付金が1,746,893,215円で98.98%、保健事業費が2,701,010円で0.15%、諸支出金が862,000円で0.05%であった。

#### 後期高齢者医療特別会計決算状況

事業名	決算額	財源	
		費目	金額
後期高齢者医療	1,764,869,647円	後期高齢者医療保険料	1,235,395,237円
		使用料及び手数料	246,900
		繰入金	531,191,388
		繰越金	2,819,600
		諸収入	3,030,259
		合計	1,772,683,384

翌年度繰越額 7,813,737円

※各市町が令和4年度の出納整理期間に収納した令和4年度の保険料は、令和5年度に繰り越し、令和5年度保険料負担金（過年度分）として、広域連合へ各市町から納付する。

#### 後期高齢者医療保険料の収入状況

	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
特別徴収 現年度分保険料	764,495,000円	765,578,300円	0円	△1,083,300円	100.14%
普通徴収 現年度分保険料	469,850,100	465,091,200	0	4,758,900	98.99
現年度分合計	1,234,345,100	1,230,669,500	0	3,675,600	99.70
普通徴収 過年度分保険料	8,769,031	4,725,737	1,040,504	3,002,790	53.89

※上表「後期高齢者医療保険料の収入状況」の収入未済額には、還付未済額を含む。

還付未済額 特別徴収現年度分保険料 1,083,300円  
 普通徴収現年度分保険料 262,100円  
 普通徴収過年度分保険料 0円

保健事業の状況

健康診査				
年 度	対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)	目標値 (広域連合)
令和3年度	12,481 人	2,396 人	19.2 %	28.5 %
令和4年度	12,678	2,808	22.1	26.2

### 3 介護保険

令和4年度介護保険特別会計の決算状況は、歳入13,724,093,603円、歳出13,276,460,167円で、歳入歳出差引額は、447,633,436円となり、同額を翌年度に繰り越した。

総務費では、居宅要支援者の介護予防サービス計画の作成、介護保険料の賦課徴収、介護認定の調査及び審査等を行った。

保険給付費は、11,674,571,632円となった。

介護予防・日常生活支援総合事業費では、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、高齢者を地域で支え合う体制づくりを推進した。

包括的支援事業・任意事業費では、総合相談事業、要介護高齢者配食サービス事業等により、高齢者が住み慣れた地域で心身の健康を保持しながら安心して暮らすことができるよう必要な援助を行った。

#### 介護保険特別会計決算状況

事業名	決算額	財源	
		費目	金額
介護保険事業	13,276,460,167 円	保険料	2,600,343,157 円
		使用料及び手数料	744,900
		国庫支出金	3,350,187,430
		支払基金交付金	3,276,357,304
		県支出金	1,810,345,320
		財産収入	26,287
		繰入金	2,119,815,288
		繰越金	466,586,520
		諸収入	99,687,397
		合計	13,724,093,603

翌年度繰越額 447,633,436 円

#### 介護保険事業の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
居宅介護サービス費	3,665,527,261 円	要介護認定を受けた被保険者に対し、在宅での自立した日常生活を営むことができるよう支援したもの。
施設介護サービス費	3,469,612,651	要介護認定を受けた被保険者に対し、介護保険施設での日常生活を営むことができるよう支援したもの。
地域密着型介護サービス費	2,965,626,156	要介護認定を受けた被保険者に対し、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援したもの。

事業名	決算額	事業内容
訪問型サービス費	103,084,372 円	要支援者及び事業対象者に対して、訪問介護員等による身体介護、生活援助等の訪問型サービスを提供したものの。
通所型サービス費	225,267,396	要支援者及び事業対象者に対して、施設に通わせ、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の支援及び機能訓練のサービスを提供したものの。
高齢者成年後見制度利用支援事業費	6,391,693	成年後見制度を必要とする認知症高齢者等の利用促進のため、唐津市成年後見サポートセンターを設置し、相談受付や申立て支援を行ったもの。また頼れる親族がいない高齢者に対する市長申立てや継続的利用のための成年後見人等の報酬助成を行ったもの。
地域ケア会議推進事業費	1,091,634	介護、医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生委員その他の関係者により構成される地域ケア会議の機能を連動させ、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築へ向け、市への施策提言を行ったもの。
在宅医療・介護連携推進事業費	5,031,000	医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、関係機関からの相談受付・情報共有支援や研修会開催、住民公開講座による普及啓発等、多職種連携による在宅医療・介護を一体的に提供できる体制づくりを推進したものの。
生活支援体制整備事業費	34,089,633	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ちながら暮らしていくため、民間企業、NPO、ボランティア、地域住民などの多様な主体が連携しながら地域における高齢者支援の担い手やサービス開発を行い、高齢者の社会参加、生活支援及び介護予防の充実を推進したものの。
認知症総合費 支援事業費	18,385,490	認知症高齢者の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、認知症サポーター養成講座を開催する等、認知症の早期発見につながる正しい知識の普及と地域での共生意識の向上に努めた。また関係機関と会議を行い、早期対応のための連携を強化したものの。



## 4 観光施設

令和4年度観光施設特別会計の決算状況は、歳入44,844,187円、歳出41,758,035円で、歳入歳出差引額は3,086,152円となり、同額を翌年度に繰り越した。

本特別会計では、本市観光事業の発展に寄与するため、玄海海中展望塔及び国民宿舎虹の松原ホテルの運営を行った。あわせて、玄海海中展望塔の栈橋等補修工事や虹の松原ホテルの昇降機部品交換工事など各施設の維持補修を行い、利用者のサービス向上に努めた。

### 観光施設特別会計決算状況

事業名	決算額	財源	
		費目	金額
観光施設	41,758,035円	使用料及び手数料	14,315,180円
		財産収入	8,787
		繰入金	22,225,000
		繰越金	265,220
		諸収入	8,030,000
		合計	44,844,187

翌年度繰越額 3,086,152円

### 観光施設特別会計の主な事業内容

事業名	決算額円	事業内容
海中展望塔 管 理 費	35,491,427円	業務委託により施設の運営を行った。 施設使用料収入 14,315,180円 入場者数 28,379人 また、施設の維持補修等を行った。 周辺共同漁業権漁場区域使用料 329,718円 栈橋等補修工事 17,915,700円 案内等業務委託料 11,217,267円 海中側窓清掃等業務ほか 6,028,742円
虹の松原ホテル 管 理 費	6,257,821円	指定管理により施設の運営を行った。 指定管理者(R4.4～R4.12) (株)ディーエイチシー (R5.1～R5.3) (株)唐津シーサイドホテル 施設使用料収入 8,030,000円 宿泊者数 1,331人 また、施設の維持補修等を行った。 国有林野借地料 3,884,300円 昇降機部品交換工事 1,276,000円 客室換気扇取替修繕 155,100円 建築設備定期報告書作成業務ほか 942,421円
基金積立金	8,787円	国民宿舎基金積立金 6,303円 海中展望塔運営基金積立金 2,484円

## 5 有線テレビ事業

令和4年度有線テレビ事業特別会計の決算状況は、歳入590,538,198円、歳出480,290,081円で、歳入歳出差引額は、110,248,117円となり、同額を翌年度に繰り越した。

有線テレビ施設等の維持管理、新規加入者宅等へのケーブル接続及びケーブル移転要請に伴う移転工事等のほか、テレビ使用料の賦課徴収事務を行った。

### 有線テレビ事業特別会計決算状況

事業名	決算額	財源	
		費目	金額
有線テレビ事業	480,290,081	分担金及び負担金	18,547,470
		使用料及び手数料	534,946,334
		財産収入	142,567
		繰入金	3,535,884
		繰越金	32,464,454
		諸収入	901,489
		合計	590,538,198

翌年度繰越額 110,248,117 円

### 有線テレビ事業の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
有線テレビジョン運営費	480,290,081	有線テレビジョン運営費
		有線テレビ運営基金積立金

